ユーザーガイド

Amazon DCV

Copyright © 2025 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon DCV: ユーザーガイド

Copyright © 2025 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスはAmazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

Amazon VPC とは 1
サポートされている機能 2
開始方法 5
要件 6
ステップ 1: セッション情報を取得する 7
ステップ 2: クライアントを選択する 8
ステップ 3: セッションに接続する 8
Windows クライアントを使用した接続 9
ウェブブラウザクライアントを使用した接続 10
Linux クライアントを使用した接続 11
macOS クライアントを使用した接続 13
URI を使用した接続 15
ステップ 4: 接続ファイルを作成する (オプション) 15
接続ファイルの作成 16
サポートされているパラメータ 18
接続ファイルの実行 24
Amazon DCV クライアントについて 26
Windows クライアント 26
インストール可能な Windows クライアント 27
ポータブル Windows クライアント 28
ウェブブラウザクライアント 29
Linux クライアント 30
macOS クライアント 32
Amazon DCV の使用 33
ディスプレイ解像度の変更 34
タイムゾーンの設定 36
ストリーミングモードの管理 40
Windows、Linux、macOS クライアントのストリーミングモード 40
ウェブブラウザークライアントのストリーミングモード 44
ファイルの転送 46
Windows、Linux、macOs クライアントを使用してファイルを転送する 47
ウェブブラウザを使用してファイルを転送する 49
セッションからの印刷 51
コピーと貼り付け 52

Windows クライアント、Linux クライアント、および macOS クライアント 52
ウェブブラウザクライアント 52
スクリーンショットの保存 53
コラボレーションセッション 54
マルチモニターの使用 59
すべてのモニターに全画面表示を拡張 60
選択したモニターに全画面表示を拡張 62
複数のモニターでの全画面表示の終了 69
高精度のオーディオ/ビデオ同期の使用 70
高色精度の使用 73
ネイティブクライアントでの高色精度 74
ウェブブラウザクライアントでの高色精度 76
スマートカードの使用 77
スマートカードの接続 78
Linux サーバーでのスマートカードの使用 80
スマートカードのリリース 81
スマートカードデータキャッシュ (オプション) 81
USB リモート化の使用 82
Amazon DCV サーバーでの USB デバイスの使用 83
ウェブカメラの使用 84
Windows、Linux、macOS クライアントでのウェブカメラの使用 85
ウェブブラウザクライアントでのウェブカメラの使用 89
証明書検証の設定 91
WebAuthn リダイレクトの使用 92
Webauthn リダイレクトのユーザーインターフェイス 92
トラブルシューティング 94
ログファイルの使用 94
ログファイルでのデバッグの有効化 94
リリースノートとドキュメント履歴 97
リリースノート 97
Amazon DCV 2024.0-19030 99
Amazon DCV 2024.0-19030 100
Amazon DCV 2024.0-19030 101
Amazon DCV 2024.0-18131 102
Amazon DCV 2024.0-17979 103
Amazon DCV 2023.1-17701 104

Amazon DCV 2023.1-17701 106
Amazon DCV 2023.1-16388 107
Amazon DCV 2023.1-16388 108
Amazon DCV 2023.1-16388 110
Amazon DCV 2023.1-16220 111
Amazon DCV 2023.0-15487 113
Amazon DCV 2023.0-15065 114
Amazon DCV 2023.0-15022 115
Amazon DCV 2023.0-14852 117
Amazon DCV 2022.2-14521 118
Amazon DCV 2022.2-14357 119
Amazon DCV 2022.2-14175 119
Amazon DCV 2022.2-14126 120
Amazon DCV 2022.2-13907 121
Amazon DCV 2022.1-13300 122
Amazon DCV 2022.1-13216 123
Amazon DCV 2022.1-13067 123
Amazon DCV 2022.0-12760 124
Amazon DCV 2022.0-12627 125
Amazon DCV 2022.0-12123 125
Amazon DCV 2022.0-11954 126
Amazon DCV 2021.3-11591 128
Amazon DCV 2021.2-11445 128
Amazon DCV 2021.2-11190 129
Amazon DCV 2021.2-11135 129
Amazon DCV 2021.2-11048 130
DCV 2021.1-10851 133
DCV 2021.1-10598 133
DCV 2021.1-10557 134
DCV 2021.0-10242 135
DCV 2020.2-9662 136
DCV 2020.2-9508 136
DCV 2020.1-9012 138
DCV 2020.1-9012 138
DCV 2020.1-8942 138
DCV 2020.0-8428 140

DCV 2019.1-7644 141
DCV 2019.1-7423 142
DCV 2019.0-7318 142
DCV 2017.4-6898 144
DCV 2017.3-6698 145
DCV 2017.2-6182 148
DCV 2017.1-5870 150
DCV 2017.1-5777 151
DCV 2017.0-5600 151
DCV 2017.0-5121 152
DCV 2017.0-4334 153
DCV 2017.0-4100 153
ドキュメント履歴 153
..... clxi

Amazon VPC とは

> **Note**
>
> Amazon DCV は以前は NICE DCV と呼ばれていました。

Amazon DCV は、高性能のリモートディスプレイプロトコルです。さまざまなネットワーク条件で、リモートデスクトップやアプリケーションストリーミングをクラウドやデータセンターからあらゆるデバイスへ安全に配信できます。Amazon DCV と Amazon EC2 を使用すると、グラフィックスを多用するアプリケーションを Amazon EC2 インスタンス上でリモートで実行できます。結果をより控えめなクライアントマシンにストリーミングできるため、高価な専用ワークステーションが不要になります。

このガイドで説明するトピック:

- Amazon DCV でサポートされている機能
- Amazon DCV の開始方法
- Amazon DCV クライアントについて
- Amazon DCV の使用
- トラブルシューティング

サポートされている機能

Amazon DCV は、Windows クライアント、Linux クライアント、ウェブブラウザクライアント、および macOS クライアントを提供します。クライアントは同様の機能セットを提供しますが、いくつかの違いがあります。特定の要件を満たしている Amazon DCV クライアントを選択してください。

次の表は、Amazon DCV クライアントでサポートされている機能を比較したものです。

機能	Windows クライアント	ウェブブラウザクライアント	Linux クライアント	macOS クライアント
Windows Amazon DCV サーバーへの接続	✓	✓	✓	✓
Linux Amazon DCV サーバーへの接続	✓	✓	✓	✓
QUIC UDP トランスポートプロトコル	✓	✗	✓	✓
ストリーミングモードの管理	✓	✓	✓	✓
ファイルの転送	✓	✓	✓	✓
セッションから印刷	✓	✓ [1]	✓	✓
コピーアンドペースト	✓	✓	✓	✓
スマートカードのサポート	✓	✗	✓	✓
USBリモート化のサポート	✓ (インストール可能なクライアント)	✗	✗	✗
接続ファイルのサポート	✓	✗	✓	✓
ステレオ 2.0 オーディオ再生	✓	✓	✓	✓

機能	Windows クライアント	ウェブブラウザクライアント	Linux クライアント	macOS クライアント
サラウンドサウンドオーディオ再生	✓ (7.1 まで)	✗	✓ (5.1 まで)	✗
ステレオ 2.0 オーディオ録音	✓	✓	✓	✓
タッチスクリーンのサポート	✓ (Windows 10 以降)	✓ [2]	✓	✗
スタイラスのサポート	✓ (Windows 10 以降)	✓ [3]	✓	✓
ゲームパッドのサポート	✓ (Windows 10 以降)	✗	✗	✗
マルチモニターのサポート	✓	✓[4]	✓	✓
選択したモニターに全画面表示を拡張	✓	✓	✓	✓
ウェブカメラのサポート	✓	✓ [5]	✓	✓
タイムゾーンの設定	✓	✓	✓	✓
高精度のオーディオ/ビデオ同期の使用	✓	✗	✓	✓
Amazon DCV 拡張機能	✓	✗	✓	✓
WebAuthN	✓	✗	✓	✓

[1]これらのクライアントではファイルへの印刷出力のみがサポートされています。ローカルプリンターへの印刷出力はサポートされていません。

[2] Firefox、Edge、Google Chrome でサポートされています。

[3] Chromium ベースのブラウザでのみサポートされています。これには Google Chrome と Microsoft Edge バージョン 79 以降が含まれます。傾きイベントと圧力イベントは、他のブラウザではサポートされていません。

[4] 最大 2 台のモニターがサポートされます。

[5]Chromium ベースのブラウザでのみサポートされています。これには Google Chrome と Microsoft Edge バージョン 79 以降が含まれます。Firefox と Safari は含まれません。

Amazon DCV サーバー機能の詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「Amazon DCV サーバー機能」を参照してください。

Amazon DCV の開始方法

Amazon DCV を使用するには、サーバーに Amazon DCV サーバーソフトウェアをインストールします。Amazon DCV サーバーソフトウェアは、安全なセッションを作成するために使用されます。サーバー上にアプリケーションをインストールして実行します。サーバーはハードウェアを使用して、インストールされているアプリケーションに必要な高性能処理を実行します。ユーザーは、Amazon DCV クライアントアプリケーションを使用してセッションにリモート接続してアプリケーションにアクセスします。接続が確立されると、Amazon DCV サーバーソフトウェアはアプリケーションのビジュアル出力を圧縮し、暗号化されたピクセルストリームでクライアントアプリケーションにストリームを返します。クライアントアプリケーションは圧縮されたピクセルストリームを受信し、復号してローカルディスプレイに出力します。

Amazon DCV クライアントを選択したら、それを使用して、Amazon DCV セッションへの接続と操作を行うことができます。Amazon DCV クライアントを使用したセッション操作方法の詳細については、「Amazon DCV の使用」を参照してください。

目次

- 要件
- ステップ 1: Amazon DCV セッション情報を取得する
- ステップ 2: Amazon DCV クライアントを選択する
- ステップ 3: Amazon DCV セッションに接続する
  - Windows クライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続
  - ウェブブラウザクライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続
  - Linux クライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続
  - macOS クライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続
  - URI を使用した Amazon DCV セッションへの接続
- ステップ 4: 接続ファイルを作成する (オプション)
  - 接続ファイルの作成
  - サポートされているパラメータ
    - [version] 個のパラメータ
    - [connect] 個のパラメータ
    - [options] 個のパラメータ
  - 接続ファイルの実行

要件

Amazon DCV の使用にあたって、クライアントコンピュータが以下の最小要件を満たしていることを確認してください。ユーザーエクスペリエンスは、Amazon DCV サーバーから Amazon DCV クライアントにストリーミングされるピクセル数に大きく依存することに注意してください。

	Windows クライアント	ウェブブラウザクライアント	Linux クライアント	macOS クライアント
ソフトウェア	Windows クライアントは、32 ビット版と 64 ビット版の次のオペレーティングシステムでサポートされています。 • Windows 10 • Windows 11 このクライアントには次の追加ソフトウェアが必要です。 • .NET Framework 4.6.2 • Visual Studio の Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージ 詳細およびダウンロード手順については、マイクロソフトサポートウェブサイトを参照してください。	ウェブブラウザクライアントは、すべての主要デスクトップオペレーティングシステム (Windows、macOS、Linux) の最新の 3 つの主要バージョンでサポートされています。 • Mozilla Firefox • Google Chrome • Microsoft Edge • Apple Safari ウェブブラウザクライアントには WebGL と asm.js も必要です。 Note ウェブブラウザクライアントは、Android や iOS な	Linux クライアントは、以下の最新の Linux オペレーティングシステムでサポートされています。 • RHEL 8.x および Rocky Linux 8.5 以降 (x86_64) • RHEL 9、CentOS Stream 9、Rocky Linux 9 (x86_64) • SUSE Linux Enterprise 15.x • Ubuntu 20.04、22.04、24.04	Intel プロセッサーを搭載した macOS クライアントには、macOS Monterey (12) 以降が必要です。 Apple M1 プロセッサを搭載した macOS クライアントには、macOS Monterey (12) が必要です。

	Windows クライアント	ウェブブラウザクライアント	Linux クライアント	macOS クライアント
		どのモバイルオペレーティングシステムではサポートされていません。		
ネットワーク	クライアントは、Amazon DCV サーバーに接続して必要なポートを介して通信させる必要があります。デフォルトでは、このポートは 8443 です。			

> **Note**
> Amazon DCV は、サポートが終了したオペレーティングシステムをサポートしていません。オペレーションシステムについてはベンダーにお問い合わせください。

Amazon DCV サーバー要件の詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「Amazon DCV サーバー要件」を参照してください。

ステップ 1: Amazon DCV セッション情報を取得する

Amazon DCV セッションが Amazon DCV サーバーで実行された後、そのセッションに接続するための特定の情報が必要です。以下の情報がない場合は、Amazon DCV 管理者に連絡してください。

- Amazon DCV サーバーの IP アドレスまたはホスト名
- Amazon DCV サーバーで通信するように設定されているポート。デフォルトでは、Amazon DCV サーバーによってポート 8443 が使用されます。
- セッション ID
- Amazon DCV ホストサーバーに接続するためのサインイン認証情報

ステップ 2: Amazon DCV クライアントを選択する

次に、ニーズに最も合った Amazon DCV クライアントを選択します。Amazon DCV には以下のクライアントがあります。

- Windows
- ウェブブラウザ
- Linux
- macOS

使用できるクライアントの詳細については、「Amazon DCV クライアントについて」を参照してください。

ステップ 3: Amazon DCV セッションに接続する

Amazon DCV サーバーで Amazon DCV セッションの実行が開始されたら、任意のクライアントを使用してそのセッションに接続できます。Amazon DCV セッションへの接続時に必須情報がそろっていることを確認してください。詳細については、「ステップ 1: Amazon DCV セッション情報を取得する」を参照してください。

コンソールセッションに接続する場合は、Amazon DCV サーバー管理者に問い合わせてください。それらを使用して、セッションが開始されていることを確認し、サーバーとセッションの詳細を確認します。Linux Amazon DCV サーバーの仮想セッションに接続する場合は、独自のセッションの開始が必要になる場合があります。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「Amazon DCV セッションの開始」を参照してください。

トピック

- Windows クライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続
- ウェブブラウザクライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続
- Linux クライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続
- macOS クライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続
- URI を使用した Amazon DCV セッションへの接続

Windows クライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続

Amazon DCV セッションに接続するステップは、Windows クライアントのインストール可能およびポータブルなバージョンと同じです。

Windows クライアントを使用してセッションに接続するには

1. Windows クライアントを起動します。
2. [Connections Settings (接続設定)] を選択して、以下のようにプロキシを設定してから [OK] を選択します。

   - プロキシ経由で接続されないように、[Connect Directly (直接接続)] を選択します。
   - 事前設定されたオペレーティングシステムプロキシ設定を使用して Amazon DCV サーバーに接続するには、[システムプロキシを使用] を選択します。
   - 特定の HTTP プロキシサーバーを通じて Amazon DCV サーバーに接続するには、[ウェブプロキシ経由で接続] を選択します。プロキシサーバーの IP アドレスと通信ポートまたはホスト名を選択します。HTTP プロキシサーバーで認証が必要な場合は、[プロキシサーバーで認証が必要] チェックボックスを選択し、サインイン認証情報を入力します。
   - 特定の SOCKS5 プロキシサーバーを通じて Amazon DCV サーバーに接続するには、[SOCKSv5 プロキシ経由で接続] を選択します。プロキシサーバーの IP アドレスと通信ポートまたはホスト名を選択します。SOCKSv5 プロキシサーバーで認証が必要な場合は、[プロキシサーバーで認証が必要] チェックボックスを選択し、サインイン認証情報を入力します。
   - データ転送に使用するトランスポートプロトコルを選択するには、[Protocol] (プロトコル) タブを選択します。デフォルトでは、QUIC プロトコルが使用可能な場合、クライアントによりデータ転送に QUIC プロトコル (UDP に基づく) が使用されます。使用できない場合は WebSocket プロトコル (TCP に基づく) が使用されます。このオプションは常に使用可能です。

     QUIC は、以下の 2 つの条件が満たされている場合にのみ使用できます。1 つ目は、QUIC がサポートされるように Amazon DCV サーバーが設定されていることです。2 つ目は、ネットワーク設定で、Amazon DCV クライアントと Amazon DCV サーバー間の UDP 通信がサポートされていることです。さらに、中間プロキシ、ゲートウェイ、ロードバランサーのいずれも存在しないクライアントとサーバー間の直接通信に対してのみサポートされます。

     明示的に選択することで、クライアントにデータトランスポートプロトコルの使用を強制できます。使用されているプロトコルを確認するには、[Streaming Modes] (ストリーミングモー

ド) ダイアログを確認します。さらに、QUIC プロトコルが使用中である場合は、タイトルバーに「QUIC」と表示されます。

詳細と手順については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「QUIC UDP トランスポートプロトコルを有効にする」を参照してください。

3. 以下の形式でセッションの詳細を指定します。

```
server_hostname_or_IP:port#session_id
```

次の例では、`my-session` という名前のセッションにコマンドを接続します。このセッションは、`my-dcv-server.com` というホスト名を用いて Amazon DCV サーバーでホストされます。ポート 8443 経由で接続されます。

```
my-dcv-server.com:8443#my-session
```

4. [接続]を選択してください。
5. サインイン認証情報を入力し、[ログイン] を選択します。

> **Note**
> デフォルトでは、ログイン試行が 3 回失敗すると接続は終了します。再度実行するには、接続を再起動します。

6. サーバーの証明書を確認するプロンプトが表示されたら、Amazon DCV 管理者に証明書のフィンガープリントを確認します。フィンガープリントが有効である場合は、[Trust & Connect] (信頼して接続する) を選択します。

ウェブブラウザクライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続

サポートされているすべてのウェブブラウザで、Amazon DCV セッションに接続するためのステップは同じです。クライアントは、ウェブブラウザのプロキシ設定を使用して Amazon DCV サーバーに接続します。さまざまなプロキシ設定を使用して接続する場合は、ご利用のウェブブラウザのドキュメントを参照してください。

> **Note**
> ウェブブラウザクライアントでは、QUIC (UDP) トランスポートプロトコルがサポートされていません。

ウェブブラウザクライアントを使用して Amazon DCV セッションに接続する方法

1. ウェブブラウザを開き、次の形式で Amazon DCV サーバー URL を入力します。

   ```
   https://server_hostname_or_IP:port/#session_id
   ```

   次の例では、`my-session` という名前のセッションに URL を接続します。このセッションは、`my-dcv-server.com` というホスト名を用いて Amazon DCV サーバーでホストされます。ポート 8443 経由で接続されます。

   ```
   https://my-dcv-server.com:8443/#my-session
   ```

2. サインイン認証情報を入力し、[ログイン] を選択します。

   > **Note**
   > デフォルトでは、ログイン試行が 3 回失敗すると接続は終了します。再度実行するには、接続を再起動します。

3. ウェブブラウザは、サーバーの証明書が信頼されていないという警告を受け取る場合があります。証明書の信頼性が不明な場合は、Amazon DCV 管理者に確認してください。安全な場合は続行します。

   > **Note**
   > このステップは、使用しているウェブブラウザによって異なります。

Linux クライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続

Amazon DCV セッションに接続するためのステップは、すべての Linux クライアント間で同じです。

Linux クライアントを使用してセッションに接続するには

1. Linux クライアントを起動します。
2. [Connections Settings (接続設定)] を選択して、以下のようにプロキシを設定してから [Apply (適用)] を選択します。

   - プロキシ経由で接続されないように、[Connect directly (直接接続)] を選択します。
   - 事前設定されたオペレーティングシステムプロキシ設定を使用して Amazon DCV サーバーに接続するには、[システムプロキシを使用] を選択します。
   - 特定の HTTP プロキシサーバーを通じて Amazon DCV サーバーに接続するには、[ウェブプロキシ (HTTP) 経由で取得] を選択します。プロキシサーバーの IP アドレスまたはホスト名と、通信ポートを指定します。HTTP プロキシサーバーで認証が必要な場合は、[プロキシサーバーで認証が必要] チェックボックスを選択し、サインイン認証情報を入力します。
   - 特定の HTTPS プロキシサーバーを通じて Amazon DCV サーバーに接続するには、[ウェブプロキシ (HTTPS) 経由で取得] を選択します。プロキシサーバーの IP アドレスまたはホスト名と、通信ポートを指定します。ウェブプロキシサーバーで認証が必要な場合は、[プロキシサーバーで認証が必要] チェックボックスを選択し、サインイン認証情報を入力します。
   - データ転送に使用するトランスポートプロトコルを選択するには、[Protocol] (プロトコル) タブを選択します。デフォルトでは、QUIC プロトコルが使用可能な場合、クライアントによりデータ転送に QUIC プロトコル (UDP に基づく) が使用されます。使用できない場合は WebSocket プロトコル (TCP に基づく) が使用されます。このオプションは常に使用可能です。

     QUIC は、以下の2つの条件が満たされている場合にのみ使用できます。1 つ目は、QUIC がサポートされるように Amazon DCV サーバーが設定されていることです。2 つ目は、ネットワーク設定で、Amazon DCV クライアントと Amazon DCV サーバー間の UDP 通信がサポートされていることです。さらに、中間プロキシ、ゲートウェイ、ロードバランサーのいずれも存在しないクライアントとサーバー間の直接通信に対してのみサポートされます。

     明示的に選択することで、クライアントにデータトランスポートプロトコルの使用を強制できます。使用されているプロトコルを確認するには、[Streaming Modes] (ストリーミングモード) ダイアログを確認します。さらに、QUIC プロトコルが使用中である場合は、タイトルバーに「QUIC」と表示されます。

     詳細と手順については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「QUIC UDP トランスポートプロトコルを有効にする」を参照してください。
3. 以下の形式でセッションの詳細を指定します。

```
server_hostname_or_IP:port#session_id
```

次の例では、`my-session` という名前のセッションにコマンドを接続します。このセッションは、`my-dcv-server.com` というホスト名を用いて Amazon DCV サーバーでホストされます。ポート 8443 経由で接続されます。

```
my-dcv-server.com:8443#my-session
```

4. [接続]を選択してください。
5. サインイン認証情報を入力し、[ログイン] を選択します。

> **Note**
> デフォルトでは、ログイン試行が 3 回失敗すると接続は終了します。再度実行するには、接続を再起動します。

6. サーバーの証明書を確認するプロンプトが表示されたら、Amazon DCV 管理者に証明書のフィンガープリントを確認します。フィンガープリントが有効である場合は、[Trust & Connect] (信頼して接続する) を選択します。

macOS クライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続

macOS クライアントを使用してセッションに接続するには

1. macOS クライアントを起動します。

   身元不明のデベロッパーからのアプリケーションであるため、アプリケーションを開くことができないというエラーが表示された場合は、「Mac でアプリケーションを安全に開く」のウェブページを参照してください。

2. [Connections Settings (接続設定)] を選択して、以下のようにプロキシを設定してから [Apply (適用)] を選択します。

   - プロキシ経由で接続されないように、[Connect directly (直接接続)] を選択します。
   - 事前設定されたオペレーティングシステムプロキシ設定を使用して Amazon DCV サーバーに接続するには、[システムプロキシを使用] を選択します。

- 特定の HTTP プロキシサーバーを通じて Amazon DCV サーバーに接続するには、[ウェブプロキシ (HTTP) 経由で取得] を選択します。プロキシサーバーの IP アドレスまたはホスト名と、通信ポートを指定します。HTTP プロキシサーバーで認証が必要な場合は、[プロキシサーバーで認証が必要] チェックボックスを選択し、サインイン認証情報を入力します。
- 特定の HTTPS プロキシサーバーを通じて Amazon DCV サーバーに接続するには、[ウェブプロキシ (HTTPS) 経由で取得] を選択します。プロキシサーバーの IP アドレスまたはホスト名と、通信ポートを指定します。ウェブプロキシサーバーで認証が必要な場合は、[プロキシサーバーで認証が必要] チェックボックスを選択し、サインイン認証情報を入力します。
- データ転送に使用するトランスポートプロトコルを選択するには、[Protocol] (プロトコル) タブを選択します。デフォルトでは、QUIC プロトコルが使用可能な場合、クライアントによりデータ転送に QUIC プロトコル (UDP に基づく) が使用されます。使用できない場合は WebSocket プロトコル (TCP に基づく) が使用されます。このオプションは常に使用可能です。

  QUIC は、以下の条件が満たされている場合にのみ使用できます。1 つ目は、QUIC がサポートされるように Amazon DCV サーバーが設定されていることです。2 つ目は、ネットワーク設定で、Amazon DCV クライアントと Amazon DCV サーバー間の UDP 通信がサポートされていることです。さらに、中間プロキシ、ゲートウェイ、ロードバランサーのいずれも存在しないクライアントとサーバー間の直接通信に対してのみサポートされます。

  明示的に選択することで、クライアントにデータトランスポートプロトコルの使用を強制できます。使用されているプロトコルを確認するには、[Streaming Modes] (ストリーミングモード) ダイアログを確認します。さらに、QUIC プロトコルが使用中である場合は、タイトルバーに「QUIC」と表示されます。

  詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「QUIC UDP トランスポートプロトコルを有効にする」を参照してください。

3. 以下の形式でセッションの詳細を指定します。

```
server_hostname_or_IP:port#session_id
```

次の例では、`my-session` という名前のセッションにコマンドを接続します。このセッションは、`my-dcv-server.com` というホスト名を用いて Amazon DCV サーバーでホストされます。ポート 8443 経由で接続されます。

```
my-dcv-server.com:8443#my-session
```

4. [接続]を選択してください。
5. サインイン認証情報を入力し、[ログイン] を選択します。

> **Note**
>
> デフォルトでは、ログイン試行が 3 回失敗すると接続は終了します。再度実行するには、接続を再起動します。

6. サーバーの証明書を確認するプロンプトが表示されたら、Amazon DCV 管理者に証明書のフィンガープリントを確認します。フィンガープリントが有効である場合は、[Trust & Connect] (信頼して接続する) を選択します。

URI を使用した Amazon DCV セッションへの接続

URI を使用すると、ローカルにインストールされた Amazon DCV クライアントが自動的に開き、URI から情報が渡されます。

インターネットブラウザの URL フィールドに、次の形式で URI を入力します: `dcv://hostname[:port]/[?authToken][#sessionId]`

Example

例: `dcv://203.0.113.1:8443/?authToken=e3b0c44298fc1c149afbf4c8996fb92427ae41e4649b934ca495991b7852b855#12345`

ローカルにインストールされたクライアントが、情報が事前入力された状態で開きます。

詳細については、「Amazon DCV セッションマネージャーデベロッパーガイド」の「GetSessionConnectionData」を参照してください。

ステップ 4: 接続ファイルを作成する (オプション)

Windows、Linux、または macOS のネイティブクライアントを使用している場合、接続ファイルを作成して使用すれば、瞬時に Amazon DCV セッションに接続できます。

内容

- 接続ファイルの作成
- サポートされているパラメータ
- 接続ファイルの実行

接続ファイルの作成

接続ファイルは、.dcv ファイル拡張子を持つテキストベースのファイルです。.dcv ファイルの形式は .ini ファイルの形式と同様です。このファイルには、[groups]、続いてパラメータとそれらの値が含まれます。グループとパラメータは、次の形式になります。

```
[group_name]
parameter_name=parameter_value
```

例:

```
[options]
fullscreen=true
```

特定の Amazon DCV セッション用の接続ファイルをクライアントから直接作成できます。あるいは、テキストエディタを使用すれば接続ファイルを最初から作成できます。

> **Note**
> テキストエディタを使用して接続ファイルを最初から作成する手順は、Windows、Linux、macOS クライアントで同じです。

クライアントから接続ファイルを作成するには

1. クライアントを開きます。
2. ファイルを作成するサーバーとセッションに接続します。
3. 右上隅にある Amazon DCV サーバーのホスト名を選択し、[接続に名前を付けて保存] を選択します。
4. [名前を付けて保存] ウィンドウで、ファイル名と移動先フォルダを入力し、[保存] を選択します。

デフォルトでは、接続ファイルを作成する場合、このファイルには、format、host、port、user および proxytype パラメータが含まれます。これらのパラメータは、ファイルの作成元セッション

に接続するために必要です。テキストエディタを使用してファイルを編集することで、いつでも手動でパラメータをカスタマイズまたは追加できます。

テキストエディタを使用して接続ファイルを最初から作成するには

1. 次のファイル名形式で .dcv ファイルを作成します。*file_name*.dcv
2. 任意のテキストエディタを使用して .dcv ファイルを開きます。
3. [version] グループおよび format パラメータをファイルの先頭に次の形式で追加します。

```
[version]
format=1.0
```

> **Important**
>
> .dcv ファイルに [version] グループと format パラメータが含まれていない場合、解析は失敗します。

4. 次の形式を使用して、必要なパラメータグループを追加します。

```
[group_name]
```

パラメータグループの詳細については、「サポートされているパラメータ」を参照してください。

5. 次の形式を使用して、グループの後にパラメータとパラメータ値を追加します。

```
parameter_name=parameter_value
```

> **Note**
>
> - パラメータ名では大文字と小文字が区別されます。
> - 文字列パラメータ値を引用符で囲まないでください。

パラメータとパラメータ値の詳細については、「サポートされているパラメータ」を参照してください。

6. 変更内容を保存し、.dcv ファイルを閉じます。

この手順を使用して、いつでも既存の接続ファイルにパラメータを追加することもできます。

サポートされているパラメータ

現在、.dcv ファイルでは 3 つのパラメータグループのパラメータ [version]、[connect]、[options] がサポートされています。次の表に、グループとその使用可能なパラメータを示します。

グループ

- [version] 個のパラメータ
- [connect] 個のパラメータ
- [options] 個のパラメータ

[version] 個のパラメータ

> **Important**
> これは必須のフィールドです。.dcv ファイルにこのグループが含まれていない場合、解析は失敗します。

次の表に、[version] グループで指定できるパラメータを示します。

パラメータ	タイプ	デフォルト値	説明	
format	文字列		**Important** これは必須のパラメータです。パラメータ値は 1.0 である必要があります。.dcv ファイルにこの	

パラメータ	タイプ	デフォルト値	説明
			パラメータが含まれていない場合、解析は失敗します。

[connect] 個のパラメータ

次の表に、[connect] グループで指定できるパラメータを示します。

パラメータ	タイプ	デフォルト値	説明
ホスト	String		セッションをホストしている Amazon DCV サーバーのホスト名。
port	整数	8443	Amazon DCV サーバーへの接続時に使用するポート。
weburlpath	String		Amazon DCV サーバーの接続用カスタムパス。たとえば、customPath を指定した場合、クライアントは host:port/customPath への接続を試みます。

パラメータ	タイプ	デフォルト値	説明
sessionid	String		接続する Amazon DCV セッションの ID。
authtoken	String		接続に使用する認証トークン。`authtoken` を指定する場合は、`sessionid` も指定する必要があります。`authtoken` を使用するときは、`user` パラメータと `password`パラメータを省略できます。
ユーザー	String		Amazon DCV サーバーへの接続時に使用するユーザー名。
password	String		Amazon DCV サーバーへの接続時に使用するパスワード。パスワードは暗号化されません。

パラメータ	タイプ	デフォルト値	説明
proxytype	String	SYSTEM	使用するプロキシタイプ。有効な値は、HTTPS、HTTP、SOCKS5|SOCKS 、SYSTEM、または NONE|DIRECT です。SYSTEM を指定すると、コンピュータのプロキシ設定が使用されます。
proxyhost	String		プロキシサーバー経由で接続する場合に使用されるプロキシサーバーのアドレス。
proxyport	整数		プロキシサーバー経由で接続する場合に使用されるポート。
proxyuser	String		プロキシ認証に使用されるユーザー名。
proxypassword	String		プロキシ認証に使用されるパスワード。パスワードは暗号化されません。

パラメータ	タイプ	デフォルト値	説明	
トランスポート	String	`auto`	データ転送に使用するプロトコル。`auto` でクライアントは最初に QUIC (UDP) プロトコルを使用して接続を試みます。QUIC 接続が失敗すると、トランスポートは自動的に `websocket` に戻ります。 データ転送に WebSocket (TCP) プロトコルを使用する場合は `websocket` を、データ転送に QUIC (UDP) プロトコルを使用する場合は `quic` を指定します。QUIC を有効にすると、QUIC プロトコルがデータ転送に使用され、WebSocket が認証トラフィックに使用されます。WebSocket を有効にすると、WebSocket プロトコルがデータ転送と	

パラメータ	タイプ	デフォルト値	説明
			認証トラフィックの両方に使用されます。
webport	整数	8443	WebSocket (TCP) トラフィックに使用するポート。
quicport	整数	8443	QUIC (UDP) トラフィックに使用するポート。
certificatevalidationpolicy	String	ask-user	信頼できない証明書を検証するためのポリシー。値には `strict`、`accept-untrusted` 、および `ask-user` があります。

`[options]` 個のパラメータ

次の表に、`[options]` グループで指定できるパラメータを示します。

パラメータ	タイプ	デフォルト値	説明
fullscreen	ブール値	false	クライアントが全画面モードで起動するかどうかを示します。
useallmonitors	ブール値	false	全画面モードの開始時にクライアン

パラメータ	タイプ	デフォルト値	説明
			トですべてのモニターが使用されるかどうかを示します。
promptreconnect	ブール値	真	セッションから切断した後、クライアントにより再接続を求めるメッセージが表示されるかどうかを示します。パラメータが `true` に設定されている場合、切断するとサインイン画面にリダイレクトされます。パラメータが `false` に設定されている場合、切断するとクライアントは閉じます。
enableyuv 444decoding	ブール値	false	動的ビデオコンテンツをエンコードするときに、[高色精度 (YUV 4:4:4)] を有効にするかどうかを示します。

接続ファイルの実行

`.dcv` 接続ファイルを実行するには、そのファイルに移動してダブルクリックします。

または、`dcvviewer` コマンドの引数としてファイルパスを指定します。

- Windows クライアント

```
C:\> dcvviewer.exe path\connection_file_name.dcv
```

- Linux クライアントおよび macOS クライアント

```
$ dcvviewer path/connection_file_name.dcv
```

Amazon DCV クライアントについて

Amazon DCV は、Windows クライアント、Linux クライアント、ウェブブラウザクライアント、および macOS クライアントを提供します。クライアントは同様の機能セットを提供しますが、いくつかの違いがあります。特定の要件を満たしている Amazon DCV クライアントを選択してください。

Amazon DCV には、使用できるさまざまなクライアントが用意されています。それぞれのクライアントで同様の機能セットが提供されていますが、いくつかの違いがあります。ニーズに最適な Amazon DCV クライアントを選択する際は、ローカルデバイスのオペレーティングシステム、必要な特定の機能、必要な統合レベルなどの要素を考慮してください。クライアントは同様の機能セットを提供しますが、機能やユーザーインターフェイスには若干の違いがある場合があります。詳細については、「Requirements」を参照してください。

Amazon DCV クライアントには以下が含まれます。

- Windows クライアント – Windows とのシームレスな統合を提供し、デスクトップ共有、オーディオ/ビデオ再生、USB デバイスリダイレクト、クリップボード統合などの機能をサポートします。
- ウェブブラウザクライアント – このオプションは、専用のクライアントアプリケーションをインストールしなくても、さまざまなデバイスや場所からリモートリソースにアクセスする必要があるユーザーに役立ちます。
- Linux クライアント – Linux ユーザーは、Windows クライアントと同じレベルのパフォーマンスと機能でリモートリソースにアクセスできます。
- macOS クライアント – macOS 環境とシームレスに統合する専用クライアントを提供します。このクライアントは、同じ機能セットを提供します。

Windows クライアント

Amazon DCV Windows クライアントは、Windows コンピュータでのみサポートされています。Windows クライアントは、Windows オペレーティングシステムで実行されるスタンドアロンアプリケーションです。

Windows クライアントを使用して Amazon DCV セッションに接続する方法については、「Windows クライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続」を参照してください。

Windows クライアントには、インストール可能とポータブルの 2 つのバージョンがあります。どちらのバージョンも最小システム要件と機能は同じです。

目次

- インストール可能な Windows クライアント
- ポータブル Windows クライアント

インストール可能な Windows クライアント

インストールウィザードを使用して、クライアントをインストールできます。ウィザードには、クライアントのインストールをカスタマイズするための一連のステップが示されます。また、コマンドラインを使用して自動インストールを実行することもできます。その場合はデフォルト設定によりインストール手順が自動化されます。

ウィザードまたはコマンドラインを使用してクライアントをインストールする前に、コンピュータに必要なソフトウェアが入っていることを確認してください。必要なソフトウェアの完全なリストについては、「要件」を参照してください。

インストールウィザードを使用して Windows クライアントをインストールするには

1. Windows client installer をダウンロードします。

   > **Tip**
   > ダウンロード用ウェブサイトの最新のパッケージには、利用可能な最新バージョンに常に接続されているリンクが含まれます。これらのリンクを使用すれば、最新の Amazon DCV パッケージを自動的に取得できます。

2. インストーラーを実行します。
3. [Welcome (ようこそ)] 画面で、[Next (次へ)] を選択します。
4. [End-User License Agreement] (エンドユーザーライセンス契約) 画面で、使用許諾書を読みます。同意する場合は、[I accept the terms in the License Agreement] (使用許諾契約書の条項に同意します) チェックボックスを選択します。[次へ] を選択します。
5. [Destination Folder (インストールフォルダ)] 画面で、[Next (次へ)] を選択し、インストールフォルダをデフォルトのままにしておきます。クライアントを別のフォルダにインストールするには、インストール先のパスを変更して、[Next (次へ)] を選択します。
6. (オプション) [Drivers Selection] (ドライバーの選択) 画面で、[USB device remotization] (USB デバイスのリモート化) を選択します。次に、[Will be installed on local hard drive] (ローカルハードドライブにインストールされる)、[Next] (次へ) の順に選択します。これにより、一部の特殊

な USB デバイスをサポートするために必要なドライバーがインストールされます。これらのデバイスには 3D ポインティングデバイスやグラフィックタブレットなどがあります。

> **Note**
>
> 特殊な USB デバイスを使用するには、クライアントとサーバーの追加設定が必要です。手順については、「USB リモート化の使用」を参照してください。

7. [Ready to install (インストールの準備完了)] 画面で、[Install (インストール)] を選択します。

自動インストールを使用して Windows クライアントをインストールするには

1. Windows client installer をダウンロードします。
2. コマンドプロンプトウィンドウを開いて、インストーラをダウンロードしたフォルダに移動します。
3. 自動インストーラを実行します。

```
C:\> msiexec.exe /i nice-dcv-client-Release-2024.0-9431.msi /quiet /norestart /l*v
 dcv_client_install_msi.log
```

USB ドライバーを含むオプションコンポーネントをすべてインストールするには、コマンド内の `ADDLOCAL=ALL` オプションを含めます。

```
C:\>  msiexec.exe /i nice-dcv-client-Release-2024.0-9431.msi ADDLOCAL=ALL /quiet /
norestart /l*v dcv_client_install_msi.log
```

ポータブル Windows クライアント

Windows クライアントはポータブルバージョンでも使用できます。ポータブルバージョンをコンピュータにインストールする必要はありません。クライアントを USB ドライブにコピーし、最小要件を満たす Windows コンピュータで USB ドライブからクライアントを直接実行できます。

ポータブル Windows クライアントを使用するには

1. ポータブル Windows クライアント zip ファイルをダウンロードします。

> **Tip**
> ダウンロード用ウェブサイトの最新のパッケージには、利用可能な最新バージョンに常に接続されているリンクが含まれます。これらのリンクを使用すれば、最新の Amazon DCV パッケージを自動的に取得できます。

2. zip ファイルの内容を展開します。
3. クライアントを起動するには、展開したフォルダを開き、`/bin/` に移動し、`dcvviewer.exe` をダブルクリックします。

ウェブブラウザクライアント

Amazon DCV ウェブブラウザクライアントは、ウェブブラウザ内で動作します。ウェブクライアントをインストールする必要はありません。ウェブブラウザクライアントは、すべてのデスクトップオペレーティングシステム (Windows、macOS、Linux を含む) で以下のブラウザに対応しています。

ブラウザ	バージョン
Google Chrome	最新の 3 つのメジャーバージョン
Mozilla Firefox	最新の 3 つのメジャーバージョン
Microsoft Edge	最新の 3 つのメジャーバージョン
Apple Safari	最新の 3 つのメジャーバージョン

ウェブクライアントを使用して Amazon DCV セッションに接続する方法については、「ウェブブラウザクライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続」を参照してください。

WebCodecs

ウェブブラウザクライアントで WebCodecs を使用すれば、ブラウザに内蔵されているビデオデコーダを使用できます。これにより、ブラウザのコンポーネントによるパケットのデコードが可能になるため、フレームレートが向上します。Amazon DCV ウェブブラウザクライアントは、ブラウザによってサポートされている場合は自動的にこれを使用します。

WebCodecs は次のブラウザで使用できます。

- Google Chrome バージョン 94 以降
- Microsoft Edge バージョン 94 以降

主要なオペレーティングシステムはすべてサポートされています。これには、Windows、macOS、Linux が含まれます。

制限

ウェブブラウザクライアントには以下の制限があります。

- これは、1920x1080 の最大解像度で最大 2 枚の画面をサポートしています。最大解像度はサーバー側で上書きできます。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「Amazon DCV セッション表示レイアウトの管理」を参照してください。
- ウェブブラウザのプロキシ設定を使用。

Linux クライアント

Linux クライアントはオペレーティングシステムでネイティブに実行されます。これを使用して、Windows および Linux の Amazon DCV サーバーでホストされる Amazon DCV セッションに接続することができます。

ソフトウェアパッケージを使用して、Linux クライアントを Linux クライアントコンピュータにインストールします。このソフトウェアパッケージで、必要なパッケージとその依存関係をすべてインストールし、必要なクライアント設定を実行します。

Linux クライアントを使用して Amazon DCV セッションに接続する方法については、「Linux クライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続」を参照してください。

Linux クライアントをインストールするには

1. ソフトウェアパッケージは、安全な GPG 署名でデジタル署名されています。パッケージマネージャーによるパッケージ署名の検証を可能にするには、Amazon DCV GPG キーをインポートする必要があります。これを実行するために、ターミナルウィンドウを開いて Amazon DCV GPG キーをインポートします。

   - RHEL、CentOS、Rocky Linux、SUSE Linux Enterprise 15

   ```
   $ sudo rpm --import https://d1uj6qtbmh3dt5.cloudfront.net/NICE-GPG-KEY
   ```

- Ubuntu

  GPG キーをダウンロードします。

  ```
  $ wget https://d1uj6qtbmh3dt5.cloudfront.net/NICE-GPG-KEY
  ```

  GPG キーをインストールします。

  ```
  $ sudo apt-key add NICE-GPG-KEY
  ```

2. 対象のオペレーティングシステムに適したクライアントソフトウェアパッケージを Amazon DCV のウェブサイトからダウンロードします。

   > **Tip**
   > ダウンロード用ウェブサイトの最新のパッケージには、利用可能な最新バージョンに常に接続されているリンクが含まれます。これらのリンクを使用すれば、最新の Amazon DCV パッケージを自動的に取得できます。

3. Linux クライアントをインストールします。ダウンロードしたファイルのファイル名を入力して、次のコマンドを実行します。

   - RHEL、CentOS、Rocky Linux

     ```
     $  sudo yum install the downloaded .rpm file
     ```

   - Ubuntu

     ```
     $  sudo dpkg --install the downloaded .deb file
     ```

   - SUSE Linux Enterprise

     ```
     $  sudo zypper install the downloaded .rpm file
     ```

macOS クライアント

Amazon DCV macOS クライアントは、Apple Mac コンピュータでのみサポートされています。macOS クライアントは、macOS オペレーティングシステムで実行されるスタンドアロンアプリケーションです。

macOS クライアントは、`.dmg` ソフトウェアパッケージを使用してインストールされます。

macOS クライアントを使用して Amazon DCV セッションに接続する方法については、「macOS クライアントを使用した Amazon DCV セッションへの接続」を参照してください。

macOS クライアントをインストールするには

1. クライアントコンピュータに応じて、適切な macOS クライアントインストーラをダウンロードします。

   - Intel プロセッサ用 macOS クライアント
   - Apple M1 プロセッサ用 macOS クライアント

   > **Tip**
   > ダウンロード用ウェブサイトの最新のパッケージには、利用可能な最新バージョンに常に接続されているリンクが含まれます。これらのリンクを使用すれば、最新の Amazon DCV パッケージを自動的に取得できます。

2. ダウンロードされた `.dmg` ファイルを実行します。

   身元不明の開発者からのアプリケーションであるため、アプリケーションをインストールできないというエラーが表示された場合は、「Mac でアプリケーションを安全に開く」のウェブページを参照してください。

3. `DCV.app` ファイルをクリックし、アプリケーションフォルダにドラッグします。
4. (オプション) 簡単にアクセスするために、デスクトップショートカットを作成するか、アプリケーションをドックに追加します。

Amazon DCV の使用

Amazon DCV クライアントを選択したら、それを使用して、Amazon DCV セッションの操作を行うことができます。ここから、設定を変更したり、基本的なタスクを実行したり、外部デバイスを管理したりできます。Amazon DCV が実行できる機能には、次のようなものがあります。

設定の変更

- ディスプレイ解像度の変更
- タイムゾーンの設定
- ストリーミングモードの管理

基本機能の使用

- ファイルの転送
- セッションからの印刷
- コピーと貼り付け
- スクリーンショットの保存
- Amazon DCV セッションでのコラボレーション

ディスプレイの管理

- マルチモニターの使用
- 高精度のオーディオ/ビデオ同期の使用
- 高色精度の使用

外部デバイスの管理

- スマートカードの使用
- USB リモート化の使用
- ウェブカメラの使用

ネットワークへの接続

- 証明書検証ポリシーの設定

- WebAuthn リダイレクトの使用

ディスプレイ解像度の変更

デフォルトでは、Amazon DCV はリモートマシンのディスプレイ解像度をクライアントの現在のサイズに合わせて自動的に調整します。クライアントウィンドウのサイズが変更されると、DCV はディスプレイ解像度をクライアントのウィンドウに収まるサイズに変更するようサーバーに要求します。

Amazon DCV は、設定とサーバーシステム設定に従って解像度を設定できます。

- ウェブクライアント解像度は、デフォルトで 1920x1080 (web-client-max-head-resolution サーバー設定から) に制限されています。
- ネイティブクライアントは、デフォルトで 4096x2160 (max-head-resolution から) に制限されています。

使用可能な解像度とモニターの数はサーバーの設定に依存することに注意してください。最適なパフォーマンスを得るには、システム環境とドライバーを適切にセットアップするための「前提条件ガイド」に従ってください。

> **Note**
>
> モニターあたりの最大サポート解像度は、最大 4 つのモニターで 4096x4096 です。高解像度または 4 つ以上のモニターは、どの設定でもサポートされていません。

サーバーの解像度を固定し、クライアントのウィンドウのサイズを変更しても変わらないようにする場合は、[ディスプレイ解像度] メニューを選択し、希望の解像度を指定します。自動サイズ変更を再度有効にする場合は、[自動的に適応] を選択できます。

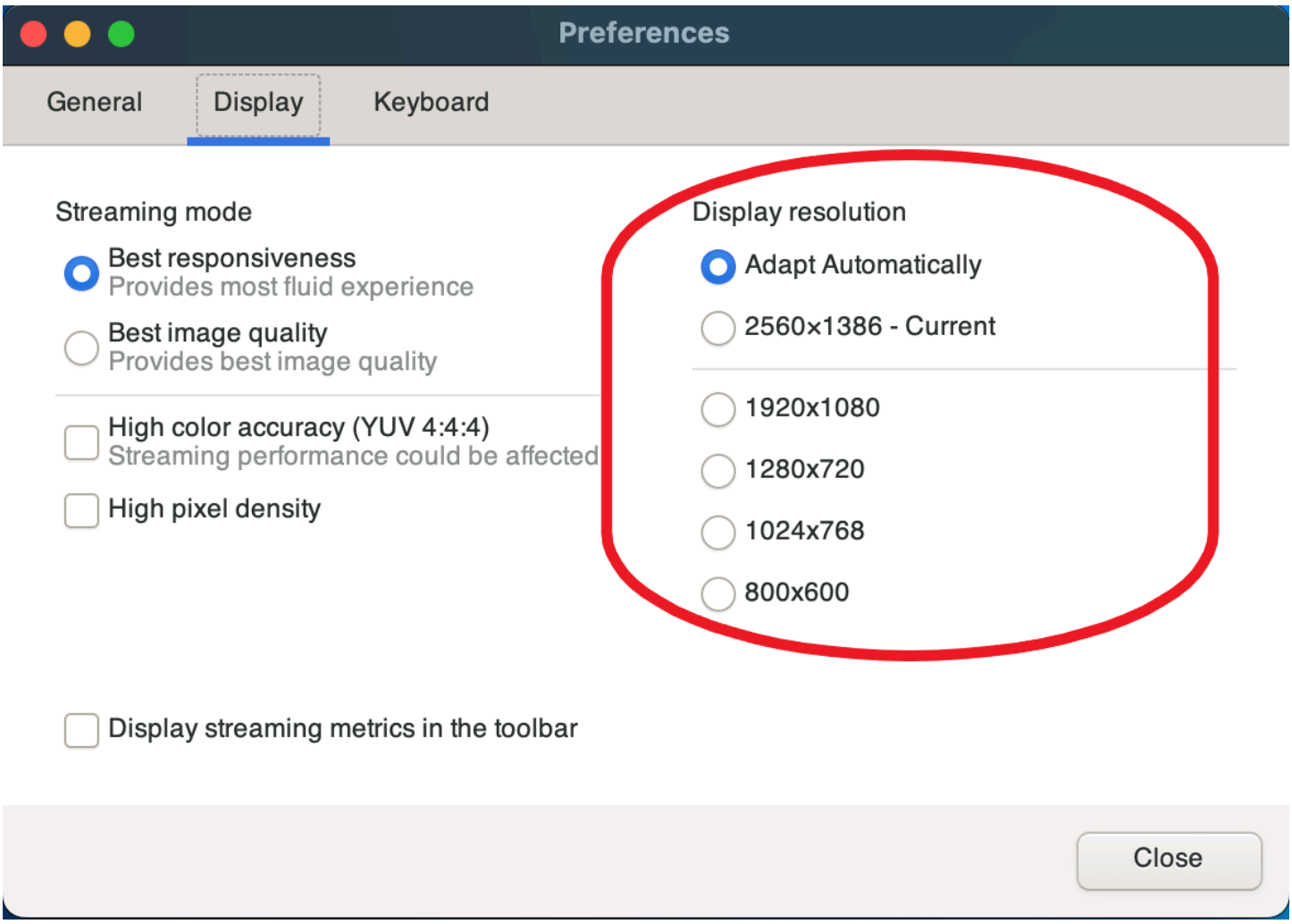
この機能は、Windows クライアント、ウェブブラウザクライアント、Linux クライアント、および macOS クライアントで使用できます。

Windows クライアントのディスプレイ解像度の変更

1. 上部のメニューから [設定] アイコンをクリックします。
2. メニューから [ディスプレイの解像度] を選択します。
3. ドロップダウンメニューから希望の解像度を選択します。

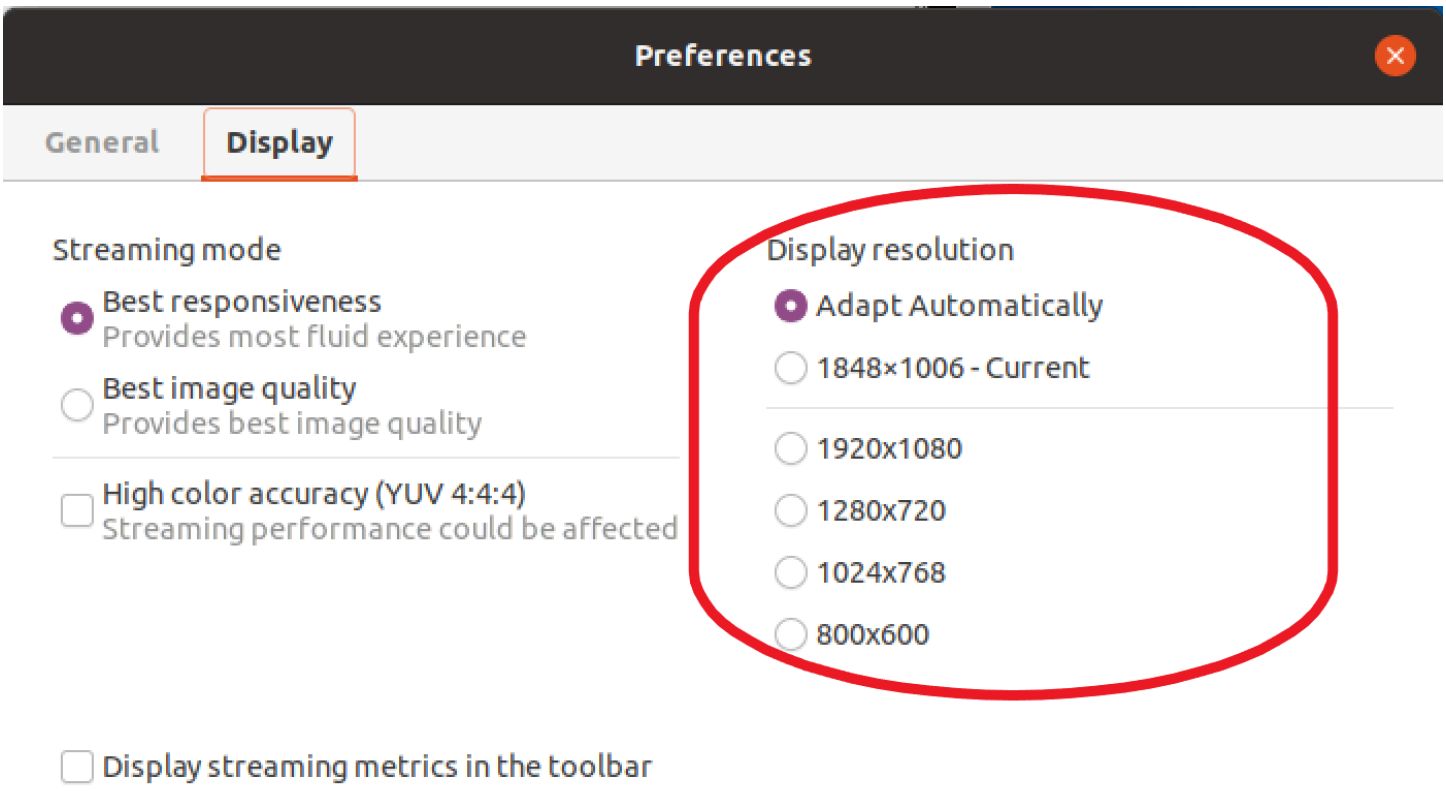
macOS クライアントのディスプレイ解像度の変更

1. 上部のメニューから [DCV ビューア] アイコンをクリックします。
2. ドロップダウンメニューから [設定] を選択します。
3. [ディスプレイ]タブに移動します。
4. [ディスプレイの解像度] メニューから希望の解像度を選択します。



Linux クライアントのディスプレイ解像度の変更

1. 上部のメニューから [設定] アイコンをクリックします。
2. メニューから [設定] を選択します。
3. [ディスプレイ]タブに移動します。
4. [ディスプレイの解像度] メニューから希望の解像度を選択します。



タイムゾーンの設定

DCV では、セッションのタイムゾーンを設定して、現在のタイムゾーンまたは使用しているリモートデスクトップがあるタイムゾーンのいずれかを表示できます。

これはタイムゾーンのリダイレクトと呼ばれます。

この機能を有効または無効にすると、DCV クライアントはユーザーがクライアントにサインオンするたびにこの設定を保存します。

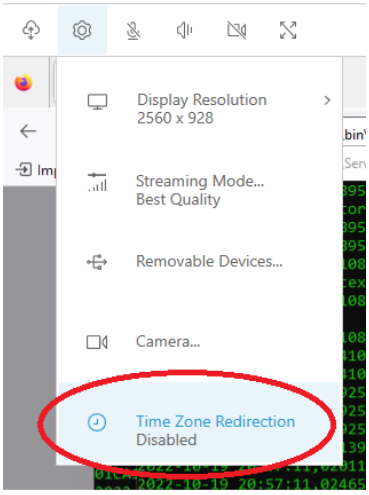
セッションをコラボレーションする場合、そのセッションに最初に接続したクライアント (プライマリ接続と呼ばれる) がセッションのタイムゾーンを設定します。これは、プライマリ接続がセッションを終了しても変更されません。詳細については、「Amazon DCV セッションでのコラボレーション」を参照してください。

この機能を使用するには、管理者が有効にする必要があります。表示されているタイムゾーンを変更するオプションがないものの変更が必要な場合は、管理者に連絡してください。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「設定パラメータの変更」を参照してください。

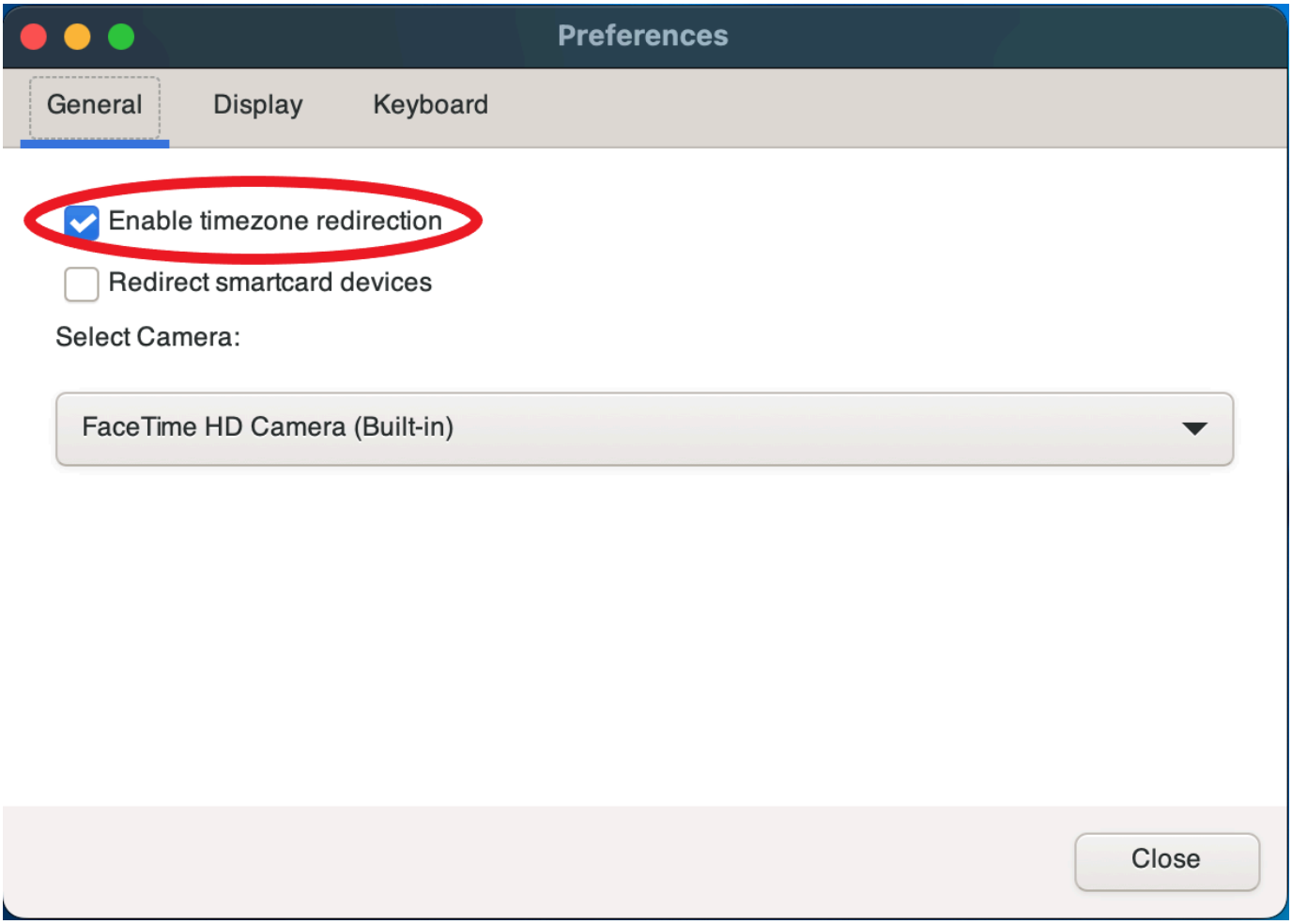
タイムゾーンを設定するには、使用するクライアントに応じて以下のいずれかを実行します。

- Windows の場合
  1. [設定] アイコンに移動します。
  2. ドロップダウンメニューから [タイムゾーンのリダイレクト] を選択します。

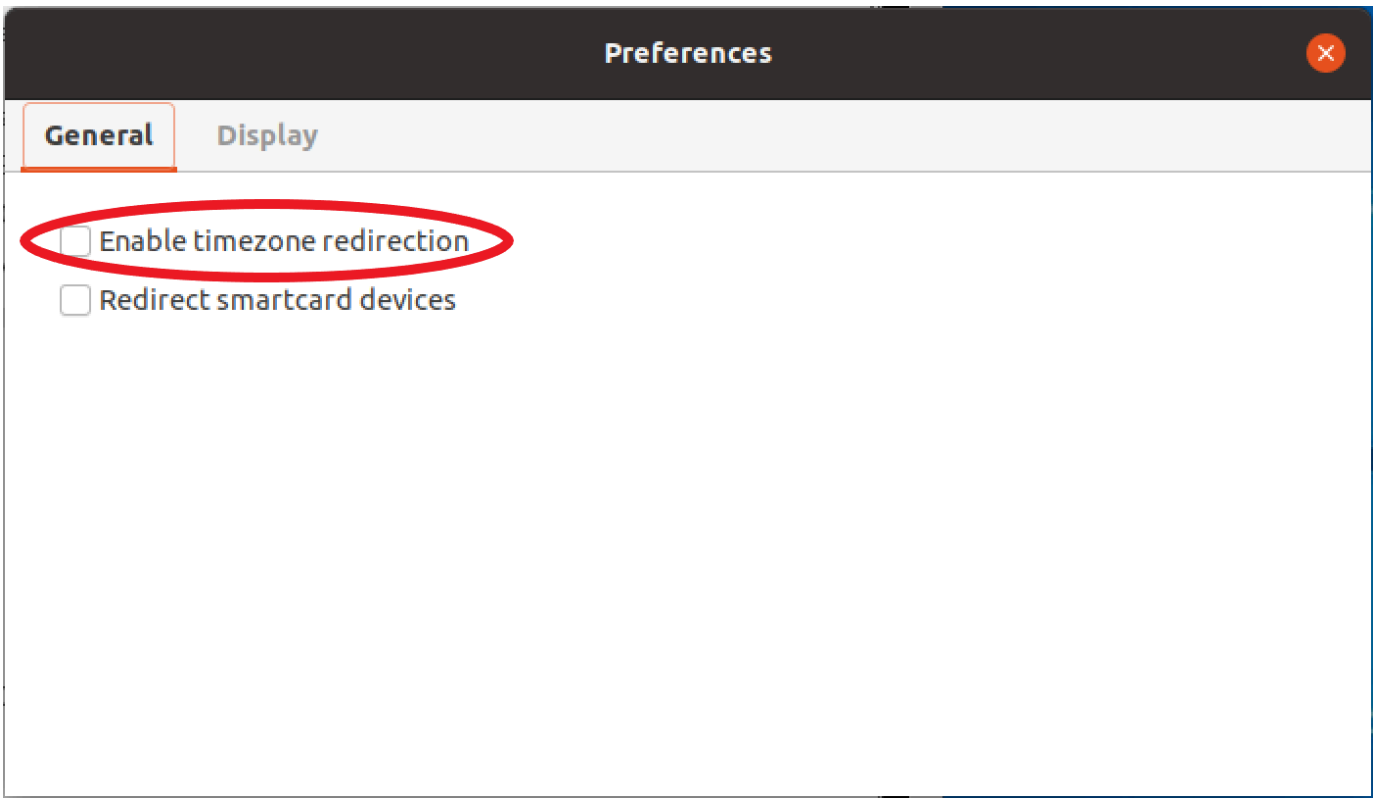
> **Note**
>
> メニューアイテムの下に [有効] か [無効] かが示されます。



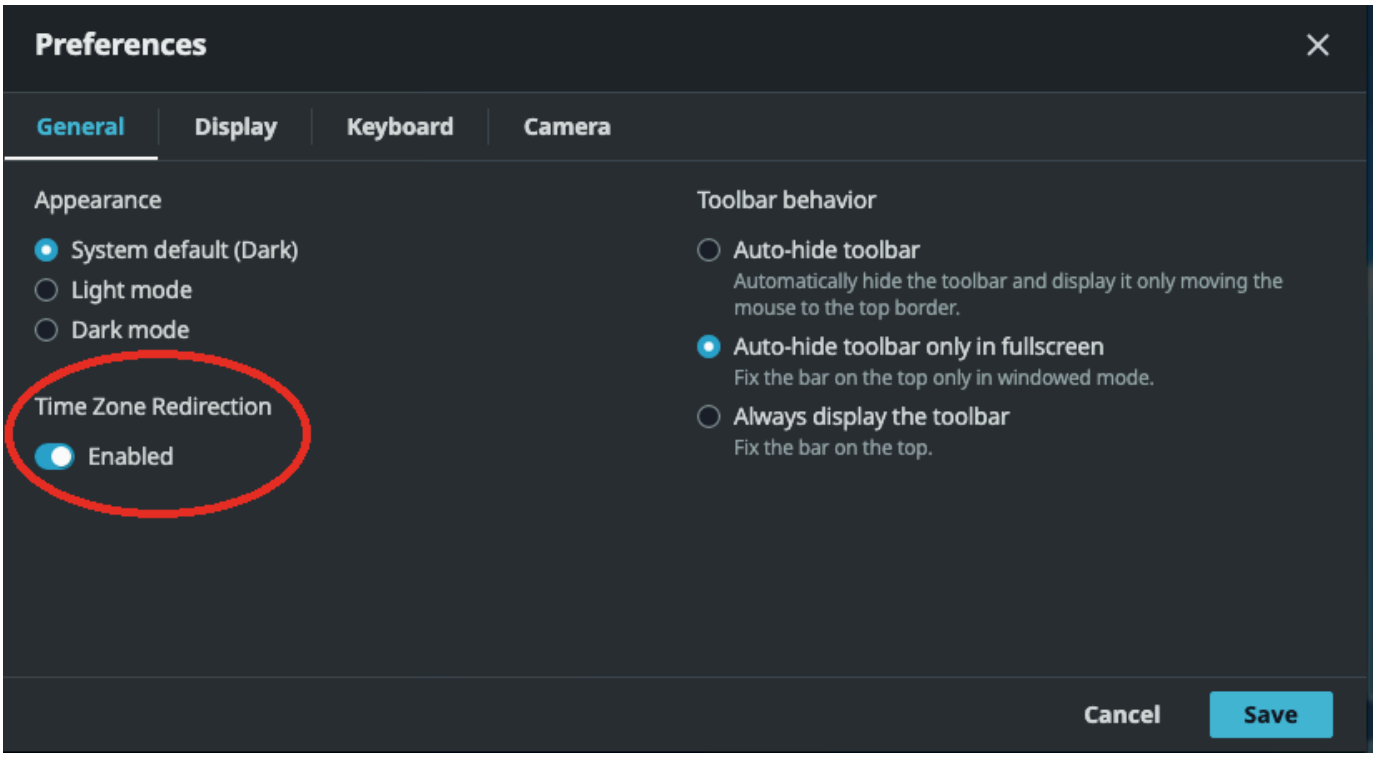
- macOS の場合
  1. 上部のツールバーから [DCV ビューア] アイコンに移動します。
  2. ドロップダウンメニューから [設定] を選択します。
  3. [一般] タブを選択します。
  4. [タイムゾーンリダイレクトを有効にする] のチェックボックスをオンにします。



- Linux の場合
  1. [設定] アイコンに移動します。
  2. ドロップダウンメニューから [設定] を選択します。
  3. [設定] ウィンドウの [一般] タブを選択します。
  4. [タイムゾーンリダイレクト] のチェックボックスをオンにします。



- ウェブベースのクライアント用
  1. [設定] に移動します。
  2. [タイムゾーンリダイレクト] のスイッチをクリックします。



ストリーミングモードの管理

Amazon DCV は、ネットワーク機能に応じてストリーミングモードを自動的に最適化する適応型のプロトコルを使用します。ただし、応答性を優先するか、画質を優先させるかは指定できます。

- 応答性を優先すると ([最高の応答性])、画質が低下し、フレームレートが向上します。このオプションでは応答時間の短縮が重視されますが、画質が低下する可能性があります。
- 画質を優先すると ([最高品質]) 、応答性が低下して画質が向上します。このオプションは高画質を重視します。応答時間が長くなる可能性があります。

この機能は、Windows クライアント、ウェブブラウザクライアント、Linux クライアント、および macOS クライアントで使用できます。ストリーミングモードを設定する手順は、使用するクライアントによって異なります。

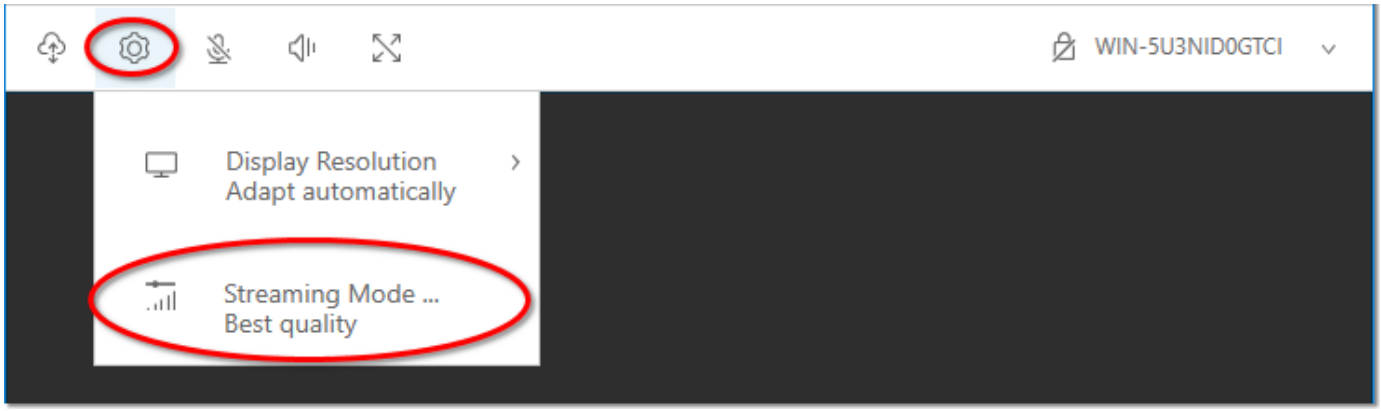
トピック

- Windows、Linux、macOS クライアントのストリーミングモード
- ウェブブラウザークライアントのストリーミングモード

Windows、Linux、macOS クライアントのストリーミングモード

Windows クライアントのストリーミングモード

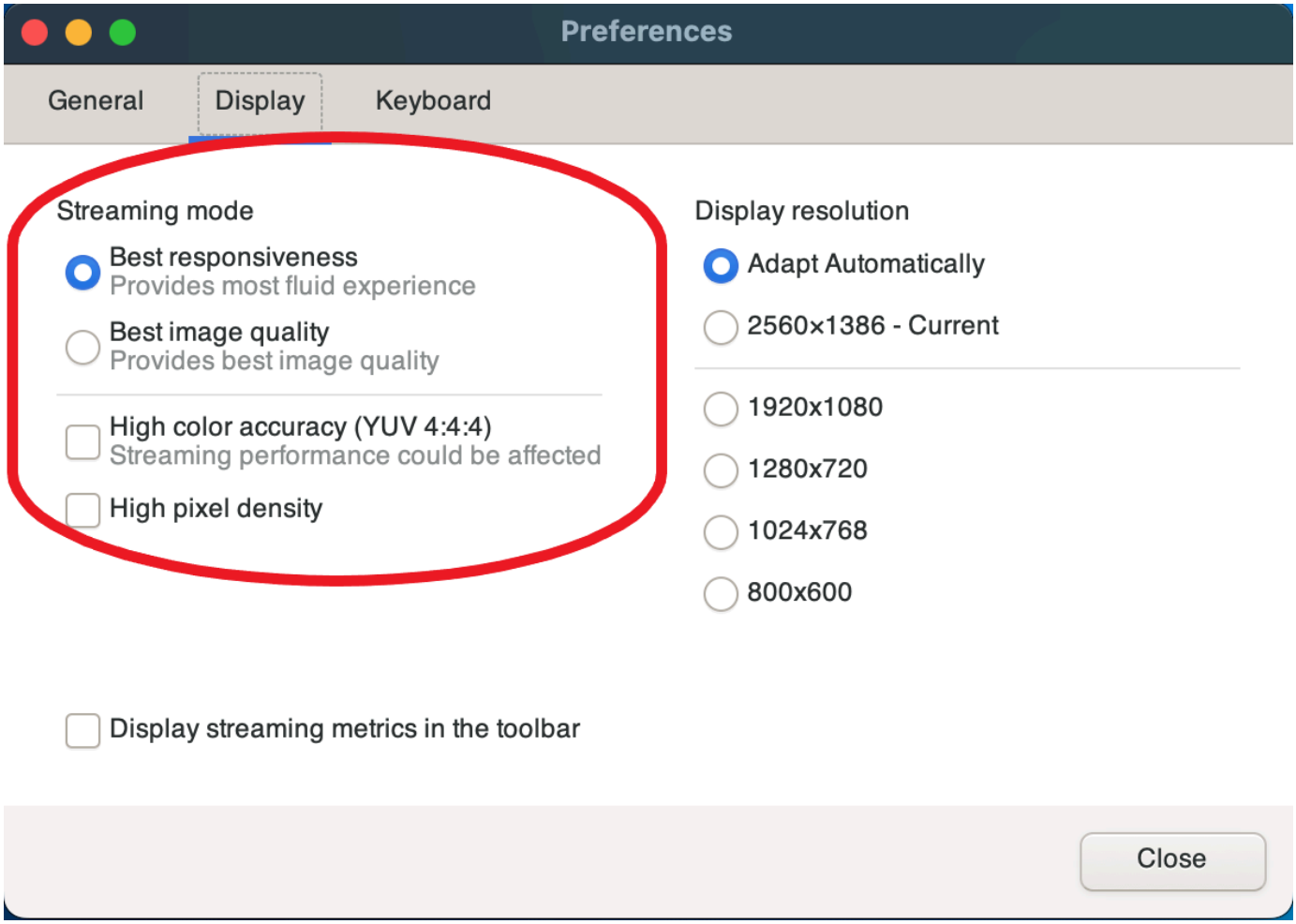
1. [設定] アイコンを選択します。
2. ドロップダウンリストから [ストリーミングモード] を選択します。
3. [ストリーミングモード] ウィンドウで、次のいずれかのオプションを選択します。
   - [最高の応答性]
   - [最高品質]
4. (オプション) ネットワークパフォーマンスについては、[Display Streaming Metrics (ストリーミングメトリクスの表示)] を選択します。詳細については、「ストリーミングメトリクス」を参照してください。



5. [Streaming Mode (ストリーミングモード)] ウィンドウを閉じます。

macOS クライアントのストリーミングモード

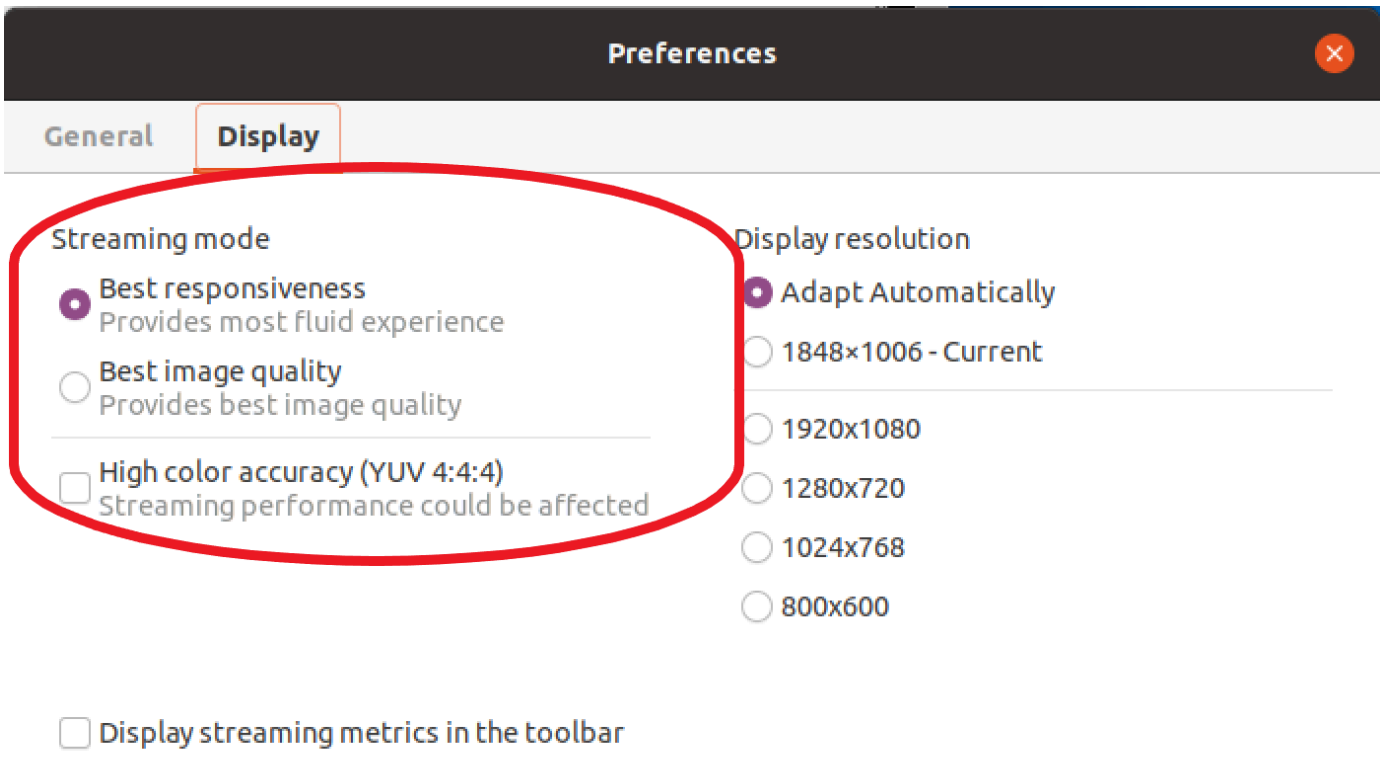
1. ウィンドウ上部で、[DCV ビューア] アイコンを選択します。
2. ドロップダウンメニューから [設定] を選択します。
3. [設定] ウィンドウの [表示] タブを選択します。
4. 以下のオプションのいずれかを選択してください：
   - [最高の応答性]
   - [最高の画質]
5. (オプション) ネットワークパフォーマンスについては、[Display Streaming Metrics (ストリーミングメトリクスの表示)] を選択します。詳細については、「ストリーミングメトリクス」を参照してください。



6. [設定] ウィンドウを閉じます。

Linux クライアントのストリーミングモード

1. ウィンドウ上部の [設定] アイコンを選択し、[ストリーミングモード] を選択します。
2. [設定] ウィンドウの [表示] タブを選択します。
3. 以下のオプションのいずれかを選択してください：
   - [最高の応答性]
   - [最高の画質]
4. (オプション) ネットワークパフォーマンスについては、[Display Streaming Metrics (ストリーミングメトリクスの表示)] を選択します。詳細については、「ストリーミングメトリクス」を参照してください。



5. [設定] ウィンドウを閉じます。

ストリーミングメトリクス

ストリーミングメトリクスは、ネットワークパフォーマンスを評価してネットワーク条件に適したストリーミングモードを決定するために使用されます。ストリーミングメトリクスを表示するには、[Settings (設定)]、[Streaming Mode (ストリーミングモード)]、[Display Streaming Metrics (ストリーミングメトリクスの表示)] の順に選択します。

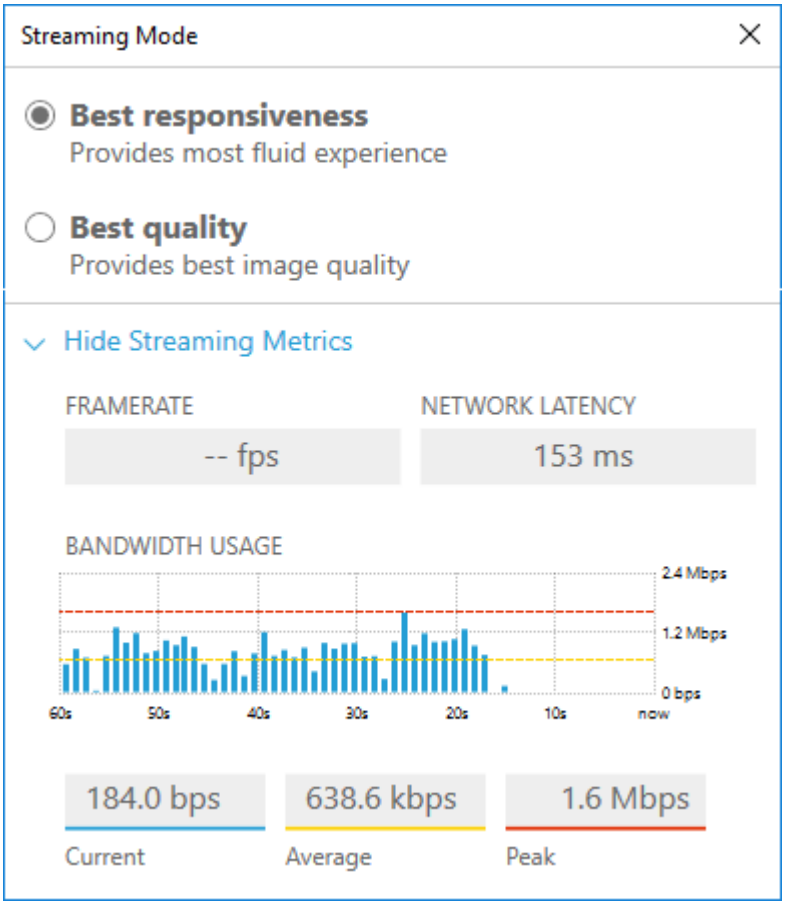
ストリーミングメトリクスは、以下のリアルタイム情報を提供します。

> **Note**
>
> メトリクスは、現在の Amazon DCV セッション接続に表示されます。

- フレームレート — Amazon DCV サーバーから受信する 1 秒あたりのフレームの数を示します。
- ネットワークレイテンシー — データのパケットが Amazon DCV サーバーに送信されて、クライアントに返されるまでにかかる時間 (ミリ秒単位) を示します。

- [Bandwidth usage] (帯域幅利用率) — ネットワーク経由で送受信されたデータの量を示します。赤色の線はピークネットワークスループットを示しています。黄色の線は平均スループットを示します。青色の線は現在の (リアルタイム) スループットを示しています。

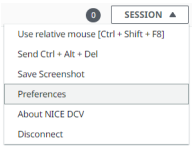
以下の図は、ストリーミングメトリクスデータの例です。



ウェブブラウザークライアントのストリーミングモード

ストリーミングモードを管理する手順は、サポートされているすべてのウェブブラウザで同様です。

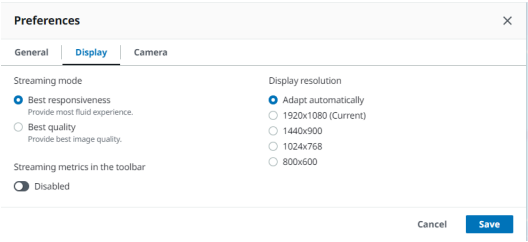
1. クライアントで、[セッション] > [設定] を選択します。



2. [ディスプレイ] タブの [ストリーミングオプション] セクションから以下のいずれかのオプションを選択します。

   - [最高の応答性]

- [最高品質]



3. (オプション) ネットワークパフォーマンスについては、[Display Streaming Metrics (ストリーミングメトリクスの表示)] を選択します。詳細については、「ストリーミングメトリクス」を参照してください。
4. [設定] モーダルを閉じます。

ストリーミングメトリクス

ストリーミングメトリクスは、ネットワークパフォーマンスを評価してネットワーク条件に適したストリーミングモードを決定するために使用されます。

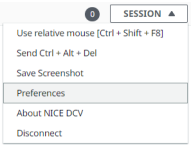
ストリーミングメトリクスは、以下のリアルタイム情報を提供します。

> **Note**
>
> メトリクスは、現在の Amazon DCV セッション接続に表示されます。

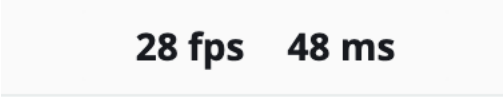
- フレームレート — Amazon DCV サーバーから受信する 1 秒あたりのフレームの数を示します。
- ネットワークレイテンシー — データのパケットが Amazon DCV サーバーに送信されて、クライアントに返されるまでにかかる時間 (ミリ秒単位) を示します。
- [Bandwidth usage] (帯域幅利用率) — ネットワーク経由で送受信されたデータの量を示します。赤色の線はピークネットワークスループットを示しています。黄色の線は平均スループットを示します。青色の線は現在の (リアルタイム) スループットを示しています。

ストリーミングメトリクスを表示するには

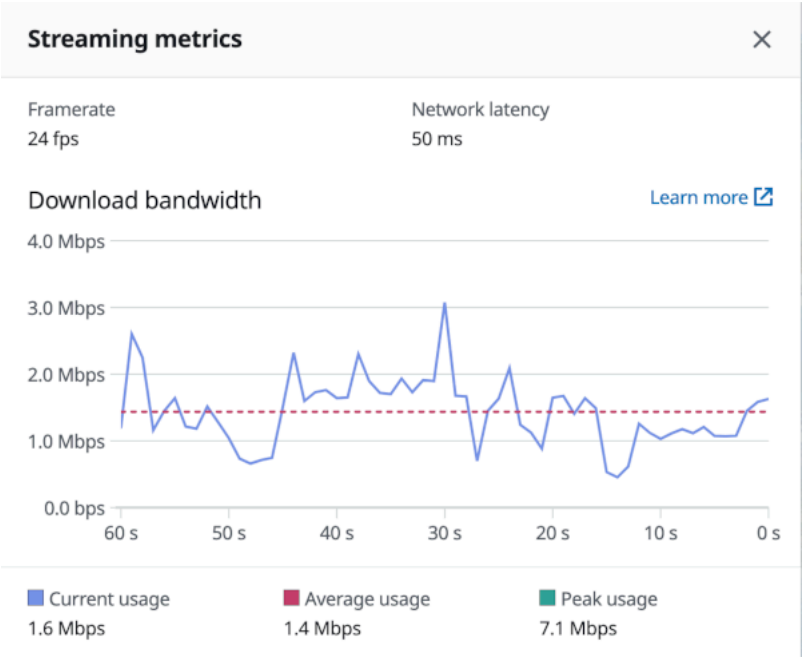
1. クライアントで、[セッション] > [設定] を選択します。



2. [表示] タブで、ツールバーにストリーミングメトリクスを表示するトグルを有効にします。
3. [Preferences] (設定) モーダルを閉じます。
4. すると、ストリーミングメトリクスがクライアントツールバーの中央に表示されます。



5. ストリーミングメトリクスをクリックすると、以下の例のように詳細なストリーミングデータが表示されます。



6. (オプション) [メトリクス] モーダルを閉じます。

ファイルの転送

Amazon DCV を使って、Amazon DCV セッションストレージへのファイルのアップロードと、ストレージからのファイルのダウンロードを行うことができます。セッションストレージを有効にして設定する方法については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「セッションストレージの有効化」を参照してください。

この機能を使用するには認可を受ける必要があります。承認されなかった場合、機能はクライアントでは利用できません。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「Amazon DCV 認可の設定」を参照してください。

この機能は、Windows クライアント、ウェブブラウザクライアント、Linux クライアント、および macOS クライアントで使用できます。

トピック

- Windows、Linux、macOs クライアントを使用してファイルを転送する
- ウェブブラウザを使用してファイルを転送する

Windows、Linux、macOs クライアントを使用してファイルを転送する

ファイルのアップロード、ダウンロード、名前変更の手順は、Windows、Linux、macOS クライアントで同様です。

ファイルのダウンロード

Windows クライアントを使用している場合、ファイルはデスクトップにダウンロードされます。Linux または macOS クライアントを使用している場合、ファイルはデフォルトのダウンロードフォルダにダウンロードされます。

セッションストレージからコンピュータにファイルをダウンロードするには

1. クライアントで、[Storage (ストレージ)] を選択します。

2. [File Storage (ファイルストレージ)] ウィンドウで、ダウンロードするファイルを選択するか、またはファイルの隣にある下矢印を選択してから、[Download (ダウンロード)] を選択します。

ファイルのアップロード

セッションにアップロードしたファイルは、Amazon DCV サーバー管理者が指定したパスに保存されます。

コンピュータから Amazon DCV セッションストレージにファイルをアップロードするには

1. クライアントで、[ストレージ] を選択します。
2. 次のいずれかを行います：
   - ファイルを既存のフォルダにアップロードするには

     [ファイルストレージ] ウィンドウ内のフォルダに移動します。
   - ファイルを新しいフォルダにアップロードするには
     1. [フォルダの作成] を選択します。
     2. フォルダ名を入力します。
     3. 新しいフォルダを開きます。
3. [ファイルストレージ] ウィンドウで [ファイルをアップロード] を選択します。
4. アップロードするファイルを選択します。
5. 開く をクリックします。

コンピュータから Amazon DCV セッションストレージにファイルをドラッグアンドドロップするには

1. [ファイルストレージ] に移動し、ファイルをアップロードするフォルダまたはサブフォルダを開きます。
2. ローカルのコンピュータで、アップロードするファイルまたはフォルダを 1 つ以上選択します。
3. 選択したファイルまたはフォルダを Amazon DCV セッションウィンドウにドラッグします。

   > **Note**
   >
   > [ファイルストレージ] ウィンドウを閉じると、自動的に開きます。

4. [ファイルストレージ]、選択したフォルダまたはサブフォルダウィンドウの目的の場所のドロップ領域にファイルをドロップします。

ファイルの名前変更

セッションストレージでファイルの名前を変更することができます。

セッションストレージでファイルの名前を変更するには

1. クライアントで、[Storage (ストレージ)] を選択します。
2. 名前を変更するファイルの横にある下矢印を選択し、[Rename] (名前の変更) を選択します。
3. 新しいファイル名を入力し、Enter キーを押します。

ウェブブラウザを使用してファイルを転送する

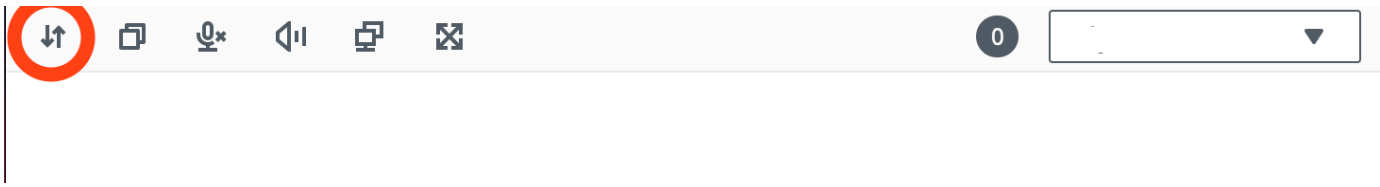
ファイルのアップロード、ダウンロード、名前変更の手順は、サポートされているすべてのウェブブラウザで同様です。

ファイルのダウンロード

ウェブブラウザクライアントでは、ファイルはデフォルトのダウンロードフォルダにダウンロードされます。

セッションストレージからコンピュータにファイルをダウンロードするには

1. クライアントで、[Storage (ストレージ)] を選択します。



2. [ファイルストレージ] ウィンドウで、ダウンロードするファイルまたはダウンロードするファイルに対応するテーブル行を選択し、そこで [アクション] ボタンと [ダウンロード] オプションをクリックします。ファイルの名前をクリックするだけでもダウンロードできます。

ファイルのアップロード

セッションにアップロードしたファイルは、Amazon DCV サーバー管理者が指定したパスに保存されます。

コンピュータから DCV セッションストレージにファイルをアップロードするには

1. クライアントで、[ストレージ] を選択します。
2. 次のいずれかを行います：

   - ファイルを既存のフォルダにアップロードする

[ファイルストレージ] ウィンドウ内のフォルダに移動します。

- ファイルを新しいフォルダにアップロードする
  1. [フォルダの作成] を選択します。
  2. フォルダ名を入力します。
  3. 新しいフォルダを開きます。

3. [ファイルストレージ] ウィンドウで [ファイルをアップロード] を選択します。
4. アップロードするファイルを選択します。
5. 開く をクリックします。

コンピュータから Amazon DCV セッションストレージにファイルをドラッグアンドドロップするには

1. [ファイルストレージ] に移動し、ファイルをアップロードするフォルダまたはサブフォルダを開きます。
2. ローカルのコンピュータで、アップロードするファイルまたはフォルダを 1 つ以上選択します。
3. 選択したファイルまたはフォルダを Amazon DCV セッションウィンドウにドラッグします。

> **Note**
>
> [ファイルストレージ] ウィンドウを閉じると、自動的に開きます。

4. [ファイルストレージ]、選択したフォルダまたはサブフォルダウィンドウの目的の場所のドロップ領域にファイルをドロップします。

ファイルの名前変更

セッションストレージでファイルの名前を変更することができます。

セッションストレージでファイルの名前を変更するには

1. クライアントで、[Storage (ストレージ)] を選択します。
2. 名前を変更する項目に対応するテーブル行を選択し、そこで [アクション] ボタンと [名前の変更] オプションをクリックします。
3. 新しいファイル名を入力し、Enter キーを押します。

セッションからの印刷

Amazon DCV を使用して、Amazon DCV セッションのコンテンツを印刷できます。使用できる印刷デバイスは、使用しているクライアントによって異なります。

- Windows クライアント、Linux クライアント、macOS クライアント – クライアントコンピュータに接続されている物理プリンターで印刷できます。または、Amazon DCV 仮想プリンターを使用して PDF ドキュメントに印刷できます。
- ウェブブラウザクライアント — Amazon DCV 仮想プリンターを使用して .PDF ドキュメントに印刷できます。

Amazon DCV 仮想プリンターで印刷すると、印刷可能なファイルに内容がエクスポートされます。クライアントを使用してローカルコンピュータにダウンロードし、ローカルプリンターを使用して印刷することができます。

この機能を使用するには認可を受ける必要があります。承認されなかった場合、機能はクライアントでは利用できません。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「Amazon DCV 認可の設定」を参照してください。

セッションからコンテンツを出力するには

1. クライアントで、[Print] (出力) ウィンドウを開きます。
2. [Print] (印刷) ウィンドウで、次のいずれかの印刷デバイスを選択し、[Print] (印刷) を選択します。
   - (Windows サーバーと Linux サーバーに接続されているすべてのクライアント) DCV プリンター — Amazon DCV 仮想プリンターに出力します。
   - (Windows および Linux サーバーに接続されている Windows クライアント) ***<local-printer-name>***-Redirected — ローカルプリンターに出力します。
3. Amazon DCV 仮想プリンターに出力すると、ファイルがダウンロードできる状態になったときに通知が表示されます。右上隅で、[通知] を選択し、リストで出力通知を見つけて、[ダウンロード] を選択します。
   - ウェブブラウザクライアントを使用している場合は、ダウンロードが完了したら、[Show in folder] (フォルダで表示) を選択します。
   - Windows クライアントを使用している場合は、ファイルのダウンロード時にプリンターダイアログが自動的に開きます。

- Linux クライアントまたは macOS クライアントを使用している場合、ダウンロードされたファイルはデフォルトの関連付けられたアプリケーションで自動的に開かれます。

> **Note**
> ダウンロード後にファイルは Amazon DCV サーバーから削除されます。再びダウンロードすることはできません。

コピーと貼り付け

Amazon DCV を使えば、ローカルコンピュータと Amazon DCV セッションの間でテキストをコピーアンドペーストできます。この機能を使用するには認可を受ける必要があります。承認されなかった場合、機能はクライアントでは利用できません。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「Amazon DCV 認可の設定」を参照してください。

コピーと貼り付けが可能なコンテンツやコピーと貼り付けの方法は、Windows クライアント、ウェブブラウザクライアント、Linux クライアント、macOS クライアントで異なります。

トピック

- Windows クライアント、Linux クライアント、および macOS クライアント
- ウェブブラウザクライアント

Windows クライアント、Linux クライアント、および macOS クライアント

Windows クライアント、Linux クライアント、macOS クライアントを使用して、ローカルコンピュータと Amazon DCV セッションとの間でテキストやイメージのコピーと貼り付けを行うことができます。この操作は、キーボードショートカット、およびコンテキスト (右クリック) メニューショートカットを使用して実行できます。コピーと貼り付けができない場合は、Amazon DCV サーバー管理者に連絡して、許可が正しく設定されているか確認してください。

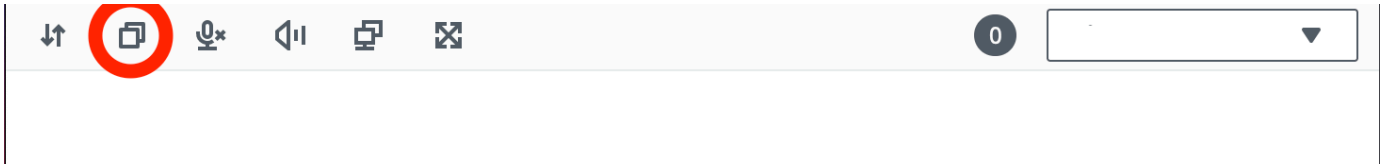
ウェブブラウザクライアント

ウェブブラウザクライアントを使用して、ローカルコンピュータと Amazon DCV セッションの間でテキストや画像のコピーと貼り付けを行うことができます。Google Chrome と Microsoft Edge で

は、キーボードショートカットとコンテキスト (右クリック) メニューを使用してテキストとイメージをコピーして貼り付けます。Mozilla Firefox と Apple Safari では、イメージのコピーと貼り付けをサポートしていません。また、テキストのコピーと貼り付けには異なる手順が必要です。

Mozilla Firefox または Apple Safari でセッションからテキストをコピーしてローカルコンピュータに貼り付ける方法

1. ウェブブラウザクライアントでテキストをハイライト表示させてコピーし、[Clipboard (クリップボード)]、[Copy to Local Device (ローカルデバイスにコピー)] の順に選択します。



   テキストがコンピュータのクリップボードに配置されました。
2. 貼り付けのキーボードショートカットまたはコンテキストメニューショートカットを使用して、テキストを貼り付けます。

ローカルコンピュータからテキストやイメージをコピーして Mozilla Firefox または Apple Safari セッションに貼り付けるには

1. ローカルコンピュータで、コピーのキーボードショートカットまたはコンテキストメニューを使用してテキストをコピーします。
2. ウェブブラウザクライアントで、[Clipboard (クリップボード)]、[Paste to Remote Session (リモートセッションに貼り付け)] の順に選択します。
3. ホストのオペレーティングシステムの貼り付けショートカットを使用してテキストを貼り付けます。

スクリーンショットの保存

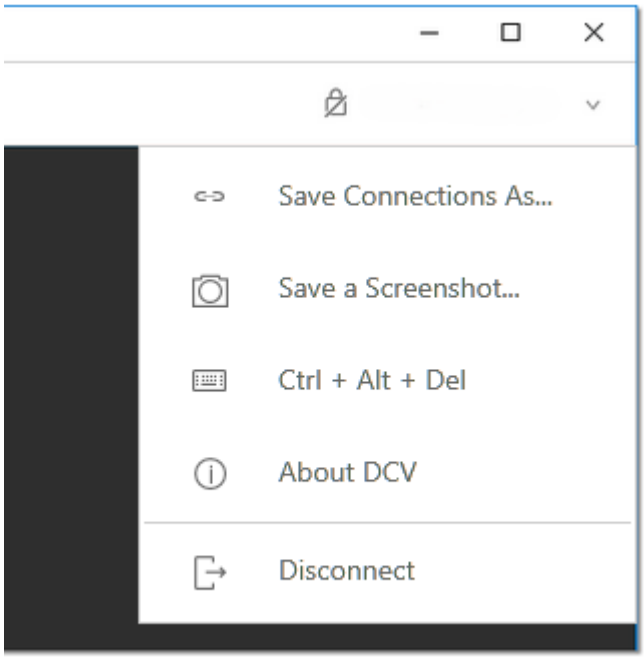
Amazon DCV を使用して、Amazon DCV セッションのスクリーンショットを保存できます。この機能は、Windows クライアント、ウェブブラウザクライアント、Linux クライアント、および macOS クライアントで使用できます。スクリーンショットを保存するステップは、すべてのクライアントで同様です。

この機能を使用するには認可を受ける必要があります。認可されなかった場合、この機能はそのクライアントでは利用できません。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「Amazon DCV

認可の設定」を参照してください。スクリーンショットを保存するための認可を受けていない場合、クライアントでは、クライアントコンピュータで実行されている外部ツールで Amazon DCV クライアントのスクリーンショットをキャプチャすることもできません。これらのツールで取得されるイメージには、Amazon DCV クライアントウィンドウの代わりに黒い四角形が表示されるか、バックグラウンドデスクトップのみが表示されます。この機能は、Windows クライアントと macOS クライアントでのみ使用できます。

スクリーンショットを保存する方法

1. クライアントを起動し、Amazon DCV セッションに接続します。
2. クライアントで、[Session] (セッション)、[Save a Screenshot] (スクリーンショットを保存) の順に選択します。



3. スクリーンショットファイルの場所と名前を選択します。

Amazon DCV セッションでのコラボレーション

Amazon DCV ユーザーは同じセッションでコラボレーションできるため、画面とマウスの共有が可能です。ユーザーは承認されたセッションに参加でき、セッションオーナーはユーザーをセッションコラボレーションから切断できます。この機能を利用するには、ユーザーは同じセッション ID で識別される同じセッションに参加している必要があります。

> **Note**
>
> Amazon DCV セッションでコラボレーションする場合、複数のモニター機能は無効になります。

要件

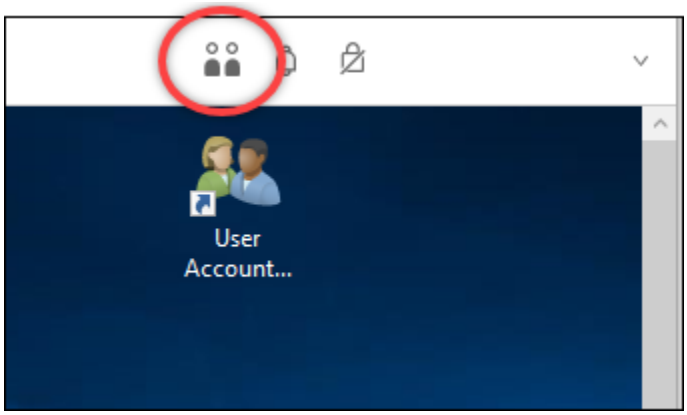
デフォルトでは、Amazon DCV セッションに接続できるユーザーはそのセッションのオーナーだけです。

ユーザーが同じセッションでコラボレーションするには、セッションに適用されているアクティブな権限を `display` パラメータを含むように更新する必要があります。権限ファイルの編集について詳しくは、「Amazon DCV 認可の設定」を参照してください。

> **Note**
>
> 権限ファイルを編集するには、管理者権限が必要です。

Windows または Linux ベースのサーバーの Amazon DCV セッションでコラボレーションするには

1. DCV ツールバーにある、Amazon DCV クライアントの [コラボレーター] アイコンを選択します。

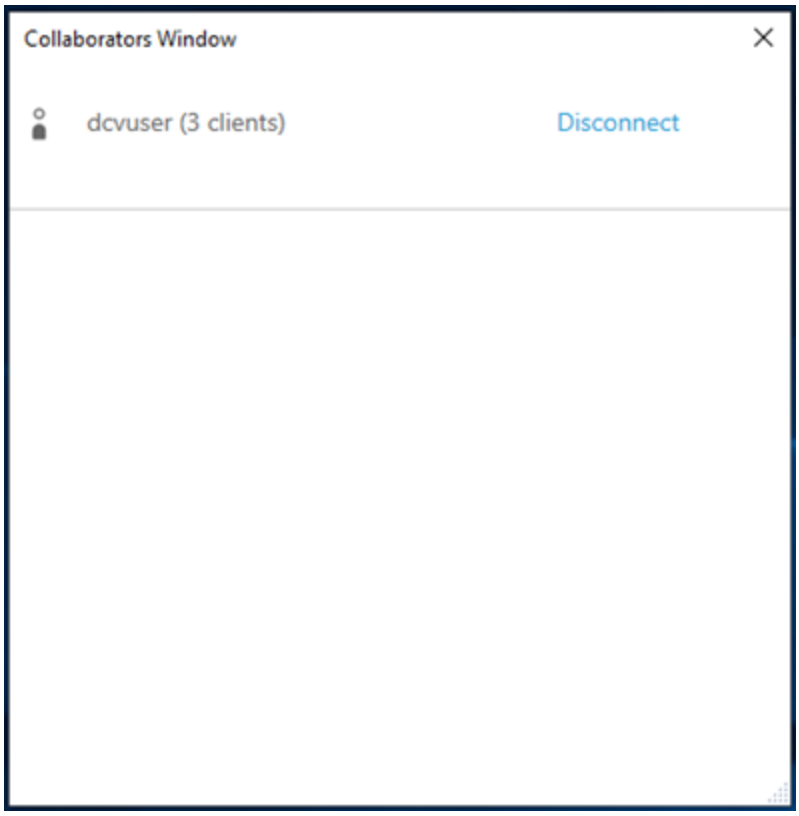


   コラボレーターウィンドウが開き、接続されている Amazon DCV セッションがすべて表示されます。

2. 参加するセッションを選択します。

3. [切断] を選択すると、自分以外の 1 つまたはすべてのクライアント接続が DCV セッションから削除されます。

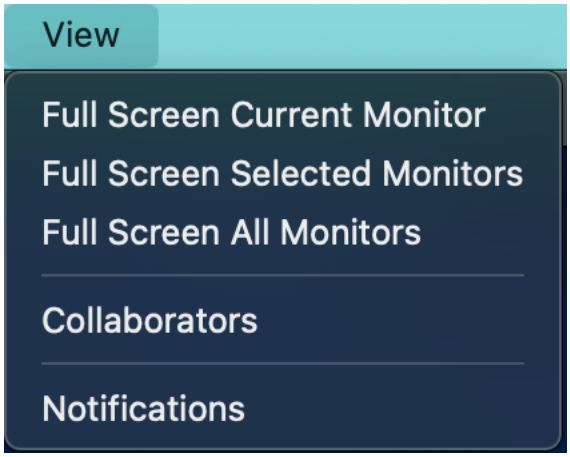
   このオプションはセッションオーナーのみが使用できます。



4. アクティブなセッションからユーザーを削除するには、「切断」を選択します。

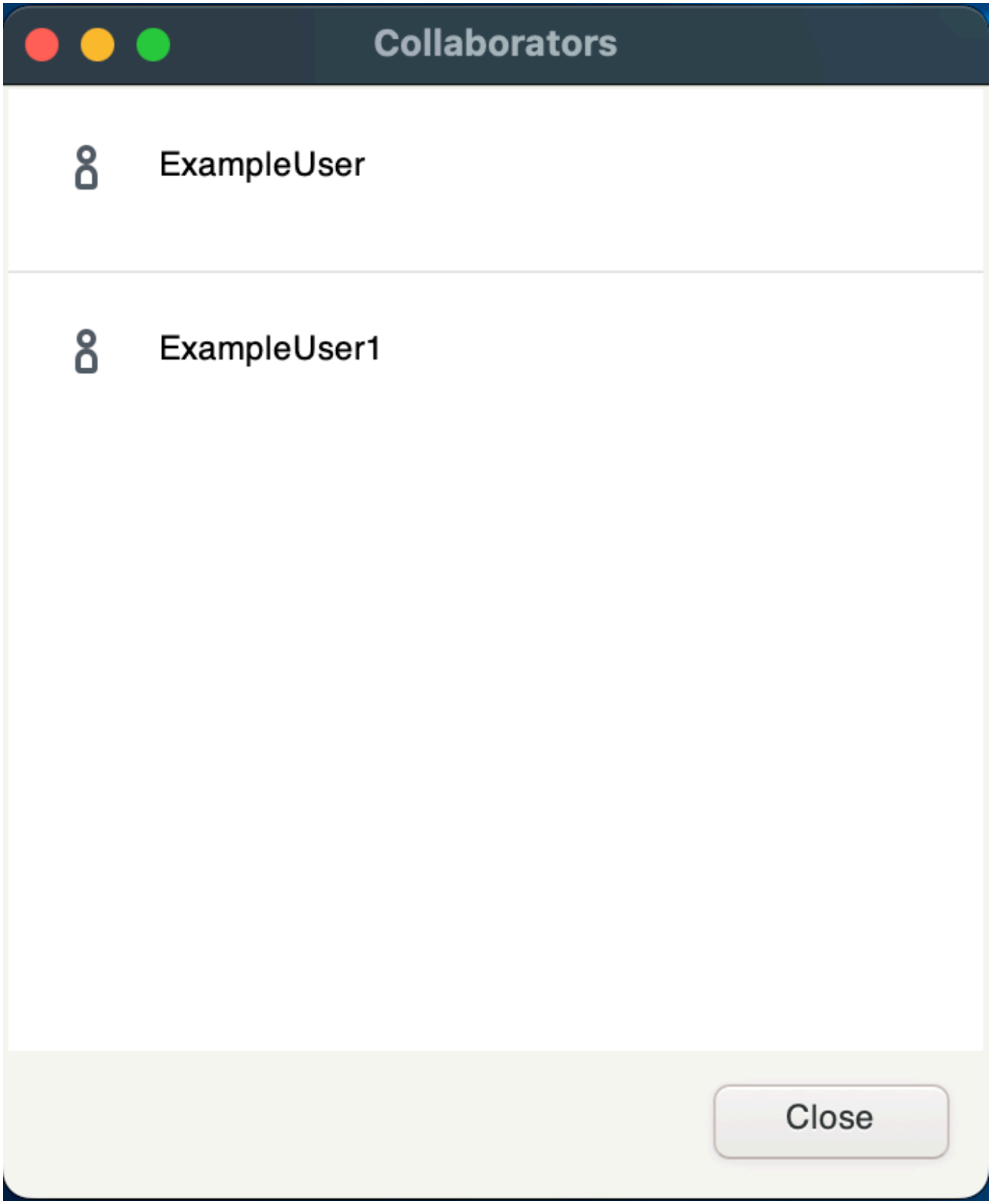
macOS の Amazon DCV セッションでコラボレーションするには

1. 上部のツールバーの [表示] に移動します。



2. ドロップダウンメニューから [コラボレーター] を選択します。

   コラボレーターウィンドウが開き、接続されている Amazon DCV セッションがすべて表示されます。



3. 参加するセッションを選択します。

4. [切断] を選択すると、自分以外の 1 つまたはすべてのクライアント接続が DCV セッションから削除されます。

   このオプションはセッションオーナーのみが使用できます。

マルチモニターの使用

> **Note**
>
> Amazon DCV セッションでコラボレーションする場合、複数のモニター機能は無効になります。

Amazon DCV は、1 つのモニター、選択したモニターのセット、または使用可能なすべてのモニターに全画面解像度を拡張できます。

リクエストしたレイアウトがサーバーでサポートされていない場合は、サーバーの表示制限に合わせてレイアウトが調整されることがあります。レイアウトを調整できない場合、リクエストは失敗し、変更は適用されません。

カスタムのディスプレイレイアウトを手動で指定することもできます。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「Amazon DCV セッション表示レイアウトの管理」を参照してください。

Amazon DCV は、設定とサーバーシステム設定に従って解像度を設定できます。

- ウェブクライアント解像度は、デフォルトで 1920x1080 (web-client-max-head-resolution サーバー設定から) に制限されています。
- ネイティブクライアントは、デフォルトで 4096x2160 (max-head-resolution から) に制限されています。

> **Note**
>
> モニターあたりの最大サポート解像度は、最大 4 つのモニターで 4096x4096 です。高解像度または 4 つ以上のモニターは、どの設定でもサポートされていません。

システム環境とドライバーを適切にセットアップして最適なパフォーマンスを得るには、「前提条件ガイド」に従ってください。

トピック

- すべてのモニターに全画面表示を拡張
- 選択したモニターに全画面表示を拡張
- 複数のモニターでの全画面表示の終了

すべてのモニターに全画面表示を拡張

Amazon DCV クライアントを使用して、セッションの表示範囲を全画面解像度ですべてのモニターに拡張できます。

Windows クライアント、Linux クライアント、macOS クライアントでは、拡張画面は物理的な画面レイアウトと画面解像度に一致します。

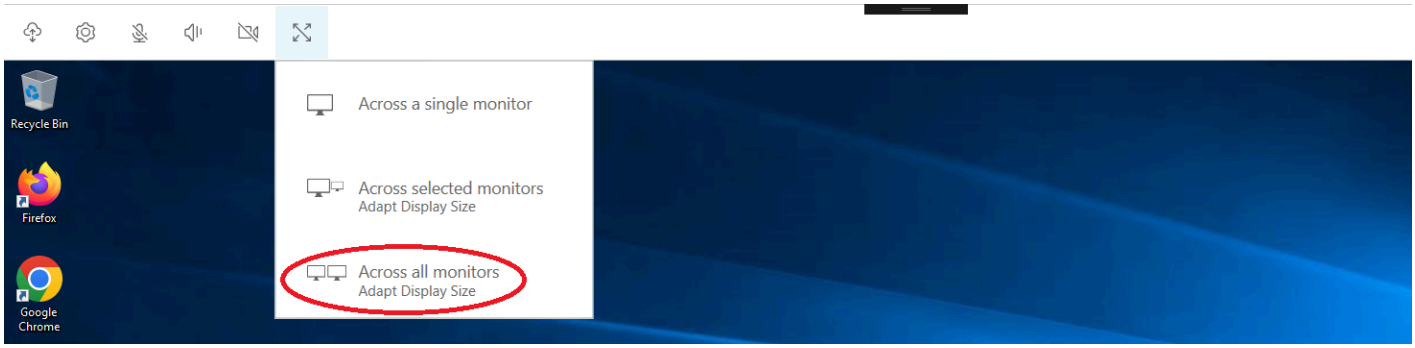
ウェブブラウザクライアントの場合、セッション画面を 1920x1080 の画面解像度で最大2画面まで拡張できます。画面を拡張すると、追加の画面が新しいブラウザウィンドウで開きます。2 つ目は、元の画面の右側に表示を拡張します。画面を適宜配置してください。

Example

たとえば、ローカルコンピュータに 3 つのモニターが接続されているとします。サーバーにより、3 つの画面すべてにわたってセッションの表示範囲が拡張され、解像度が特定の画面解像度に調整されます。

この機能を有効にするには、使用するクライアントに応じて以下のいずれかを実行します。

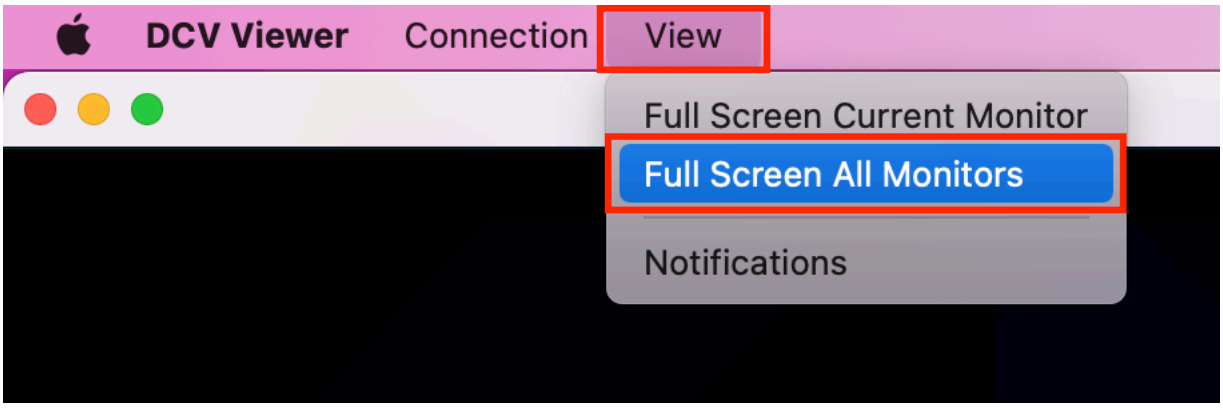
- Windows クライアント
  1. ウィンドウ上部のツールバーに移動します。
  2. [全画面表示] アイコンを選択します。
  3. ドロップダウンメニューから [すべてのモニターで] を選択します。



- macOS クライアント

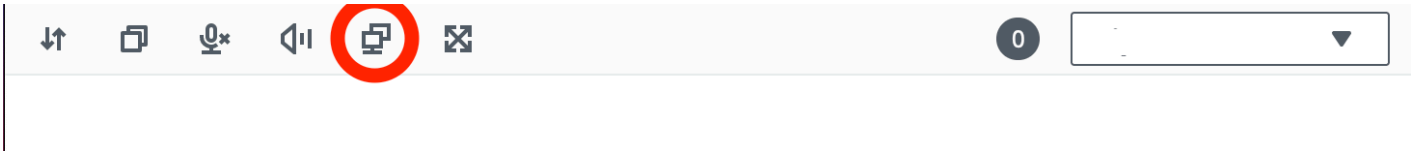
> **Note**
> ディスプレイには、Mission Control システム設定で個別のスペースオプションがあります。

1. ウィンドウ上部のツールバーに移動します。
2. ウィンドウ上部のツールバーで [表示] を選択します。
3. ドロップダウンメニューから [すべてのモニターを全画面表示] を選択します。



- Linux クライアント
  1. ウィンドウ上部のツールバーに移動します。
  2. [全画面表示] アイコンを選択します。

- ウェブブラウザクライアント
  1. ウィンドウ上部のツールバーに移動します。
  2. 「マルチスクリーン」アイコンを選択します。



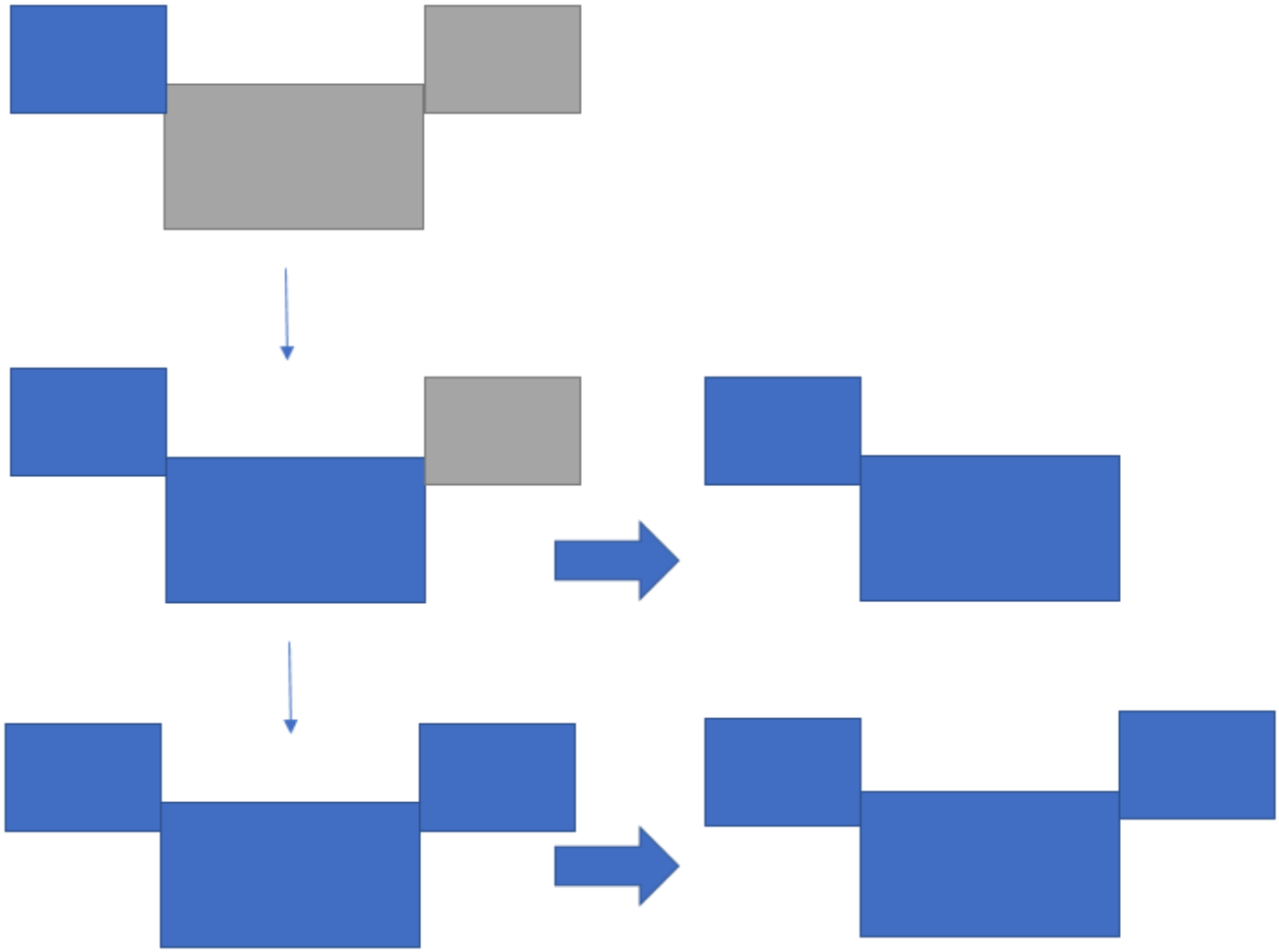
選択したモニターに全画面表示を拡張

3 台以上のモニターが接続されている場合、DCV は選択した使用可能なモニターに全画面表示を拡張することもできます。選択したモニターを全画面表示にできない場合はエラーメッセージが表示されるため、再度手順を実行する必要があります。

選択したモニターは、お互いに隣り合うか、1 つの側面を共有するようなディスプレイ設定にする必要があります。

隣接するモニターの配置例

> **Note**
>
> 青いボックスは DCV 対応モニターです。
> グレーのボックスはその他のモニターです。



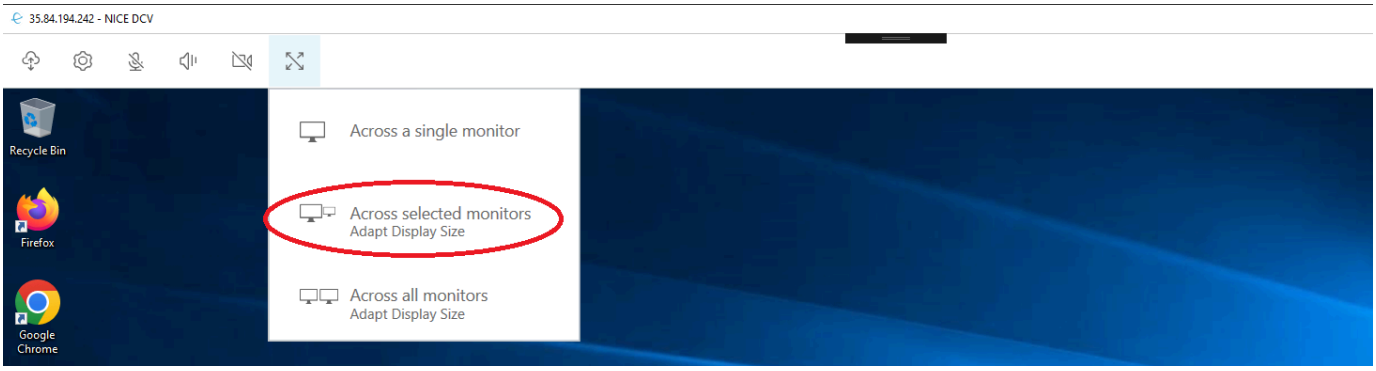
隣接していないモニター配置の例。

Windows ディスプレイ構成でモニターが隣接していない場合は DCV を終了し、ローカルマシンのディスプレイ設定を変更する必要があります。

- Windows クライアント

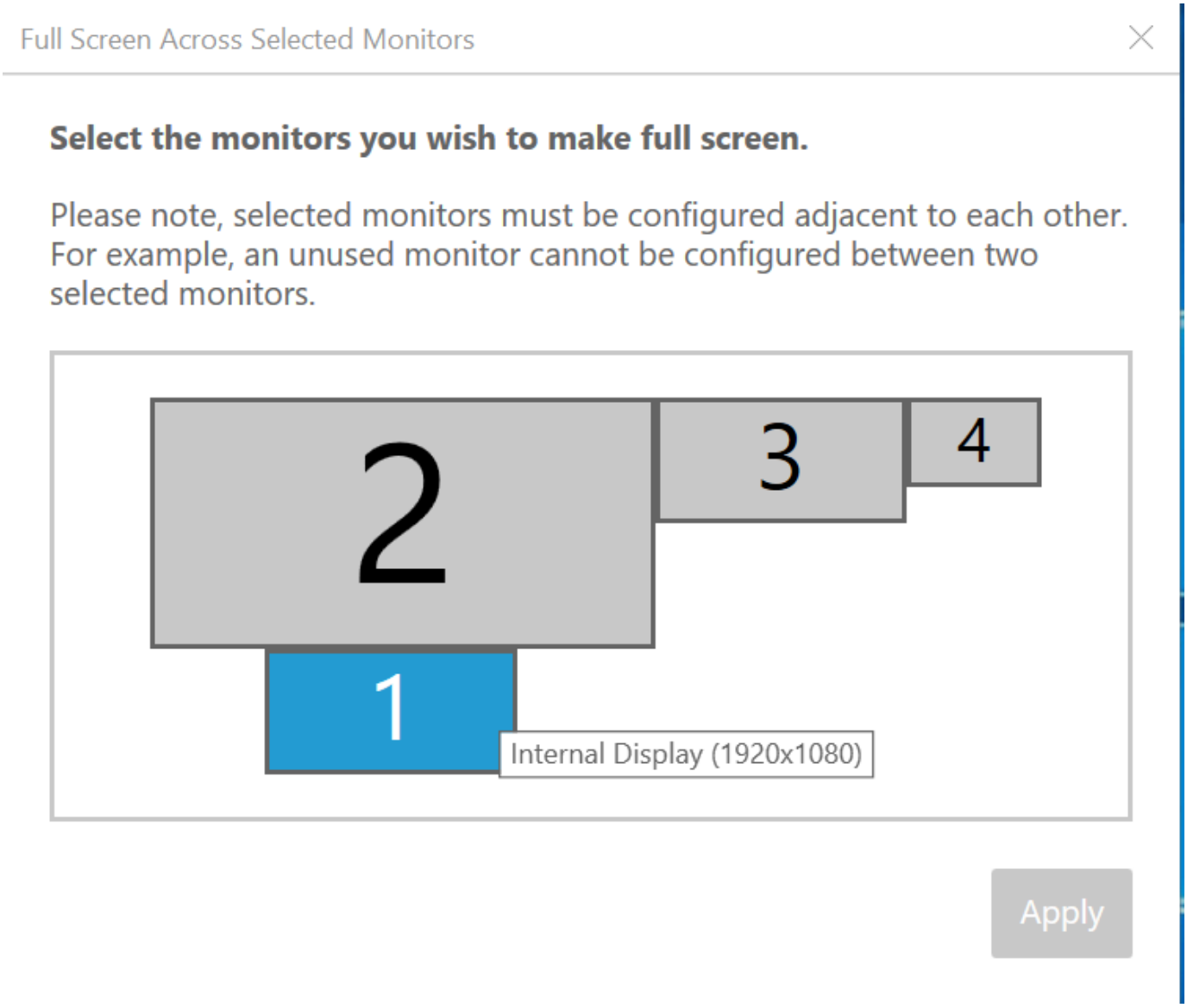
1. トップメニューに移動します。
2. [全画面表示] アイコンを選択します。

> **Note**
>
> [全画面表示] ドロップダウンメニューが表示されます。



3. ドロップダウンメニューから [選択したモニターで] を選択します。

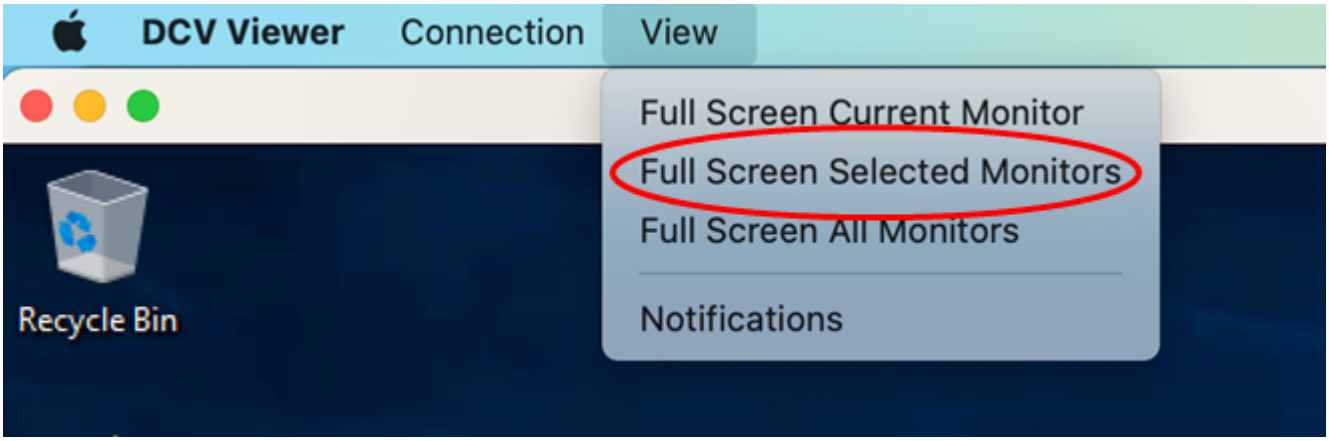
> **Note**
>
> [選択したモニターで] ウィンドウが開き、現在のモニターレイアウトが表示されます。



4. DCV を全画面表示するモニターを選択します。
5. [適用] をクリックします。

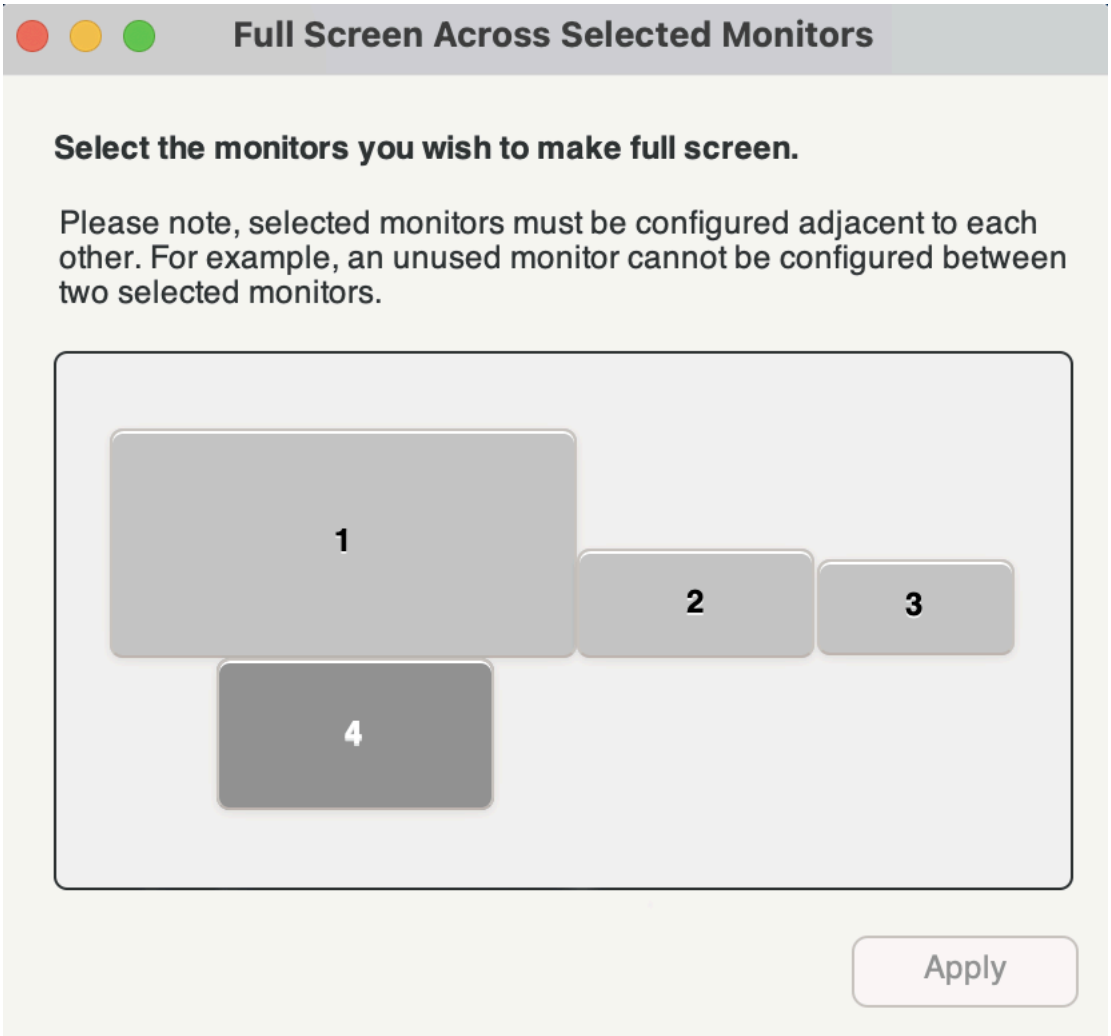
- macOS クライアント
  1. トップメニューに移動します。
  2. [表示] を選択します。

> **Note**
>
> [表示] ドロップダウンメニューが表示されます。



3. ドロップダウンメニューから [選択したモニターを全画面表示] を選択します。

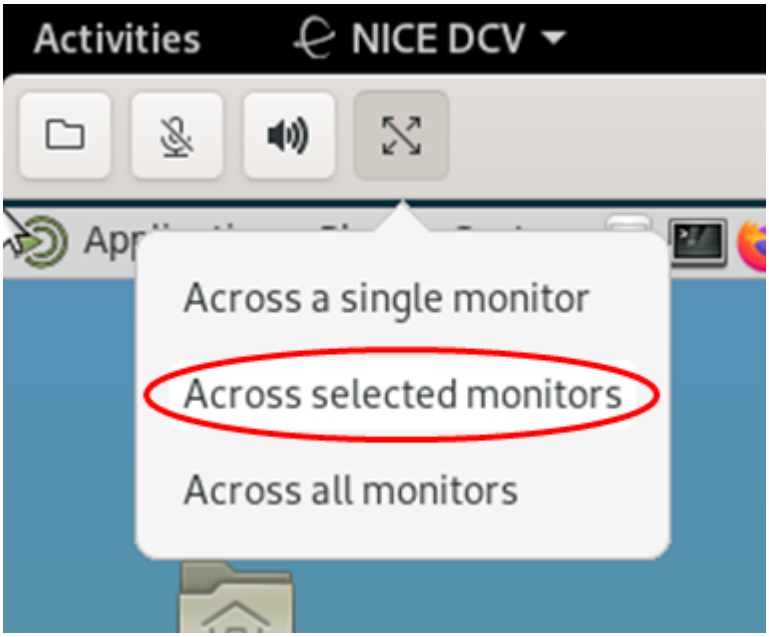
> **Note**
>
> [選択したモニターを全画面表示] ウィンドウが開き、現在のモニターレイアウトが表示されます。



4. DCV を全画面表示するモニターを選択します。
5. [適用] をクリックします。

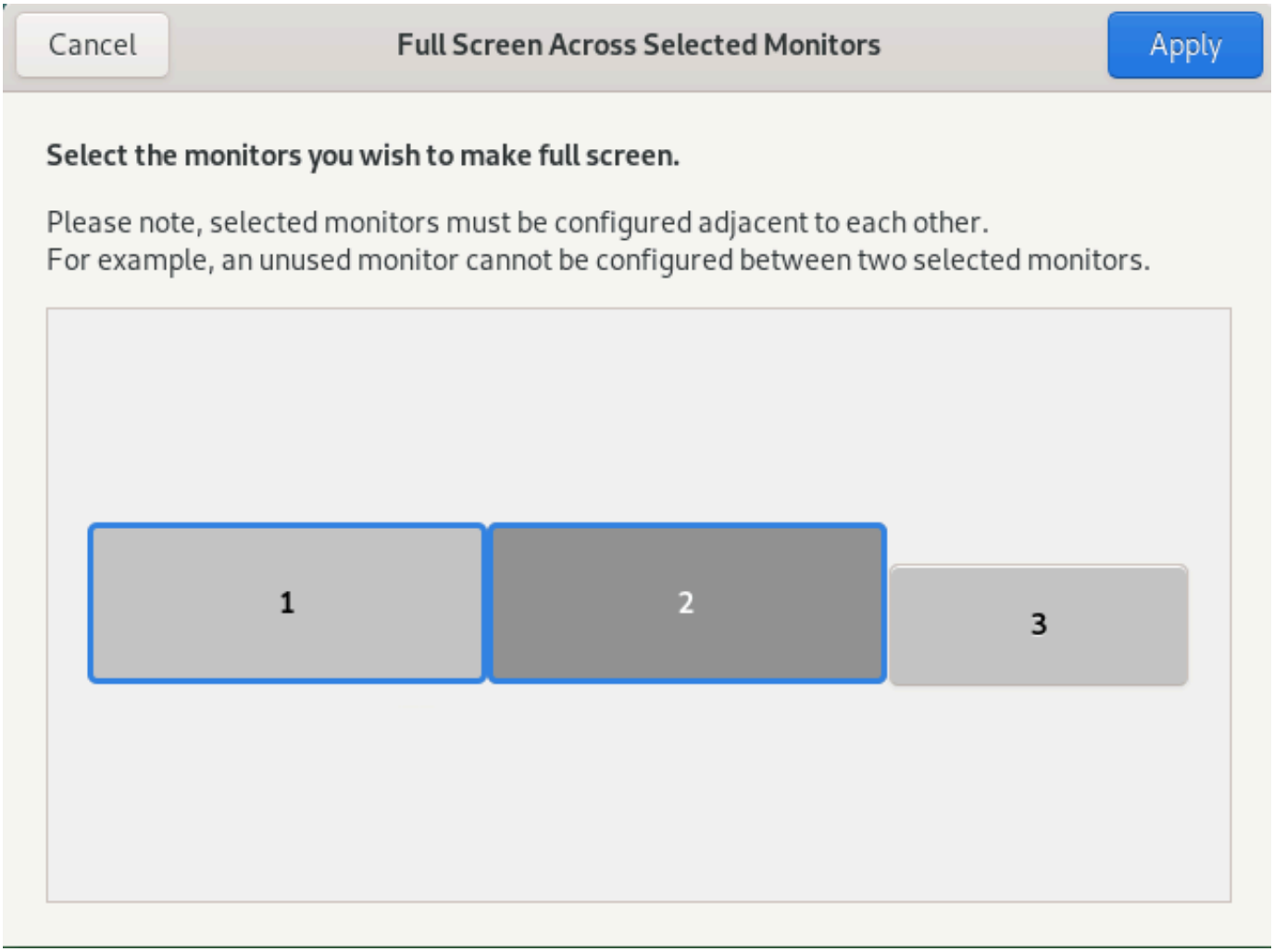
- Linux クライアント
  1. トップメニューに移動します。
  2. [全画面表示] アイコンを選択します。

> **Note**
>
> [全画面表示] ドロップダウンメニューが表示されます。



3. ドロップダウンメニューから [選択したモニターで] を選択します。

> **Note**
>
> [選択したモニターで] ウィンドウが開き、現在のモニターレイアウトが表示されます。



4. DCV を全画面表示するモニターを選択します。
5. [適用] をクリックします。

複数のモニターでの全画面表示の終了

ディスプレイを拡張するか、全画面表示モードに切り替えると、画面の中央上部にタブが表示されます。全画面表示モードを終了するには、タブを選択し、[全画面表示を終了] を選択します。

> **Note**
>
> デフォルトでは、DCV はディスプレイ設定を保存します。DCV が別のモニター構成を検出すると、ディスプレイ設定はリセットされます。

高精度のオーディオ/ビデオ同期の使用

高精度のオーディオ/ビデオ同期設定により、オーディオとビデオの再生における時間差を最小限に抑えるモードが有効になります。このモードは、リップシンキングのようにビデオとオーディオの高精度同期が必要になるワークロードで役立ちます。

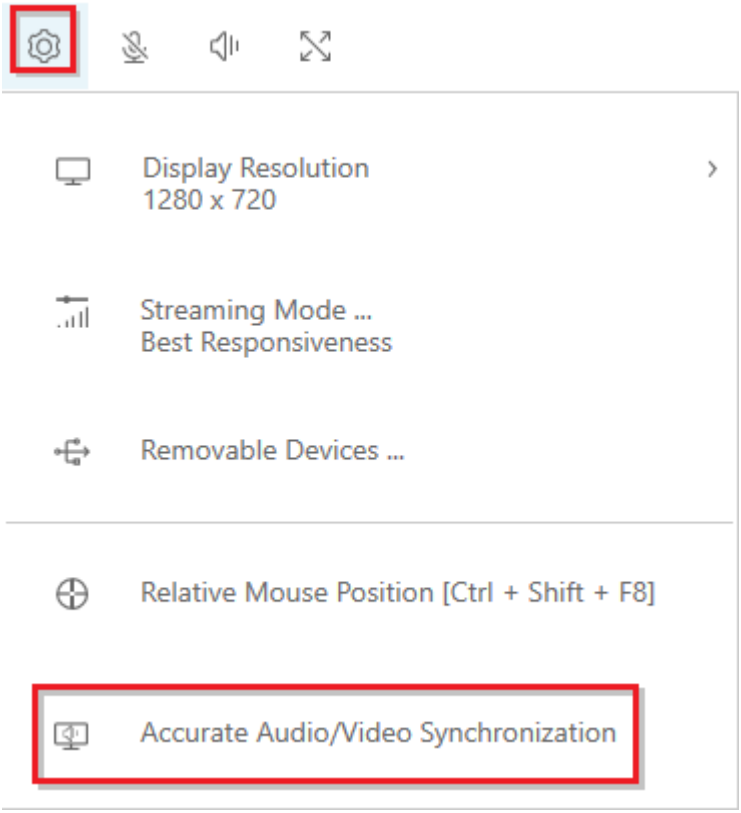
> **Note**
> この機能により、リモートシステムの知覚応答性に遅れが生じることがあります。

高精度のオーディオ/ビデオ同期機能は、ハードウェア GPU アクセラレーションを備えた Windows サーバーと Linux サーバー、およびコンソールセッションでのみサポートされます。すべてのネイティブクライアントでサポートされます。

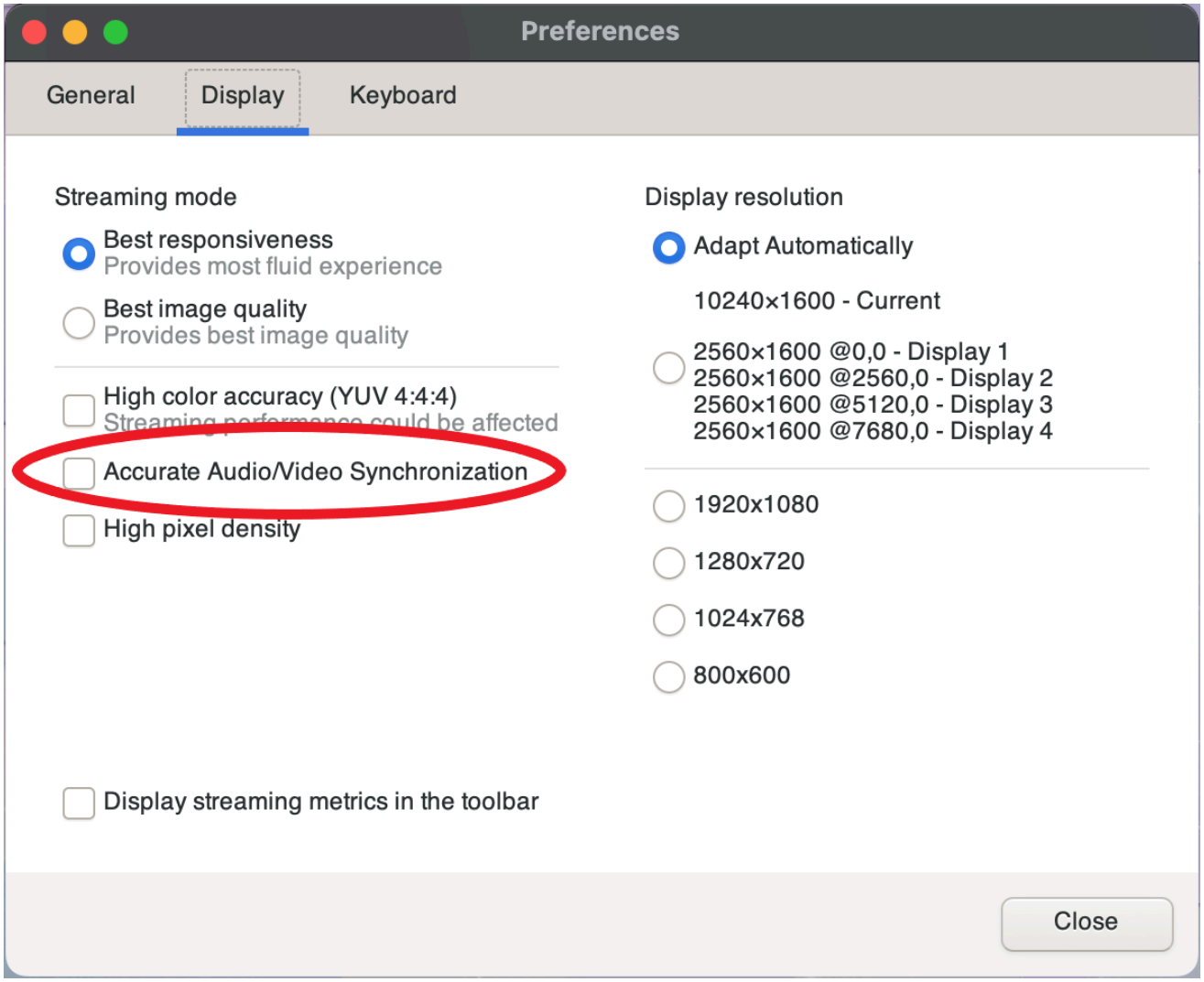
> **Note**
> ウェブベースのクライアントでは、高精度のオーディオ/ビデオ同期機能はサポートされていません。

オーディオ/ビデオ同期を有効または無効にする方法

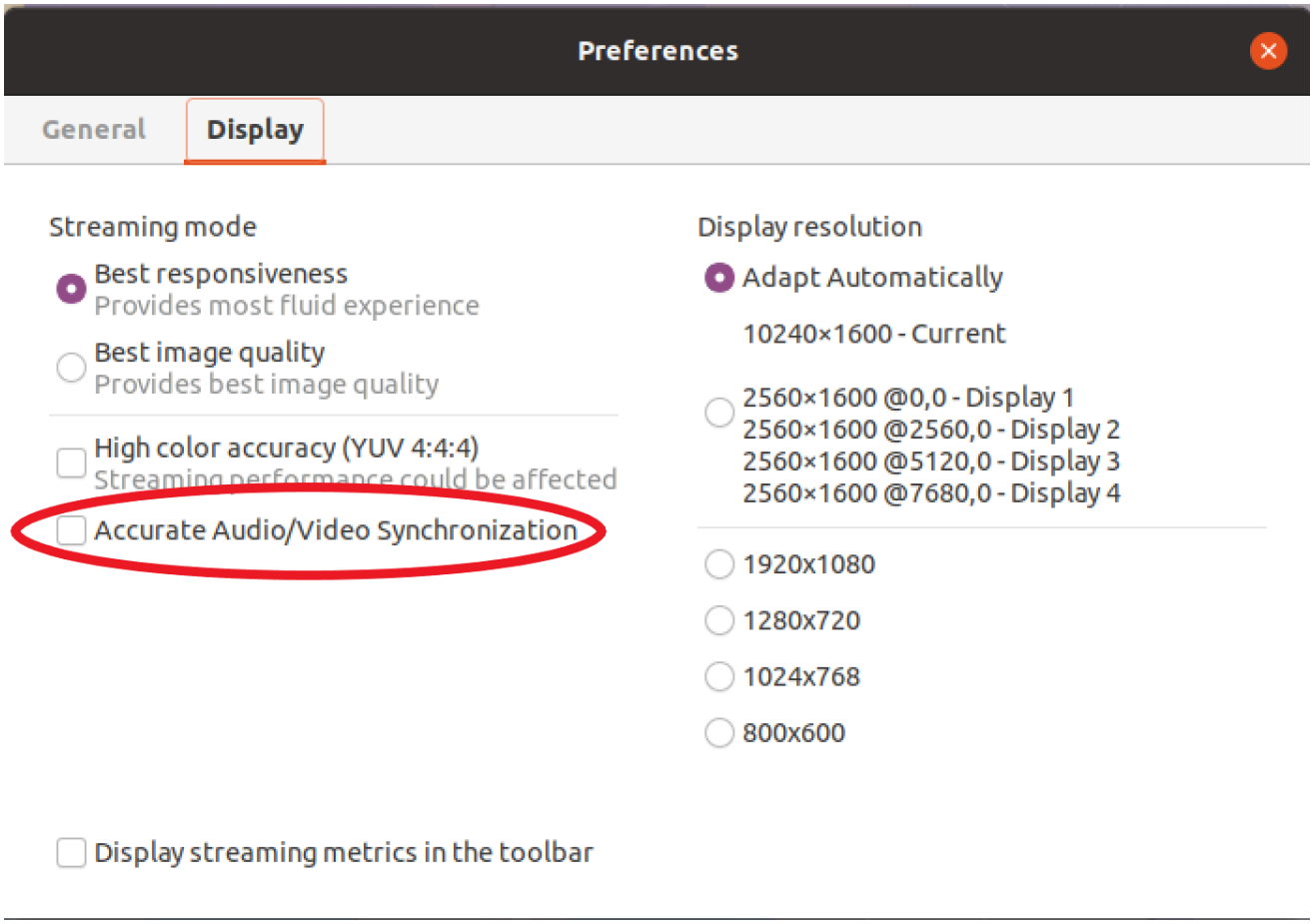
1. クライアントを起動し、Amazon DCV セッションに接続します。
2. 使用するクライアントに応じて、以下のいずれかを実行します。
   - Windows クライアント
     1. [設定] アイコンを選択します。
     2. ドロップダウンメニューから [正確なオーディオ/ビデオ同期] を選択します。



- macOS クライアント
  1. [DCV ビューア] アイコンを選択します。
  2. ドロップダウンメニューから [設定] を選択します。
  3. [正確なオーディオ/ビデオ同期] のチェックボックスをオンにします。



- Linux クライアント
  1. [設定] アイコンを選択します。
  2. ドロップダウンメニューから [設定] を選択します。
  3. [正確なオーディオ/ビデオ同期] のチェックボックスをオンにします。



高色精度の使用

デフォルトでは、Amazon DCV はディスプレイ出力を圧縮するときに YUV 4:2:0 クロマサブサンプリングを使用し、時間が経っても変化しない画面の部分を完全な非圧縮 RGB 実装に更新します。このデフォルトの動作は、パフォーマンスと画像忠実度のバランスを取ることを目的としていますが、クロマアーティファクトが発生する可能性があります。高色精度設定を有効にすると、YUV クロマサブサンプリングが 4:4:4 に設定され、色の忠実度が向上します。ただし、ほとんどのクライアントマシンでは YUV 4:4:4 を使用する際のハードウェアアクセラレーションデコードがサポートされていないため、ネットワーク帯域幅が増加し、特に高解像度でのクライアントのパフォーマンスに影響する可能性があります。

高色精度を設定する手順は、使用するクライアントによって異なります。

トピック

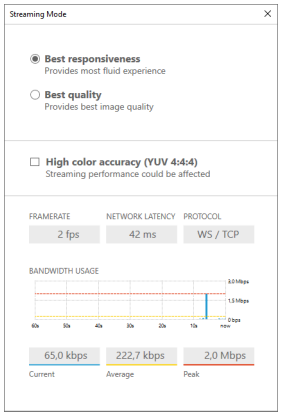
- ネイティブクライアントでの高色精度
- ウェブブラウザクライアントでの高色精度

ネイティブクライアントでの高色精度

バージョン 2022.0 以降の Amazon DCV サーバーと Amazon DCV クライアントを使用している場合は、以下の手順に従って高色精度を有効にしてください。

Windows クライアントでの高色精度の有効化

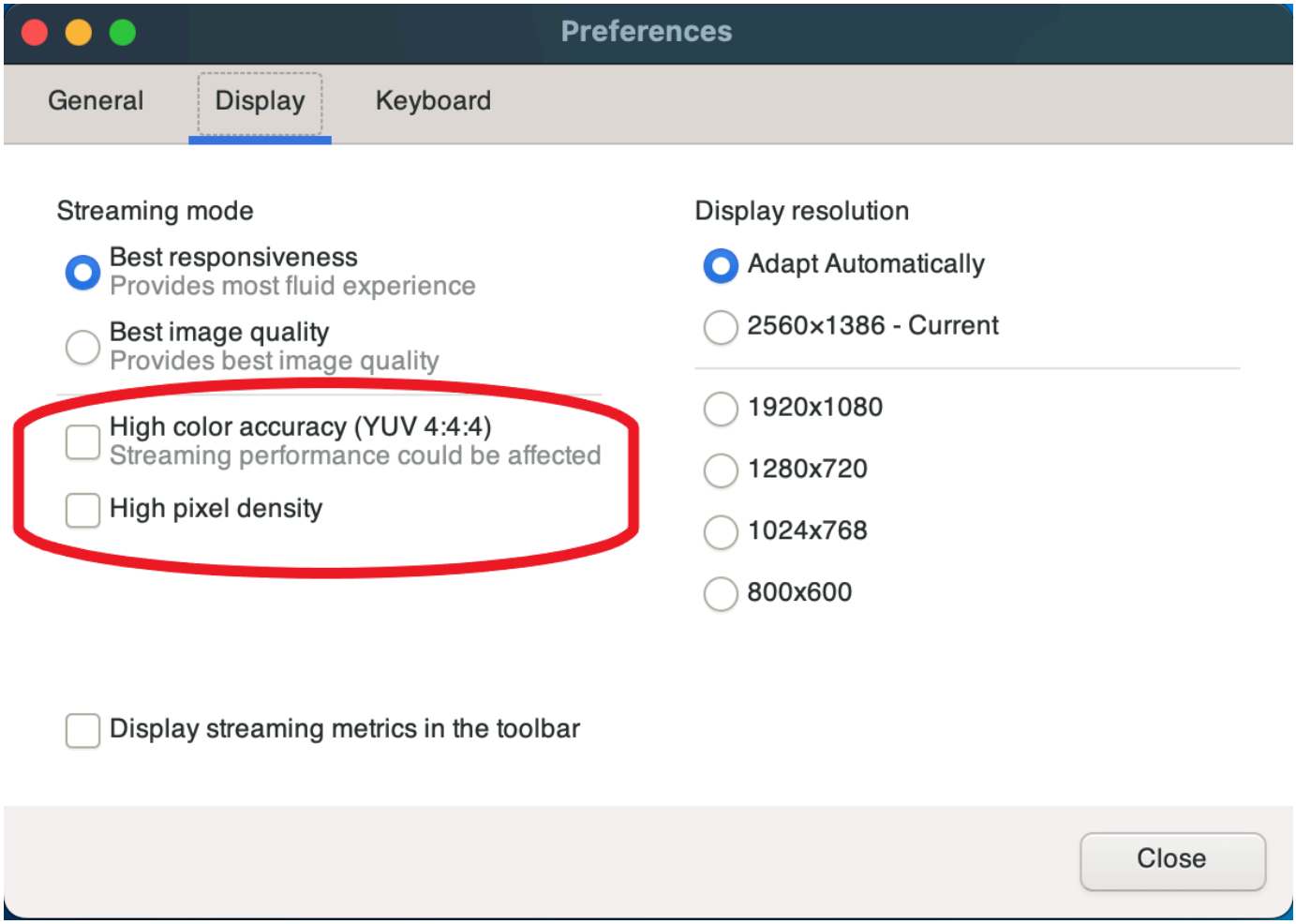
1. [設定] アイコンを選択します。
2. ドロップダウンメニューから [ストリーミングモード] を選択します。



3. [ストリーミングモード] ウィンドウで [高色精度 (YUV 4:4:4)] のチェックボックスをオンにします。
4. [Streaming Mode (ストリーミングモード)] ウィンドウを閉じます。

macOS クライアントでの高色精度の有効化

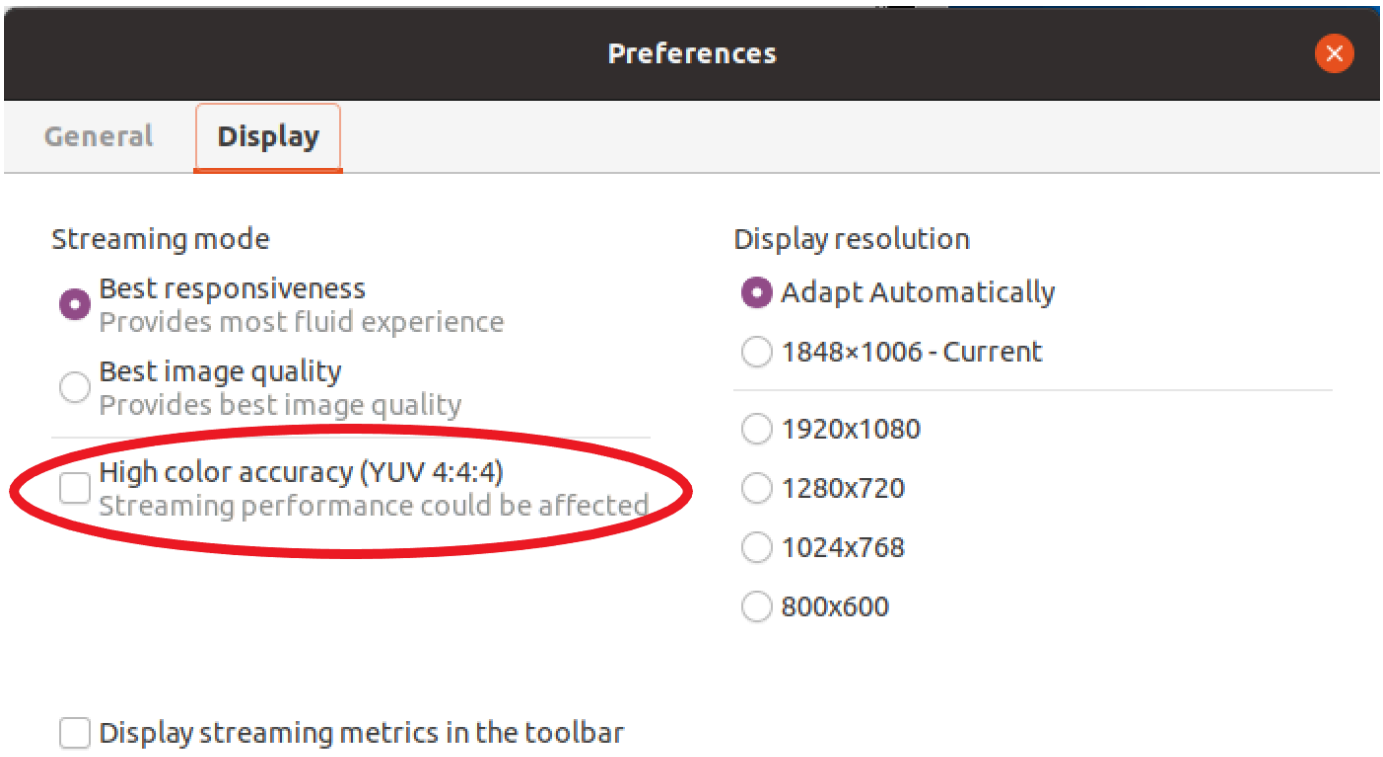
1. [DCV ビューア] アイコンを選択します。
2. ドロップダウンメニューから [設定] を選択します。
3. [設定] ウィンドウの [表示] タブを選択します。
4. 以下のチェックボックスのいずれかまたは両方を選択します。
   - [高色精度 (YUV 4:4:4)]
   - [高ピクセル密度]



5. [設定] ウィンドウを閉じます。

Linux クライアントでの高色精度の有効化

1. [設定] アイコンを選択します。
2. ドロップダウンメニューから [設定] を選択します。
3. [設定] ウィンドウの [表示] タブを選択します。
4. [高色精度 (YUV 4:4:4] のチェックボックスをオンにします。



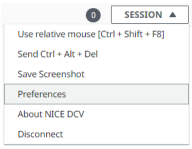
5. [設定] ウィンドウを閉じます。

ウェブブラウザクライアントでの高色精度

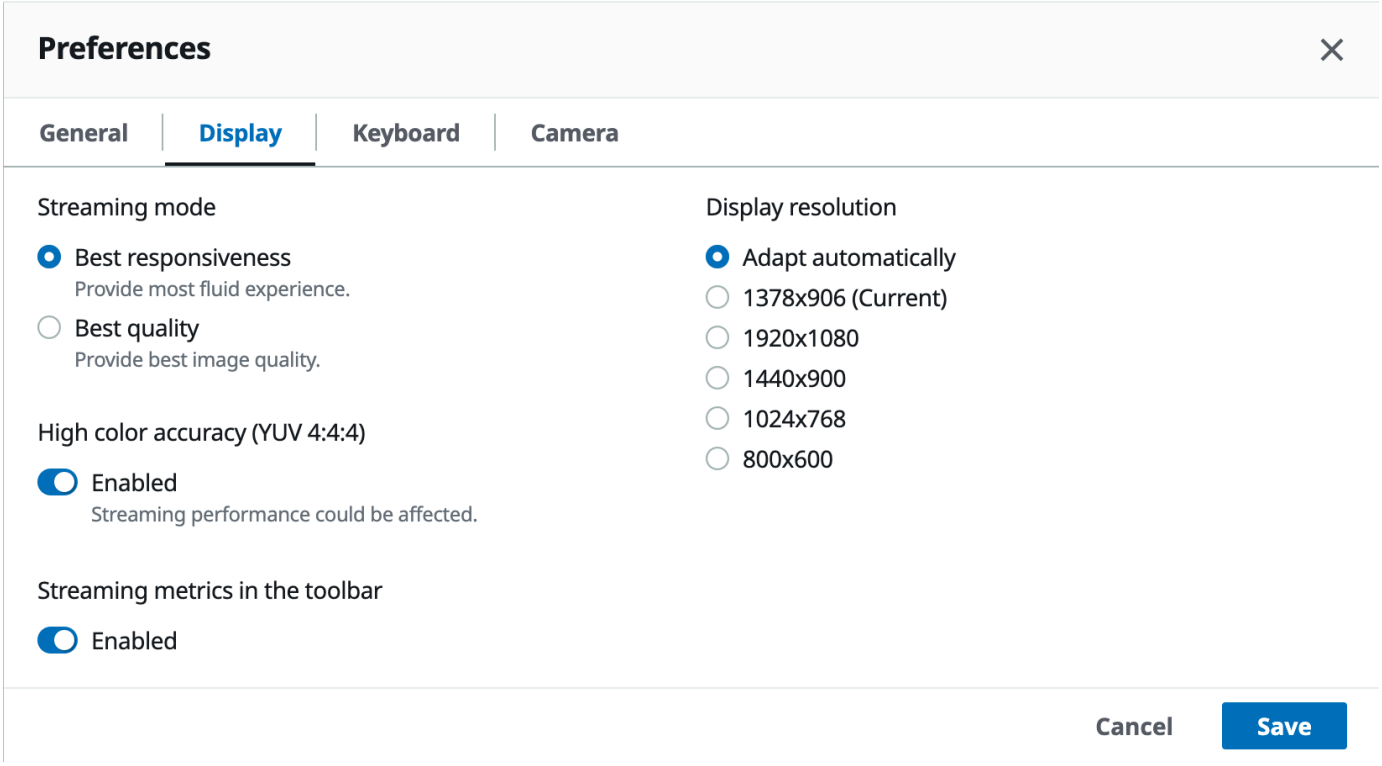
ウェブブラウザクライアントで高色精度を使用するには、バージョン 2022.0 以降の Amazon DCV サーバーと、ウェブコーデック API の VideoDecoder インターフェイスをサポートするブラウザが必要です。

高色精度を有効にする手順は、サポートされているすべてのウェブブラウザで同じです。

1. クライアントで、[セッション] > [設定] を選択します。



2. [ディスプレイ] タブで高色精度機能が利用可能な場合は対応するトグルが表示され、4:4:4 に設定された YUV クロマサブサンプリングを有効にするか無効にするかを指定できます。



3. [設定] モーダルを閉じます。

スマートカードの使用

Amazon DCV を使用して、クライアントコンピュータに接続されている 1 つ以上のスマートカードを使用できます。Amazon DCV セッションでは、標準的なパーソナルコンピュータ/スマートカード (PC/SC) インターフェイスを使用してこれを実行できます。1 つのセッションで同時にスマートカードを接続できるのは、接続されているクライアント 1 つのみです。複数のクライアントが同じセッションに接続している環境では、これが特に重要になります。

スマートカードへのアクセスは、Windows クライアント、Linux クライアント、macOS クライアントでのみサポートされます。ウェブブラウザクライアントではサポートされません。

1 つスマートカードに一度に接続できるクライアントは 1 つだけです。スマートカードが接続されている間は、セッションに接続されている他のクライアントでスマートカードを接続できません。

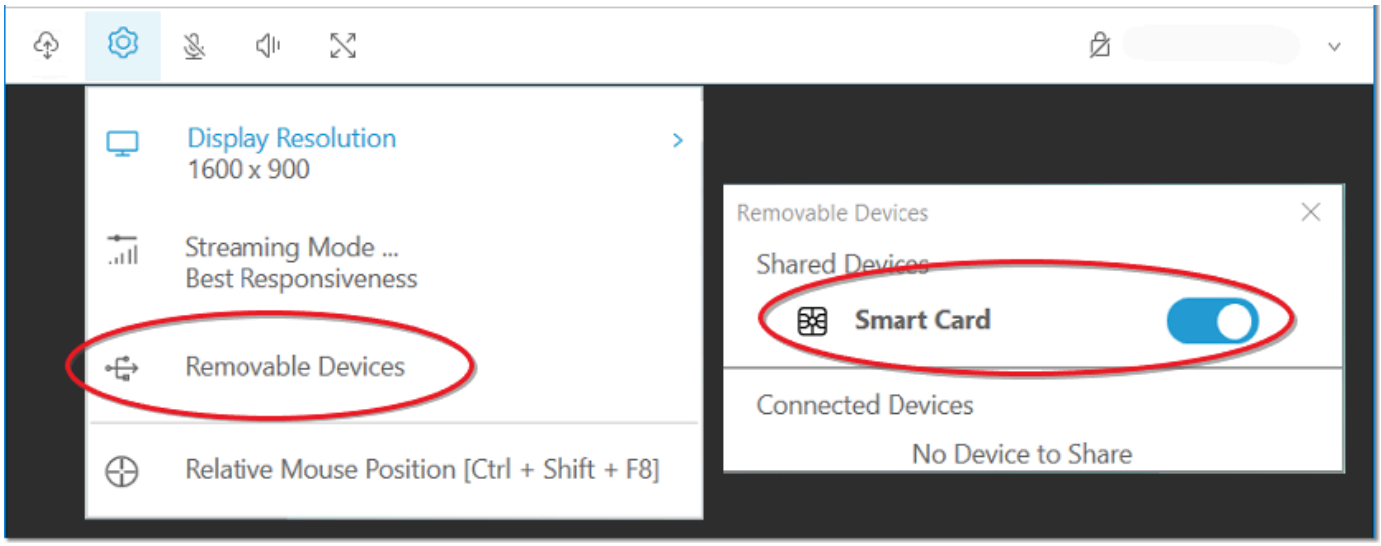
Amazon DCV セッションでスマートカードを使用して作業を完了したら、それをリリースします。リリース後、セッションに接続されている他のクライアントでスマートカードを接続できるようになります。スマートカードは、セッションから切断するときに自動的にリリースされます。

この機能を使用するには認可を受ける必要があります。承認されなかった場合、機能はクライアントでは利用できません。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「Amazon DCV 認可の設定」を参照してください。

スマートカードの接続

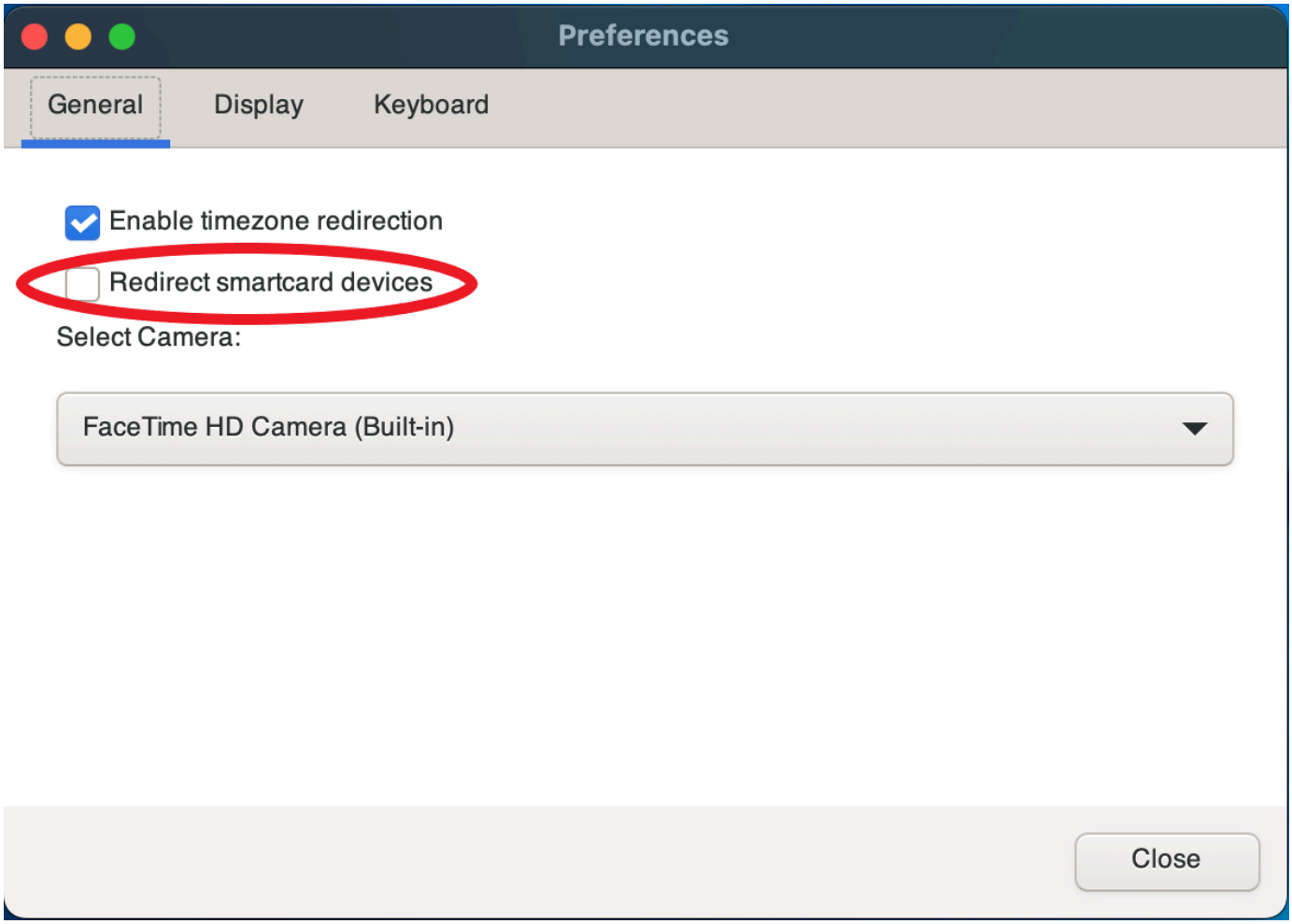
Windows クライアントへの接続

1. クライアントを起動し、Amazon DCV セッションに接続します。
2. [設定] アイコンを選択します。
3. ドロップダウンリストから [リムーバブルデバイス] を選択します。
4. [スマートカード] トグルを有効にします。



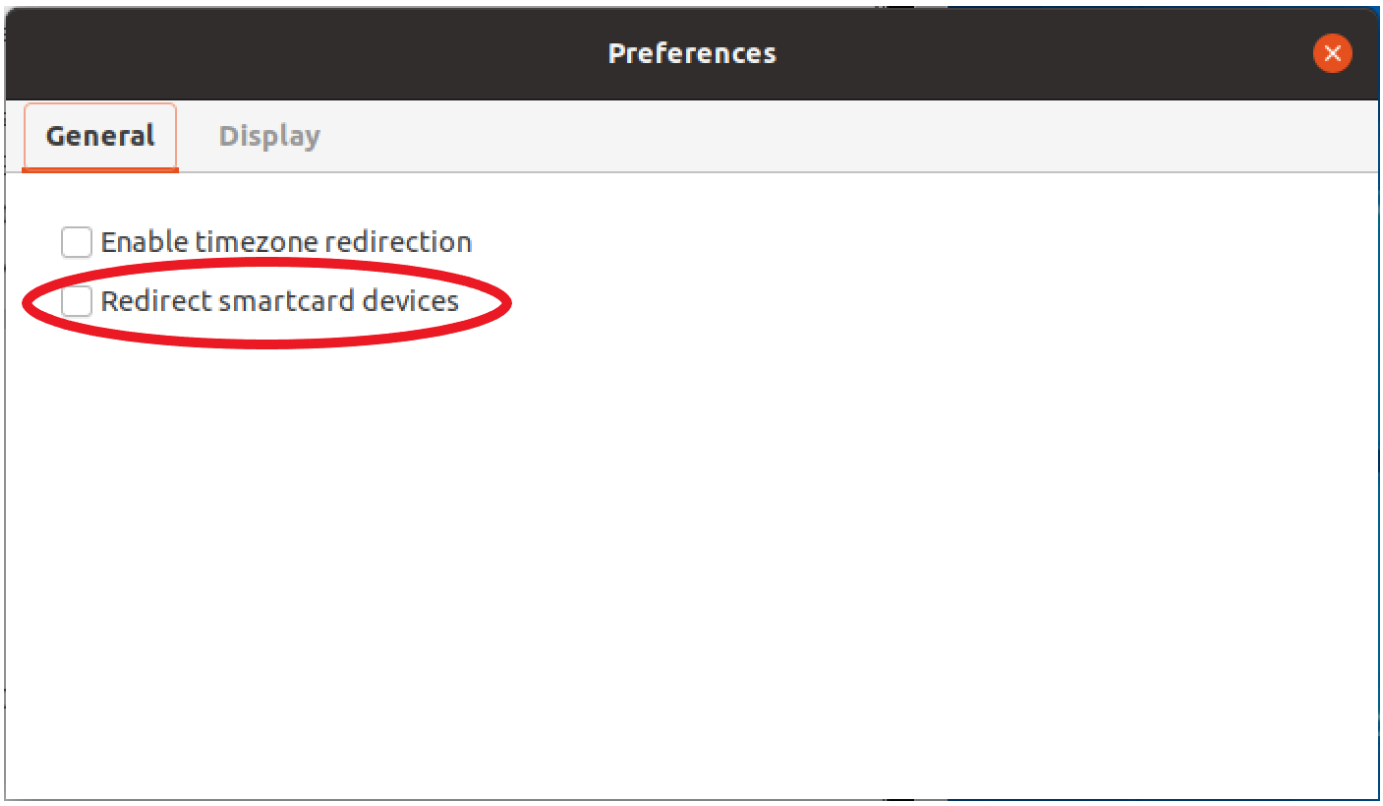
macOS クライアントへの接続

1. クライアントを起動し、Amazon DCV セッションに接続します。
2. [DCV ビューア] アイコンを選択します。
3. [設定] ウィンドウの [一般] タブを選択します。
4. 「スマートカードデバイスをリダイレクト」チェックボックスをオンにします。



Linux クライアントへの接続

1. クライアントを起動し、Amazon DCV セッションに接続します。
2. [設定] アイコンを選択します。
3. [設定] ウィンドウの [一般] タブを選択します。
4. 「スマートカードデバイスをリダイレクト」チェックボックスをオンにします。



Linux サーバーでのスマートカードの使用

- ターミナルを開き、dcvscrun コマンドに続けてアプリケーション名と引数を入力し、アプリケーションを起動します。

  Example

  たとえば、スマートカードサポートで firefox を起動するには、以下のコマンドを使用します。

  ```
  $  dcvscrun firefox
  ```

  > **Important**
  >
  > スマートカードのキャッシュを有効にした場合は、DCV_PCSC_ENABLE_CACHE 環境変数を設定してエクスポートした際と同じターミナルで以下のコマンドを実行します。

スマートカードのリリース

Windows クライアントからのリリース

1. [設定] アイコンを選択します。
2. ドロップダウンリストから [リムーバブルデバイス] を選択します。
3. [スマートカード] トグルを無効にします。

macOS および Linux クライアントからのリリース

1. [設定] アイコンを選択します。
2. [設定] ウィンドウの [一般] タブを選択します。
3. [スマートカードデバイスをリダイレクト] チェックボックスをオフにします。

スマートカードデータキャッシュ (オプション)

Amazon DCV サーバーでスマートカードデータをキャッシュするには、スマートカードのキャッシュ機能を有効にする必要があります。スマートカードのキャッシュ機能はデフォルトでは無効になっています。スマートカードの機能を有効にすると、クライアントのスマートカードへの最新の呼び出しの結果がサーバーにキャッシュされます。これにより、クライアントとサーバー間で転送されるトラフィックの量が削減され、パフォーマンスが向上します。

サーバーで無効化されている場合は、スマートカードのキャッシュを有効化することはできません。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「スマートカードのキャッシュの設定」を参照してください。

Windows サーバーでのスマートカードキャッシュの有効化

1. クライアントを起動し、Amazon DCV セッションに接続します。
2. ターミナルウィンドウを開きます。
3. 以下のいずれかのコマンドを実行します:
   - 現在のターミナルウィンドウでスマートカードキャッシュを有効にするには

```
C:\> set DCV_PCSC_ENABLE_CACHE=1
```

- サーバーにあるすべてのアプリケーションでスマートカードキャッシュを永続的に有効にするには

```
C:\> setx DCV_PCSC_ENABLE_CACHE 1
```

Linux サーバーでのスマートカードキャッシュの有効化

1. クライアントを起動し、Amazon DCV セッションに接続します。

> **Note**
> 必ず、アプリケーションを起動するターミナルと同じターミナルで以下のコマンドを実行します。

2. `dcvscrun` でアプリケーションを実行したターミナルウィンドウを開きます。
3. `DCV_PCSC_ENABLE_CACHE` を 1 の値でエクスポートします。

   Example

   例えば、 以下のコマンドを実行できます。

```
$  DCV_PCSC_ENABLE_CACHE=1 dcvscrun APPLICATION
```

   or

```
$  DCV_PCSC_ENABLE_CACHE=1
$  dcvscrun APPLICATION
```

USB リモート化の使用

> **Note**
> この機能はインストール可能な Windows クライアントのみを対象としています。

Amazon DCV では、3D ポインティングデバイスや 2 要素認証 USB ドングルなどの特殊な USB デバイスを使用できます。これらのデバイスが Amazon DCV サーバーで実行されているアプリケーションとやり取りするには、コンピュータに接続する必要があります。

> **Note**
>
> グラフィックタブレット、ゲームパッド、スマートカードリーダーは Amazon DCV によって自動的にサポートされるため、USB リモート化を使用する必要はありません。

この機能を使用するには認可を受ける必要があります。承認されなかった場合、機能はクライアントでは利用できません。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「Amazon DCV 認可の設定」を参照してください。

この機能を有効にすると、最も一般的に使用される USB デバイスがサポートされます。これらのデバイスは、お使いのコンピュータに接続すれば追加設定をすることなくサーバーで使用できます。

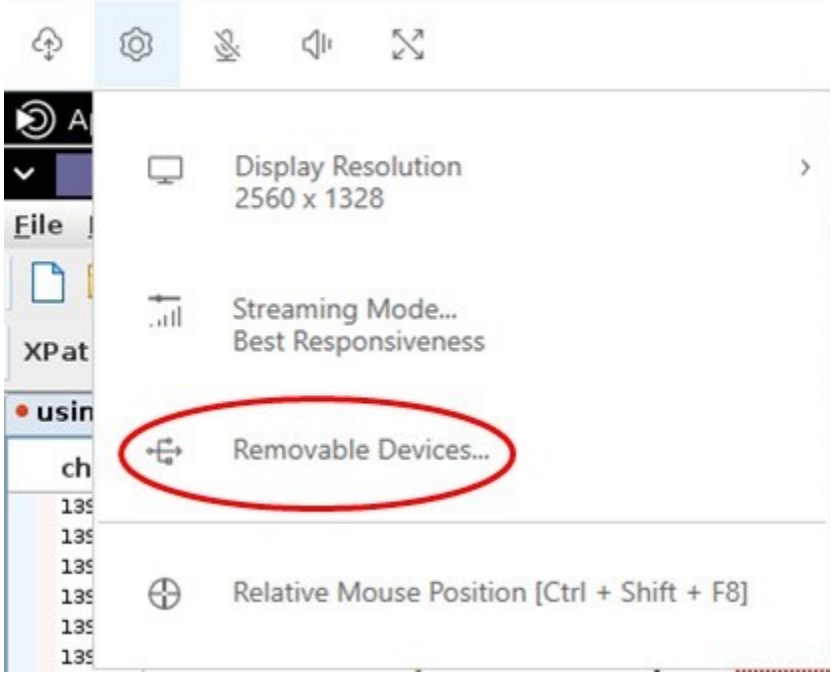
ただし、一部の特殊な USB デバイスは、デフォルト設定ではサポートされていません。サポート対象外のデバイスは、接続後に [設定] メニューに表示されません。これらのデバイスは、あらかじめ Amazon DCV サーバーの USB デバイス [許可リスト] に手動で追加しておく必要があります。許可リストに追加されると、クライアントの [設定] メニューに表示されます。

これに関する情報、または Amazon DCV サーバーで必要となる可能性のある追加設定については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「USB リモート化の有効化」を参照してください。

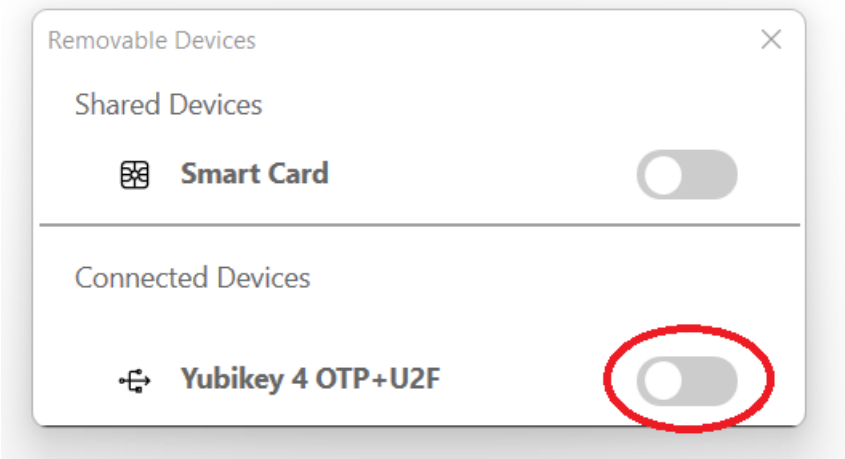
Amazon DCV サーバーでの USB デバイスの使用

1. USB デバイスをコンピュータの空いている USB スロットに接続します。
2. DCV クライアントセッションに移動します。
3. ウィンドウの左上にある [設定] アイコンを選択します。

4. ドロップダウンメニューから [リムーバブルデバイス...] を選択します。



5. リストで、USB デバイスの横にあるスライダーを移動します。



これで USB デバイスを使用できます。

ウェブカメラの使用

Amazon DCV では、Amazon DCV セッションで実行されるリモートアプリケーションにおいて、ローカルクライアントコンピュータに接続されたウェブカメラを使用できます。1 つのセッションで同時にウェブカメラを使用できるのは、接続されているクライアント 1 つのみです。複数のクライアントが同じセッションに接続している環境では、これが特に重要になります。

ウェブカメラ機能は、すべての Amazon DCV クライアントでサポートされています。ただし、ウェブブラウザクライアントでは、ウェブカメラ機能は Google Chrome や Microsoft Edge などの Chromium ベースのブラウザでのみサポートされます。Mozilla Firefox と Apple Safari ではサポートされていません。

ウェブカメラ機能は、Windows Amazon DCV サーバーでのみサポートされます。Linux Amazon DCV サーバーではサポートされません。

この機能を使用するには認可を受ける必要があります。承認されなかった場合、機能はクライアントでは利用できません。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「Amazon DCV 認可の設定」を参照してください。

ローカルクライアントコンピュータに複数のウェブカメラが接続されている場合は、使用したいウェブカメラを選択できます。選択したカメラは、ウェブカメラツールバーアイコンを使用してウェブカメラを有効にすれば自動的に使用されます。

トピック

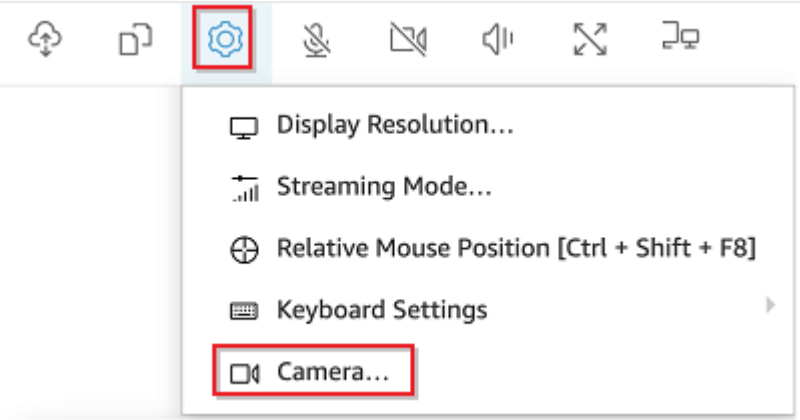
- Windows、Linux、macOS クライアントでのウェブカメラの使用
- ウェブブラウザクライアントでのウェブカメラの使用

Windows、Linux、macOS クライアントでのウェブカメラの使用

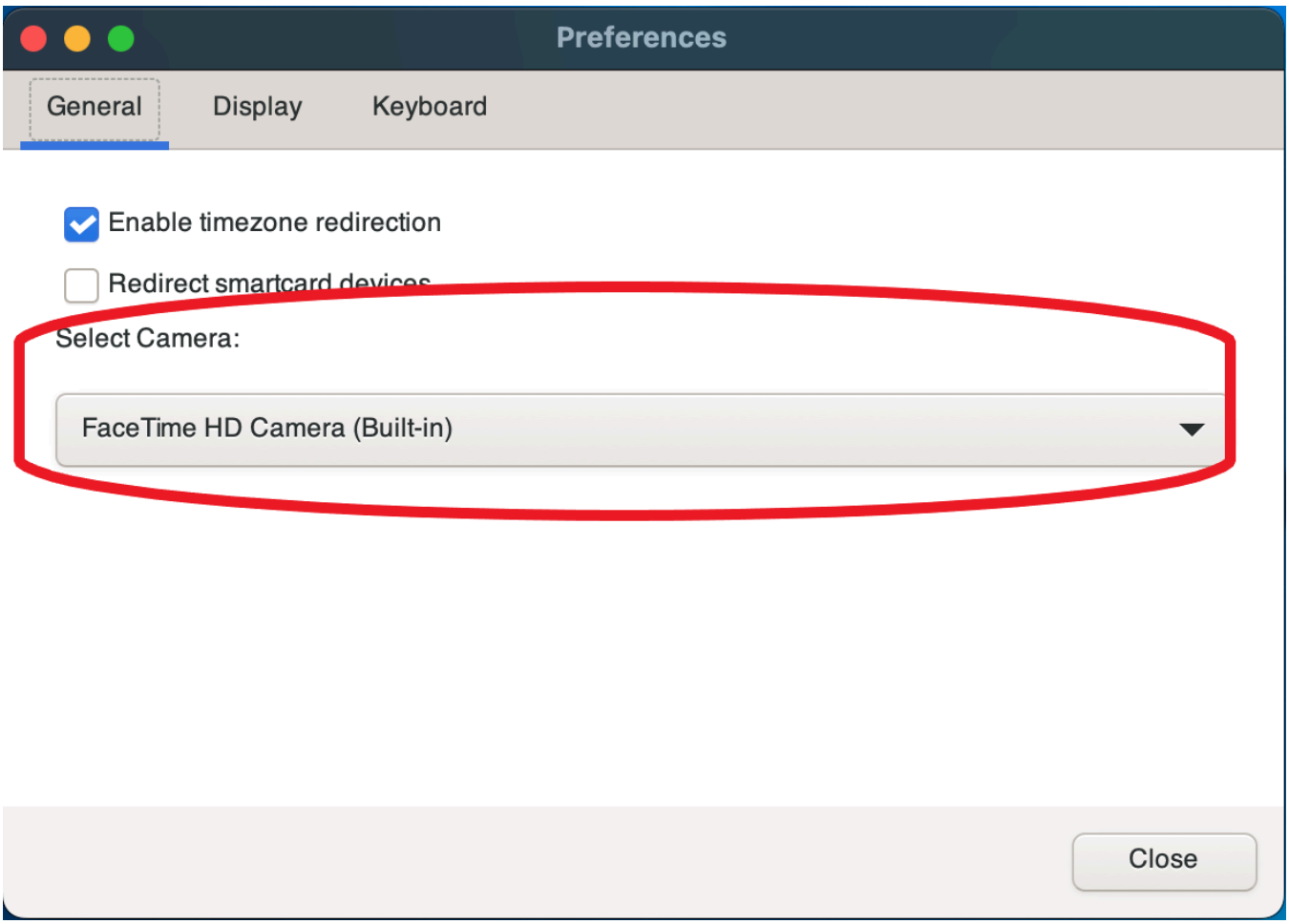
使用するカメラを選択する手順は、Windows、Linux、macOS クライアントで同様です。

使用するウェブカメラを選択する方法

1. クライアントを起動し、Amazon DCV セッションに接続します。
2. 使用するクライアントに応じて、以下のいずれかを実行します。
   - Windows クライアントと Linux クライアント
     1. [設定] アイコンを選択します。
     2. [カメラ] を選択します。
     3. ドロップダウンリストからカメラを選択します。



- macOS クライアント
  1. [DCV ビューア] アイコンを選択します。
  2. [一般] タブを選択します。
  3. [カメラを選択:] フィールドで下向きの矢印を選択し、カメラのドロップダウンリストを開きます。
  4. ドロップダウンリストからカメラを選択します。



> **Note**
>
> - カメラメニュー項目は、セッションでのウェブカメラの使用について認可を受けている場合にのみ表示されます。カメラメニュー項目が表示されない場合は、ウェブカメラの使用に対する認可を受けていない可能性があります。
> - ウェブカメラの使用中、または別のクライアントでセッションのウェブカメラが有効になっている間、ウェブカメラの選択を変更することはできません。

セッションでウェブカメラの使用を開始する方法

最初にウェブカメラを有効にしておく必要があります。ツールバーのウェブカメラアイコンを使用して、セッションで使用する ウェブカメラを有効または無効にします。このアイコンを使用して現在の状態を判断することもできます。ウェブカメラアイコンは、次の場合に限り、ツールバーに表示されます。

- ウェブカメラの使用に対する認可を受けている場合。
- ローカルコンピュータに少なくとも 1 つの ウェブカメラが接続されている場合。
- セッションでウェブカメラを使用できるユーザーが他にはいない場合。

ツールバーアイコン	説明
	ウェブカメラはセッションで無効になっています。他のクライアントでウェブカメラを有効にしてセッションで使用することができます。 セッションでウェブカメラを有効にするにはこのアイコンをクリックします。使用するためにそのウェブカメラをあらかじめ選択していない場合は、デフォルトのウェブカメラが使用されます。
	ウェブカメラがセッションで有効になっていますが、使用中ではありません。ウェブカメラが有効になっている間は、セッションに接続されている他のクライアントではウェブカメラを使用できません。 セッションでウェブカメラを無効にするにはこのアイコンをクリックします。

ツールバーアイコン	説明
	ウェブカメラが Amazon DCV セッションのリモートアプリケーションで使用されています。ウェブカメラの使用中に他のクライアントでそのウェブカメラを有効にすることはできません。 セッションでウェブカメラを無効にするにはこのアイコンをクリックします。

トラブルシューティング

トピック

- ウェブカメラが Windows 10 で作動しない
- クライアントアプリケーションにウェブカメラ使用中と表示される

ウェブカメラが Windows 10 で作動しない

Windows 10 には、デバイスカメラへのアクセスを管理するための組み込みのプライバシー設定が用意されています。クライアントコンピュータで Windows 10 を実行している場合、これらのプライバシー設定によりウェブカメラの使用が妨げられる可能性があります。

> **Note**
>
> Windows 2019 Amazon DCV サーバーに接続している場合は、Amazon DCV サーバーでもこれらのステップの実行が必要になる可能性があります。

コンピュータのプライバシー設定を変更するには、次の手順を実行します。

1. ツールバーの検索アイコンを選択します。
2. `Settings` を入力して Enter を押します。
3. 左側のパネルで、[Camera] (カメラ) を選択します。
4. [Allow apps to access your camera] (カメラへのアクセスをアプリに許可する) で、トグルを [On] の位置に切り替えます。
5. 変更内容を反映させるためにコンピュータの再起動が必要になる場合があります。

クライアントアプリケーションにウェブカメラ使用中と表示される

1 台のウェブカメラを同時に使用できるアプリケーションは 1 つだけです。ウェブカメラを複数のアプリケーションで使用している場合は、まず不要になったアプリケーションを閉じます。

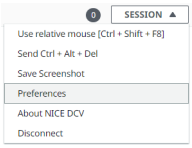
ウェブブラウザクライアントでのウェブカメラの使用

ウェブカメラ機能は、Google Chrome や Microsoft Edge などの Chromium ベースのブラウザでのみサポートされています。Mozilla Firefox と Apple Safari ではサポートされていません。

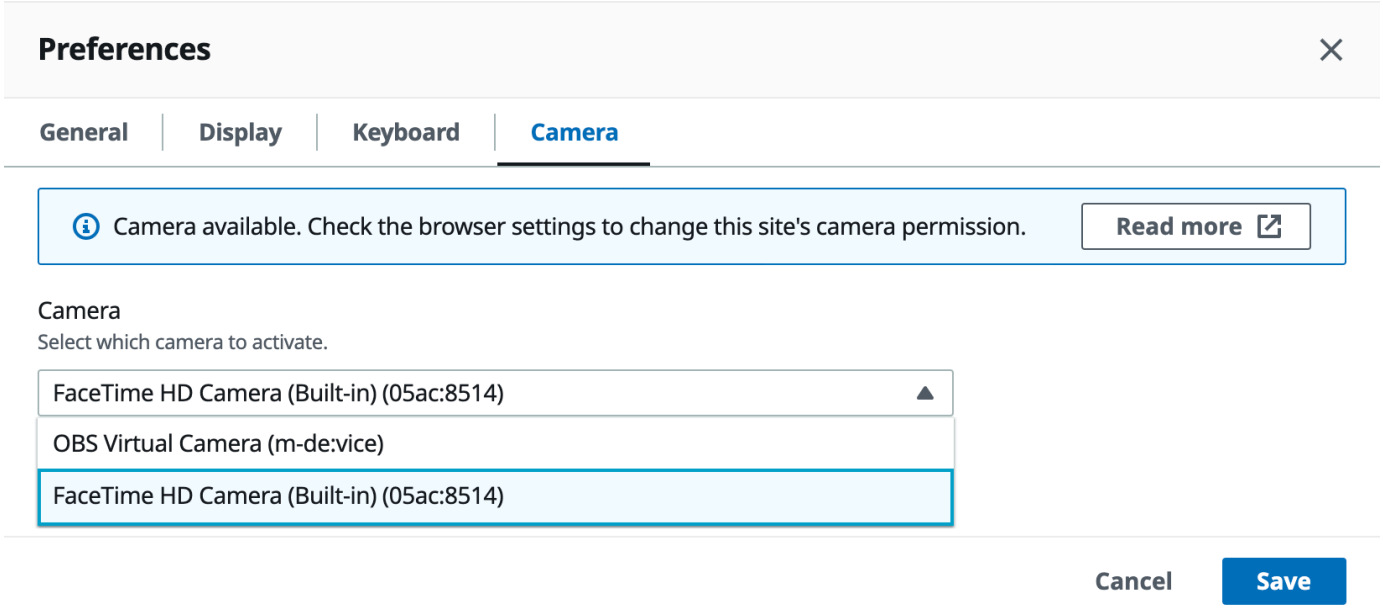
使用するカメラを選択する手順は、サポートされているすべてのウェブブラウザで同じです。

使用するウェブカメラを選択する方法

1. クライアントを起動し、Amazon DCV セッションに接続します。
2. クライアントで、[セッション] > [設定] を選択します。



3. [カメラ] タブを選択し、使用するカメラを選択します。



4. [Preferences] (設定) モーダルを閉じます。

> **Note**
>
> - カメラメニュー項目は、セッションでのウェブカメラの使用について認可を受けている場合にのみ表示されます。カメラメニュー項目が表示されない場合は、ウェブカメラの使用に対する認可を受けていない可能性があります。
> - ウェブカメラの使用中、または別のクライアントでセッションのウェブカメラが有効になっている間、ウェブカメラの選択を変更することはできません。
> - カメラの権限設定がユーザーによって明示的に許可または拒否されていない場合は、使用するカメラを選択する前に、カメラ検出を許可するように求められます。
> - カメラの権限設定がユーザーによって明示的に許可または拒否されている場合は、以下の手順に従って設定を変更できます。
>
> 1. ブラウザウィンドウの左上で、アドレスバーの URL の左にあるエリアをクリックします。
> 2. 開いたポップアップウィンドウで、適用したいカメラ権限設定を選択します。

セッションでウェブカメラの使用を開始する方法

最初にウェブカメラを有効にしておく必要があります。ツールバーのウェブカメラアイコンを使用して、セッションで使用する ウェブカメラを有効または無効にします。このアイコンを使用して現在の状態を判断することもできます。ウェブカメラアイコンは、次の場合に限り、ツールバーに表示されます。

- ウェブカメラの使用に対する認可を受けている場合。
- ローカルコンピュータに少なくとも 1 つの ウェブカメラが接続されている場合。
- セッションでウェブカメラを使用できるユーザーが他にはいない場合。

ツールバーアイコン	説明
	ウェブカメラはセッションで無効になっています。他のクライアントでウェブカメラを有効にしてセッションで使用することができます。

ツールバーアイコン	説明
	セッションでウェブカメラを有効にするにはこのアイコンをクリックします。使用するためにそのウェブカメラをあらかじめ選択していない場合は、デフォルトのウェブカメラが使用されます。
	ウェブカメラがセッションで有効になっていますが、使用中ではありません。ウェブカメラが有効になっている間は、セッションに接続されている他のクライアントではウェブカメラを使用できません。 セッションでウェブカメラを無効にするにはこのアイコンをクリックします。
	ウェブカメラが Amazon DCV セッションのリモートアプリケーションで使用されています。ウェブカメラの使用中に他のクライアントでそのウェブカメラを有効にすることはできません。 セッションでウェブカメラを無効にするにはこのアイコンをクリックします。

トラブルシューティング

クライアントアプリケーションにウェブカメラ使用中と表示される

1 台のウェブカメラを同時に使用できるアプリケーションは 1 つだけです。ウェブカメラを複数のアプリケーションで使用している場合は、まず不要になったアプリケーションを閉じます。

証明書検証ポリシーを設定する

Amazon DCV では、サーバーとクライアント間の通信にセキュアな TLS 接続を使用します。証明書検証ポリシーは、証明書が信頼できるものであることを検証できない場合に Amazon DCV クライアントをどう応答させるかを決定します。接続ファイルで、次のいずれかのオプションを設定します。

- `Strict`: TLS 証明書の検証に問題がある場合に接続を禁止します。
- `Ask user`: 証明書を検証できない場合に、その証明書を信頼するかどうかの判断をユーザーに促します。
- `Accept untrusted`: TLS 証明書が自己署名されておりクライアントによる検証ができない場合でも、サーバーに接続します。

接続ファイルの編集については、「???」を参照してください。

WebAuthn リダイレクトの使用

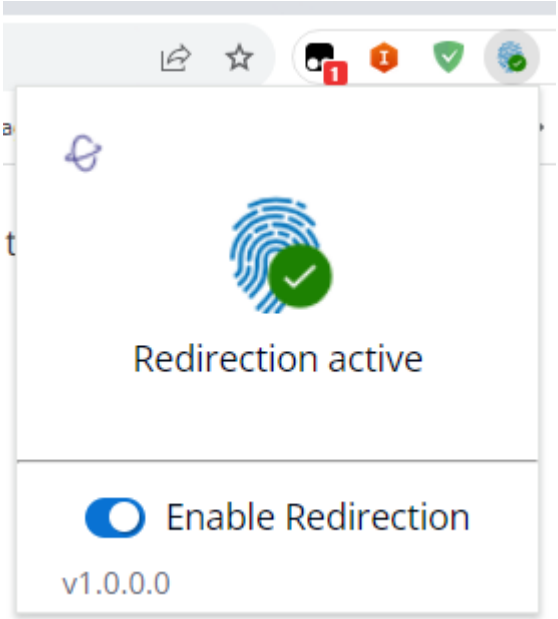
Amazon DCV には、Google Chrome および Microsoft Edge ブラウザでの使用向けに特別に設計された WebAuthn リダイレクト機能が用意されています。この機能は、ウェブアプリケーションのセッションでの認証を有効にします。この機能はインストールされると、WebAuthn リクエストをウェブアプリケーションから DCV クライアントにリダイレクトする専用のブラウザ拡張機能を介して動作します。

この機能を使用するには、認可が必要です。認可がない場合は、クライアントでは使用できません。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「Amazon DCV 認可の設定」を参照してください。

> **Note**
>
> WebAuthn リダイレクトは、Windows、Linux、および macOS のクライアントでのみサポートされています。ウェブブラウザクライアントではサポートされません。

Webauthn リダイレクトのユーザーインターフェイス

拡張機能により、Webauthn リダイレクト機能をモニタリングおよび制御するために使用されるユーザーインターフェイスが開かれます。



- 拡張機能アイコン: ユーザーインターフェイスの本文にあるこのアイコンには、機能の現在の状態が表示されます。

  アイコンは次のいずれかになります。

アイコン	名前	使用方法
	非アクティブ	リダイレクトは無効です。これは、拡張機能を無効にした場合に表示されます。
	OK (有効)	リダイレクトは有効で、ホスト上の基盤となる Amazon DCV ソフトウェアに接続されています。
	Processing	リダイレクトは、進行中のオペレーションを実行しているか、ホスト内の基盤となる Amazon DCV ソフトウェアへの接続を試みています。
	エラー	ホスト上の基盤となる Amazon DCV ソフトウェアへの接続中にエラーが発生しました。

- ステータスメッセージ: ユーザーインターフェイスの本文にあるメッセージで、現在の運用ステータスを説明します。
- リダイレクトトグル: ユーザーインターフェイスの下部にあるこのスイッチは、機能を有効または無効にします。
  - リダイレクトを有効にすると、WebAuthn リクエストが拡張機能によって傍受され、クライアントに転送されます。
  - リダイレクトを無効にすると、ブラウザによって WebAuthn リクエストがローカルで処理されます。

Amazon DCV のトラブルシューティング

この章では、Amazon DCV クライアントで発生する可能性のある問題を特定して解決する方法について説明します。

トピック

- ログファイルの使用

その他のサポートについては、以下のいずれかのリソースを使用してください。

- Amazon DCV オンプレミスのお客様で、追加のサポートが必要な場合は、Amazon DCV リセラーにお問い合わせください。
- Amazon EC2 で Amazon DCV を使用している場合は、AWS サポートにサポートチケットを登録できます。
- AWS サポートプランがない場合は、AWS re:Post に質問を投稿することで、Amazon DCV コミュニティに支援を求めることができます。

ログファイルの使用

Amazon DCV クライアントのログファイルを使用して、Amazon DCV クライアント問題を特定し、解決します。ログは、Windows (2024.0 年以降) 、Linux、macOS クライアントでデフォルトで有効になっています。古い Windows クライアントを使用する場合は、ログファイルを指定する必要があります (「」を参照ログファイルでのデバッグの有効化) 。

- Windows クライアント

```
%localappdata%\Amazon\DCV\logs\client.log
```

- Linux クライアントまたは macOS クライアント

```
~/.local/share/NICE/dcvviewer/log/viewer.log
```

ログファイルでのデバッグの有効化

問題をトラブルシューティングするには、Amazon DCV デバッグログを明示的に有効にする必要があります。

Windows クライアントの場合

1. `dcvviewer.exe` ファイルが保存されているフォルダに進みます。デフォルトでは、これは `C:\Program Files (x86)\NICE\DCV\Client\bin\` です。
2. 次のいずれかを行います：
   - コマンドプロンプトを開き、次のように入力します。

     ```
     dcvviewer --log-level debug --log-file-name C:/ProgramData/client.log
     ```

   - 接続ファイルに次の設定を追加し、ダブルクリックして接続します。

     ```
     [debug]
     logfilename=C:/ProgramData/client.log
     loglevel=debug
     ```

> **Note**
> デフォルトのログレベルを変更せずに Windows でログ記録を有効にするには、 `info`の代わりに 値を に設定しますdebug。ログは、マシン上の指定されたローカルファイルに保存されます。

macOS クライアントの場合

1. ターミナルを開きます。
2. `dcvviewer` ファイルが保存されているフォルダに進みます。通常、これは にあります`/Applications/DCV\ Viewer.app/Contents/MacOS/dcvviewer`。
3. Amazon DCV クライアントを起動するには、次のように入力します。

   ```
   dcvviewer --log-level debug
   ```

クライアントが起動すると、ログファイルがターミナルに表示されます。

Linux クライアントの場合

1. ターミナルを開きます。

2. Amazon DCV クライアントを起動するには、次のように入力します。

```
dcvviewer --log-level debug
```

クライアントが起動すると、ログファイルがターミナルに表示されます。

Amazon DCV のリリースノートとドキュメント履歴

このページでは、Amazon DCV のリリースノートとドキュメント履歴を掲載します。

トピック

- Amazon DCV リリースノート
- ドキュメント履歴

Amazon DCV リリースノート

このセクションでは、Amazon DCV の大幅な更新、機能リリース、バグ修正の概要について説明します。更新はすべてリリースデータ別に整理されています。お客様からお寄せいただいたフィードバックに対応するために、ドキュメントを頻繁に更新しています。

トピック

- DCV 2024.0-19030 — 2025 年 6 月 10 日
- DCV 2024.0-19030 — 2025 年 5 月 16 日
- DCV 2024.0-19030 — 2025 年 3 月 31 日
- DCV 2024.0-18131 — 2024 年 10 月 31 日
- DCV 2024.0-17979 — 2024 年 10 月 1 日
- DCV 2023.1-17701 — 2024 年 9 月 10 日
- DCV 2023.1-17701 — 2024 年 8 月 20 日
- DCV 2023.1-16388 — 2024 年 7 月 3 日
- DCV 2023.1-16388 — 2024 年 3 月 5 日
- DCV 2023.1-16388 – 2023 年 12 月 19 日
- DCV 2023.1-16220 — 2023 年 11 月 9 日
- DCV 2023.0-15487 — 2023 年 6 月 29 日
- DCV 2023.0-15065 — 2023 œ年 5 月 3 日
- DCV 2023.0-15022 — 2023 年 4 月 21 日
- DCV 2023.0-14852 — 2023 年 3 月 28 日
- DCV 2022.2-14521 — 2023 年 2 月 17 日

- DCV 2022.2-14357 — 2023 年 1 月 18 日
- DCV 2022.2-14175 — 2022 年 12 月 21 日
- DCV 2022.2-14126 — 2022 年 12 月 9 日
- DCV 2022.2-13907 — 2022 年 11 月 11 日
- DCV 2022.1-13300 — 2022 年 8 月 4 日
- DCV 2022.1-13216 — 2022 年 7 月 21 日
- DCV 2022.1-13067 — 2022 年 6 月 29 日
- DCV 2022.0-12760 — 2022 年 5 月 23 日
- DCV 2022.0-12627 — 2022 年 5 月 19 日
- DCV 2022.0-12123 — 2022 年 3 月 23 日
- DCV 2022.0-11954 — 2022 年 2 月 23 日
- DCV 2021.3-11591 — 2021 年 12 月 20 日
- DCV 2021.2-11445 — 2021 年 11 月 18 日
- DCV 2021.2-11190 — 2021 年 10 月 11 日
- DCV 2021.2-11135 — 2021 年 9 月 24 日
- DCV 2021.2-11048 — 2021 年 9 月 1 日
- DCV 2021.1-10851 — 2021 年 7 月 30 日
- DCV 2021.1-10598 — 2021 年 6 月 10 日
- DCV 2021.1-10557 — 2021 年 5 月 31 日
- DCV 2021.0-10242 — 2021 年 4 月 12 日
- DCV 2020.2-9662 — 2020 年 12 月 4 日
- DCV 2020.2-9508 — 2020 年 11 月 11 日
- DCV 2020.1-9012 — 2020 年 9 月 30 日
- DCV 2020.1-9012 — 2020 年 8 月 24 日
- DCV 2020.1-8942 — 2020 年 8 月 3 日
- DCV 2020.0-8428 — 2020 年 4 月 16 日
- DCV 2019.1-7644 — 2019 年 10 月 24 日
- DCV 2019.1-7423 — 2019 年 9 月 10 日
- DCV 2019.0-7318 — 2019 年 8 月 5 日
- DCV 2017.4-6898 — 2019 年 4 月 16 日

- DCV 2017.3-6698 — 2019 年 2 月 24 日
- DCV 2017.2-6182 — 2018 年 10 月 8 日
- DCV 2017.1-5870 — 2018 年 8 月 6 日
- DCV 2017.1-5777 — 2018 年 6 月 29 日
- DCV 2017.0-5600 — 2018 年 6 月 4 日
- DCV 2017.0-5121 — 2018 年 3 月 18 日
- DCV 2017.0-4334 — 2018 年 1 月 24 日
- DCV 2017.0-4100 — 2017 年 12 月 18 日

DCV 2024.0-19030 — 2025 年 6 月 10 日

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-server: 19030 • nice-dcv-client(Windows): 9431 • nice-dcv-viewer (macOS): 8004 • nice-dcv-viewer (Linux): 8004 • nice-dcv-web-viewer: 19030 • nice-xdcv: 654	• ブランドを変更した SM エージェントインストーラ。 • 有効期限が切れる前に証明書を更新しました。 • Linux および MacOS クライアントのデッドキーを修正しました。 • アクセスコンソールを更新して、クレームスコープとは異なる UUID を使用します。 • JDK 17 への移行。	

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-gl: 1096 • nice-dcv-gltest: 352 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 266		

DCV 2024.0-19030 — 2025 年 5 月 16 日

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-server: 19030 • nice-dcv-client(Windows): 9431 • nice-dcv-viewer (macOS): 8004 • nice-dcv-viewer (Linux): 8004 • nice-dcv-web-viewer: 19030	• 拡張機能データをパブリック CLI パラメータにしました。 • が接続ファイルからログレベルを設定できるようにします。 • Linux および MacOS クライアントのデッドキーを修正しました。 • WebAuthn の修正。 • MacOS クライアントのディスプレイスケール係数、相対マウス、および複数のウェブカメラを修正しました。 • Windows および MacOS クライアントのクリップボードイメージ処理が改善されました。 • その他の修正とパフォーマンスの向上。	

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-xdcv: 654 • nice-dcv-gl: 1096 • nice-dcv-gltest: 352 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 266		

DCV 2024.0-19030 — 2025 年 3 月 31 日

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-server: 19030 • nice-dcv-client(Windows): 9254 • nice-dcv-viewer (macOS): 7209 • nice-dcv-viewer (Linux): 7209	• Amazon Linux 2023 のサポート。 • パフォーマンス向上とバグ修正が行われています。	

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-web-viewer: 19030 • nice-xdcv: 654 • nice-dcv-gl: 1096 • nice-dcv-gltest: 352 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 266		

DCV 2024.0-18131 — 2024 年 10 月 31 日

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-server: 18131 • nice-dcv-client(Windows): 9254 • nice-dcv-viewer (macOS): 7209 • nice-dcv-viewer	• Windows 上の Amazon DCV サーバーのインストーラで、アンistallation が失敗する問題を修正しました。 • Linux の Amazon DCV サーバーで、物理ディスプレイが接続されているときにマウスカーソルが非表示になる問題を修正しました。 • USB リダイレクト機能の使用時にローカル USB デバイスが切断される可能性がある Windows ネイティブクライアントの問題を修正しました。 • クリップボードに関連する macOS のクラッシュを修正しました。 • 複数の DCV セッションを持つマシンに接続するときの macOS および Linux クライアントのクラッシュを修正しました。	

ビルド番号	変更とバグ修正	
(Linux): 7209 • nice-xdcv: 631 • nice-dcv-gl: 1078 • nice-dcv-gltest: 344 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 259	• macOS および Linux クライアントで DCV PDF プリンターを介して大きなドキュメントを印刷できない問題を修正しました。 • Firefox 130 以降の Web クライアントでのレンダリングの問題を修正しました。	

DCV 2024.0-17979 — 2024 年 10 月 1 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 17979 • nice-dcv-client (Windows): 9206 • nice-dcv-viewer (macOS) 6995	Amazon DCV に次の機能を追加しました。 • NICE DCV 製品の名前が Amazon DCV に変更されました。 • Ubuntu 24 サーバーとクライアントのサポート。 • Linux ネイティブクライアントの Wayland サポート。 • Linux サーバー上のコンソールセッションの場合、DCV はローカル画面を空白にして入力をブロックします。 • macOS 上のウェブクライアントで高ピクセル密度を実現。	• QUIC UDP は、Amazon DCV サーバーでデフォルトで有効になっています。 • RHEL 7 と CentOS 7 および 8 のサポートは終了しました。 • Amazon DCV サーバーとクライアントの Windows バージョンは、Visual Studio 2017 用の Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージではなく、Visual Studio 2022 用の Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージを要件としています。

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-viewer (Linux): 6995 • nice-xdcv: 627 • nice-dcv-gl: 1073 • nice-dcv-gltest: 340 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 256	• Linux および macOS クライアントにエコーエコーキャンセレーションを追加。	• ウェブクライアントのアップロード速度制限を 10 Mbps と 100 Mbps に引き上げました。 • ウェブクライアント内の複数のディスプレイ間でウィンドウをドラッグアンドドロップする機能を追加しました。 • ネットワークパフォーマンスが低下すると、ウェブクライアントにバナーが表示されます。 • セキュリティとパフォーマンスの向上

DCV 2023.1-17701 — 2024 年 9 月 10 日

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-	• Windows クライアントの DCV 拡張機能で Window ハンドルの取得をサポート。	

ビルド番号	変更とバグ修正	
server: 17701 • nice-dcv-client (Wi: 9210 • nice-dcv-viewer (macOS) 6809 • nice-dcv-viewer (Linux): 6809 • nice-xdcv: 565 • nice-dcv-gl: 1047 • nice-dcv-gltest: 325 • nice-dcv-simple-external-au		

ビルド番号	変更とバグ修正	
thenticator: 228		

DCV 2023.1-17701 — 2024 年 8 月 20 日

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-server: 17701 • nice-dcv-client (Wi: 9187 • nice-dcv-viewer (macOS) 6809 • nice-dcv-viewer (Linux): 6809 • nice-xdcv: 565 • nice-dcv-gl: 1047	• パフォーマンス向上とバグ修正が行われています。	

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-gltest: 325 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 228		

DCV 2023.1-16388 — 2024 年 7 月 3 日

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-server: 1(• nice-dcv-client (Wi: 9127 • nice-dcv-viewer (macOS) 6703 • nice-dcv-	• ネイティブクライアントのパフォーマンス向上とバグ修正が行われています。	

ビルド番号	変更とバグ修正	
viewer (Linux): 6703 • nice-xdcv: 565 • nice-dcv-gl: 1047 • nice-dcv-gltest: 325 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 228		

DCV 2023.1-16388 — 2024 年 3 月 5 日

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-server: 1(• nice-dcv-	• ディスプレイのスケーリングが 100% とは異なる値に設定されている場合の Windows クライアントの拡張機能の問題を修正しました。	

ビルド番号	変更とバグ修正	
client (Wi : 8993 • nice-dcv-viewer (macOS) 6203 • nice-dcv-viewer (Linux): 6203 • nice-xdcv: 565 • nice-dcv-gl: 1047 • nice-dcv-gltest: 325 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 228	• Windows クライアントの相対マウスモードと高 DPI マウスの問題を修正しました。 • Windows クライアントの `Shift` キーを使用したキーボードの組み合わせのリリースに関する問題を修正しました。	

DCV 2023.1-16388 – 2023 年 12 月 19 日

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-server: 1(• nice-dcv-client (Wi : 8934 • nice-dcv-viewer (macOS) 6203 • nice-dcv-viewer (Linux): 6203 • nice-xdcv: 565 • nice-dcv-gl: 1047 • nice-dcv-gltest: 325 • nice-dcv-simple-	• ストリーミング障害や過剰なログ記録を発生させる可能性のある Windows での エージェント起動時の競合状態を修正しました。 • アイドルタイムアウトの設定が実行時に変更された場合に `dcv list-connections` で報告される、最後の対応時間を修正しました。 • Windows サーバーでの NVIDIA GRID ドライバー 528.89 との互換性の問題を修正しました。 • ストリーミング障害を発生させる可能性のあるウェブクライアントでのビデオデコードに関する問題を修正しました。 • サーバーでディスプレイ解像度の変更が無効になっている場合の、Windows クライアントのマルチモニターでの全画面表示に関する問題を修正しました。 • Linux および macOS クライアントでのウェブカメラ解像度に関する問題を修正しました。 • Linux および macOS クライアントでのマウスのダブルクリックとトリプルクリックに関する問題を修正しました。 • Linux および macOS クライアントでの WebAuthN のリダイレクトに関する問題を修正しました。	

ビルド番号	変更とバグ修正	
external-authenticator: 228		

DCV 2023.1-16220 — 2023 年 11 月 9 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 1 • nice-dcv-client (Wi: 8908 • nice-dcv-viewer (macOS) 6125 • nice-dcv-viewer (Linux): 6125 • nice-xdcv: 565	Amazon DCV に次の機能を追加しました。 • リモートの Google Chrome または Microsoft Edge ブラウザで実行されているウェブアプリケーションからの、セッション中の WebAuthn リクエストのリダイレクトをサポートします。リダイレクトされたリクエストはクライアントに転送され、YubiKey や Windows Hello などの FIDO2 準拠の認証システムでユーザー ID を検証できるようになります。 • Windows ホスト用の新しい間接ディスプレイドライバー (IDD) は、グラフィックパイプラインを最適化し、プロトコルによる全体的な CPU 使用率を大幅に削減します。 • Windows パフォーマンスカウンターを使用して、フレームレート、ネットワーク帯域幅、CPU 使用率などのさまざまな DCV プロトコルメトリックを追跡できるようになりました。これにより、ユーザーはネットワークと DCV プロトコルのパフォーマンスを把握できます。	• Windows のクリップボードでの透明画像のサポートが追加されました。 • Windows のクリップボードへの同時アクセス時に、一部のアプリケーションでカットアンドペースト操作が正常に行われない問題を修正しました。 • Windows でモニターのスケーリング係数が 100% Amazon DCV サーバーにリセットされる問題を修正しました。 • Windows と Linux のコンソールセッションで、ユーザーのログアウト時と画面ロック時にクライアントを自動的に切断する設定を追加しました。 • ノイズやサウンドアーティファクトの原因となるオーディオスタックの問題を修正しました。

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-gl: 1047 • nice-dcv-gltest: 325 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 228		• ウェブカメラのストリーミングは、サーバー上でアプリケーションを終了しなくても、再接続すると再開できます。 • Windows ネイティブクライアントでの高 DPI マウスを使用した際のマウスの動作が改善されました。 • macOS ネイティブクライアントでのスマートカードサポートに関する問題が修正されました。 • Linux ネイティブクライアントでの高ピクセル密度のサポートが修正されました。 • Web クライアントと Windows ネイティブクライアントでのユーザーインターフェイスのアクセシビリティが改善されました。 • macOS で ウェブクライアントを使用する際の、一部のキーボードレイアウトの制限を修正しました。 • サードパーティの依存関係を最新バージョンに更新しました。 • Xdcv が XServer のバージョン 21.1.9 に更新されました。 • Windows Server 2012R2、Ubuntu 18.04、Suse Enterprise Linux 15SP4 のサポートを削除しました。

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
		• バグを修正してパフォーマンスを改善しました。

DCV 2023.0-15487 — 2023 年 6 月 29 日

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-server: 1 • nice-dcv-client (Wi : 8771 • nice-dcv-viewer (macOS) 5629 • nice-dcv-viewer (Linux): 5629 • nice-xdcv: 551 • nice-dcv-gl: 1039	• Chrome 114 以降を使用しているときに間違った色が表示される可能性がある Web クライアントの問題を修正しました。 • アンインストール時のエラーを防ぐために、Amazon DCV サーバーと Xdcv の el7 rpm パッケージを修正しました。 • Windows サーバーでの NVIDIA GRID ドライバー 528.89 との互換性の問題を修正しました。 • 一部の Windows アプリケーションでクリップボードが正しく動作しなくなる問題を修正しました。 • パッケージのインストールまたは更新時に設定が正しいことを確認するために、dcv-gl パッケージで最新バージョンの Amazon DCV サーバーパッケージが必要になりました。 • サイズ変更後に誤った解像度が使用される可能性がある Windows クライアントの問題を修正しました。 • macOS クライアントおよび Linux クライアントでの IPv6 アドレスのサポートを修正しました。	

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-gltest: 318 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 208	• macOS クライアントで Control + クリックを右クリックとして設定できるようになりました。 • Web クライアントで、サポートされているブラウザで全画面表示時に特殊キーとキーの組み合わせを使用できるようになりました。 • OpenSSL サードパーティーライブラリを更新しました。	

DCV 2023.0-15065 — 2023 œ年 5 月 3 日

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-server: 1 • nice-dcv-client (Wi: 8671 • nice-dcv-viewer (macOS) 5483 • nice-dcv-	• ライセンストークンのリリースが妨げられることがある `close-session` の問題を修正しました。 • BigSur 上の macOS ネイティブクライアントのクラッシュを修正しました。	

ビルド番号	変更とバグ修正	
viewer (Linux): 5483 • nice-xdcv: 547 • nice-dcv-gl: 1027 • nice-dcv-gltest: 318 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 208		

DCV 2023.0-15022 — 2023 年 4 月 21 日

ビルド番号	変更とバグ修正	
• nice-dcv-server: 1 • nice-dcv-	• 画面のサイズを変更するとストリーミングが正しく動作しなくなる同時実行の問題を修正しました。 • QUIC 接続で障害を引き起こす Amazon DCV サーバーの競合状態を修正しました。	

ビルド番号	変更とバグ修正	
client (Wi : 8671 • nice-dcv-viewer (macOS) 5456 • nice-dcv-viewer (Linux): 5456 • nice-xdcv: 547 • nice-dcv-gl: 1027 • nice-dcv-gltest: 318 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 206	• 隠しカーソルがあるアプリケーションに関連する Amazon DCV サーバーのクラッシュを修正しました。 • Windows サーバーでの日本語キーボード入力の問題を修正しました。 • Web カメラのストリーミングにおけるオーディオ/ビデオ同期が改善されました。 • ICU と libxml2 のサードパーティライブラリを更新しました。 • Xdcv を XServer のバージョン 21.1.8 に更新し、仮想セッションが開始できなくなる XKB の問題を修正しました。 • Windows、macOS、Linux のネイティブクライアントでビデオのデコードが失敗する問題を修正しました。 • macOS と Linux のネイティブクライアントの設定に関する問題を修正しました。	

DCV 2023.0-14852 — 2023 年 3 月 28 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 1 • nice-dcv-client (Wi: 8655 • nice-dcv-viewer (macOS) 5388 • nice-dcv-viewer (Linux): 5388 • nice-xdcv: 527 • nice-dcv-gl: 1022 • nice-dcv-gltest: 318 • nice-dcv-simple-	Amazon DCV に次の機能を追加しました。 • macOS および Linux 上の Amazon DCV クライアントの一部のモニターで全画面表示のサポートを追加しました。 • すべてのクライアントで、ドラッグアンドドロップによるファイルのアップロード開始のサポートが追加されました。 • Added Red Hat Enterprise Linux 9、Rocky Linux 9、CentOS Stream 9 を追加しました。 • Linux の Amazon DCV サーバーでのタイムゾーンリダイレクトのサポートを追加しました。	• 帯域幅の推定が不正確になり、視覚アーティファクトの発生にもつながる QUIC トランスポートの問題の一部を修正しました。 • macOS および Linux クライアントのユーザーインターフェイスを更新しました。 • Windows インストーラーで、ユーザーに表示されるアプリケーション名に一貫して Amazon DCV が使用されるようになりました。 • 堅牢性の向上のため、Windows でのクリップボードサポートの実装が修正されました。 • Windows でドイツ語のキーボードレイアウトを使用する際の Caps Lock キーの問題を修正しました。

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
external-authenticator: 206		

DCV 2022.2-14521 — 2023 年 2 月 17 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 14521 • nice-dcv-client (Windows): 8570 • nice-dcv-viewer (macOS): 5125 • nice-dcv-viewer (Linux): 4804 • nice-xdcv: 519 • nice-dcv-gl: 1012 • nice-dcv-gltest: 307 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 198	• macOS クライアントの日本語キーボードとスペイン語のキーボードの問題を修正しました。 • Windows Amazon DCV サーバーのテンキーに関する問題を修正しました。 • QUIC 接続でのメモリリークを修正しました。 • 古いビデオドライバーを使用する場合の Windows Amazon DCV クライアントの安定性が向上しました。 • OpenSSL とlibsoup のサードパーティーライブラリを更新しました。 • Xdcv が XServer のバージョン 21.1.7 に更新されました。

DCV 2022.2-14357 — 2023 年 1 月 18 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 14357 • nice-dcv-client (Windows): 8522 • nice-dcv-viewer (macOS): 4804 • nice-dcv-viewer (Linux): 4804 • nice-xdcv: 487 • nice-dcv-gl: 1012 • nice-dcv-gltest: 307 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 198	• Suse パッケージの最新の更新で発生し始めた、Suse Linux 12 での仮想セッションのクラッシュを修正しました。 • XPM の処理に関連する DCV-GL のメモリリークを修正しました。 • DCV-GL を `xrestop` ツールと統合して、XPM が対応するプロセスに関連付けられるようにしました。 • Windows サーバー上の ウェブカメラとオーディオリダイレクトを改善して、Windows のネイティブの動作とより一貫性のあるものにしました (OS イベントが発生してもストリームは中断されません)。 • Windows Amazon DCV クライアントがインプットメソッドを処理する方法を改善しました。 • Windows Amazon DCV クライアントのクリップボードで、行区切り文字としてキャリッジリターン文字のみを使用するテキストに関する問題を修正しました。

DCV 2022.2-14175 — 2022 年 12 月 21 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 14175 • nice-dcv-client (Windows): 8472 • nice-dcv-viewer (macOS): 4804 • nice-dcv-viewer (Linux): 4804	• WebSocket 接続を使用する際の、サーバー内のファイル記述子のリークを修正しました。 • Xdcv が XServer のバージョン 21.1.6 に更新されました。

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-xdcv: 487 • nice-dcv-gl: 983 • nice-dcv-gltest: 307 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 198	

DCV 2022.2-14126 — 2022 年 12 月 9 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 14126 • nice-dcv-client (Windows): 8472 • nice-dcv-viewer (macOS): 4804 • nice-dcv-viewer (Linux): 4804 • nice-xdcv: 481 • nice-dcv-gl: 983 • nice-dcv-gltest: 301 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 198	• Windows サーバーで韓国語キーボードを使用する際の問題を修正しました。 • Windows 11 でハングが発生する可能性がある、Windows サーバー上の USB リダイレクトの問題を修正しました。 • 'rotate' パラメーターが 0 に設定されている場合の、サーバーでのログローテーションの問題を修正しました。 • 特定のネットワーク状況でストリームがフリーズする macOS クライアントおよび Linux クライアントの問題を修正しました。 • 全画面表示にするとサイズが正しく変更されない Windows ネイティブクライアントの問題を修正しました。 • ファイルのアップロード時にクラッシュする macOS と Linux の問題を修正しました。 • オーディオが機能しなくなる macOS クライアントの問題を修正しました。 • NVIDIA GPU を使用するとクラッシュする Linux クライアントの問題を修正しました。 • タイムゾーンリダイレクト UI がサーバーと同期しなくなるウェブクライアントの問題を修正しました。

ビルド番号	変更とバグ修正
	• セッション後のページを読み込めないウェブクライアントの問題を修正しました。 • LibTIFF と MIT-Kerberos のオープンソース依存関係を更新しました。

DCV 2022.2-13907 — 2022 年 11 月 11 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 1 • nice-dcv-client (Wi: 8427 • nice-dcv-viewer (macOS) 4653 • nice-dcv-viewer (Linux): 4653 • nice-xdcv: 481 • nice-dcv-gl: 983	Amazon DCV に次の機能を追加しました。 • Windows の Amazon DCV クライアントの一部のモニターに、全画面表示のサポートを追加しました。 • macOS で、高ピクセル密度ディスプレイのネイティブクライアントのサポートが追加されました。 • macOS および Linux で Amazon DCV クライアントのプリンターリダイレクトを追加しました。 • Windows の Amazon DCV サーバーでのタイムゾーンリダイレクトのサポートを追加しました。 • コンソールセッションのシングルサインオンをサポートするために、Ubuntu 22.04 の GNOME シェル拡張を追加しました。 • オープンソースドライバーを使用する際に、AMD GPU に VAAPI ベースのエンコーダーを追加しました。	• ウェブクライアントのユーザーインターフェイスを Cloudscape デザインスタイルに更新しました。 • クライアントの再接続によってトリガーされるエージェント内のメモリリークが修正されました。 • Ubuntu 20.04 で仮想セッションを使用する際に、GDM3 を使用するシステムのサポートを追加しました。 • Ubuntu 20.04 の仮想セッションで断続的に黒い画面が表示される問題を修正しました。 • ウェブクライアントのタブ変更時にクリップボードが更新されない問題を修正しました。 • 数字用キーパッドの Enter キーの問題を修正しました。

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-gltest: 301 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 198		

DCV 2022.1-13300 — 2022 年 8 月 4 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 13300 • nice-dcv-client (Windows): 8261 • nice-dcv-viewer (macOS): 4279 • nice-dcv-viewer (Linux): 4251 • nice-xdcv: 433 • nice-dcv-gl: 973 • nice-dcv-gltest: 295 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 193	• 複数のコラボレーターがセッションに接続しているときに Windows が自動的にロック解除されないようにしました。 • 指定した証明書ファイルをサーバーが読み込めない問題を修正しました。 • macOS クライアントでオーディオが歪む問題を修正しました。

DCV 2022.1-13216 — 2022 年 7 月 21 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 13216 • nice-dcv-client (Windows): 8261 • nice-dcv-viewer (macOS): 4251 • nice-dcv-viewer (Linux): 4251 • nice-xdcv: 433 • nice-dcv-gl: 966 • nice-dcv-gltest: 295 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 193	• 2019.1 以前の Amazon DCV サーバーへの接続に失敗する、すべてのクライアントでの問題を修正しました。 • Windows サーバーでのスマートカードリダイレクトに関する問題を修正しました。 • GPU を搭載するホストの Amazon DCV サーバーに接続する際にストリーミングが失敗する問題を修正しました。

DCV 2022.1-13067 — 2022 年 6 月 29 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 1 • nice-dcv-client (Wi : 8248 • nice-dcv-viewer (macOS) 4241 • nice-dcv-viewer	Amazon DCV に次の機能を追加しました。 • サーバーで Ubuntu 22.04 と Rocky Linux 8.5 以降のサポートを追加しました。 • ネイティブクライアントでの Ubuntu 22.04 のサポートが追加されました。 • Windows、macOS、および Linux ネイティブクライアントのコラボレーションエクスペリエンスが向上しました。	• パフォーマンスが向上し、GPU 以外のサーバーで全体の CPU 消費量が最大 30% 削減されました。 • ログローテーションを設定で構成できるようになり、時間間隔やサイズ制限を指定できるようになりました。 • 初期ハンドシェイクが失敗する可能性のある QUIC トランスポートの問題を修正しました。 • Linux サーバー上の相対的なマウスモーションが一部のアプリケーションで期待どおりに動作

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
(Linux): 4241 • nice-xdcv: 433 • nice-dcv-gl: 966 • nice-dcv-gltest: 295 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 193		しないことがある問題を修正しました。

DCV 2022.0-12760 — 2022 年 5 月 23 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 12760 • nice-dcv-client (Windows): 8145 • nice-dcv-viewer (macOS): 4131 • nice-dcv-viewer (Linux): 4131 • nice-xdcv: 424 • nice-dcv-gl: 961	変更: web-url-path オプションを指定すると Web クライアントが正常に接続されない問題を修正しました。

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-gltest: 291 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 188	

DCV 2022.0-12627 — 2022 年 5 月 19 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 12627 • nice-dcv-client (Windows): 8145 • nice-dcv-viewer (macOS): 4131 • nice-dcv-viewer (Linux): 4131 • nice-xdcv: 424 • nice-dcv-gl: 961 • nice-dcv-gltest: 291 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 188	変更: • 帯域幅の推定が不正確になり、視覚アーティファクトの発生にもつながる QUIC トランスポートの問題の一部を修正しました。 • Windows サーバーのインストーラーのオーディオサービスで、アップデートプロセスが失敗する問題を解決しました。 • Windows クライアントのインストーラーの USB 処理で、アンインストールプロセスが失敗する問題を解決しました。 • macOS と Linux クライアントでスクリーンショットを保存する際の問題を修正しました。 • OpenSSL、zlib、gdk-pixbuf のサードパーティライブラリを更新しました。

DCV 2022.0-12123 — 2022 年 3 月 23 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 12123 • nice-dcv-client (Windows): 7920	Amazon DCV に次の機能を追加しました。 • macOS および Linux クライアントで高い色精度を有効	変更: • QUIC トランスポートを使用する際の帯域幅推定と画質が向上しました。

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-viewer (macOS): 3973 • nice-dcv-viewer (Linux): 3973 • nice-xdcv: 424 • nice-dcv-gl: 961 • nice-dcv-gltest: 291 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 188	にするオプションを追加しました。	修正内容: • NVIDIA ドライバー 510.xx を使用する際の、Linux のコンソールセッションの視覚アーティファクトを修正しました。 • Windows ネイティブクライアントで Bluetooth 経由で接続される DualShock 4 コントローラーの問題を修正しました。 • macOSクライアントで Web カメラを有効にするときに発生する可能性があったクラッシュを修正しました。

DCV 2022.0-11954 — 2022 年 2 月 23 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 11954 • nice-dcv-client (Windows): 7866 • nice-dcv-viewer (macOS): 3929 • nice-dcv-viewer (Linux): 3929 • nice-xdcv: 424 • nice-dcv-gl: 961 • nice-dcv-gltest: 291	Amazon DCV に次の機能を追加しました。 • Windows サーバーと Windows ネイティブクライアントのゲームコントローラーのサポート。 • Amazon DCV ウェブクライアントは、サポートされるブラウザで WebCodecs を利用できるようになりました。	変更: • Amazon DCV サーバーを再起動しなくても TLS 証明書を更新できるようになりました。 • 特定のネットワークインターフェイスまたは特定の IPv4 または IPv6 アドレスでリッスンするように Amazon DCV サーバーを構成できるようになりました。

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-simple-external-authenticator: 188	• Windows クライアントと Web クライアントに、高い色精度を有効にするオプションを追加しました。 • コラボレーションエクスペリエンスの向上: セッションに誰かが参加すると、ユーザーに通知が届くようになりました。 • サポート対象の Linux ディストリビューションのリストに CentOS 8 ストリームを追加しました。	• 「DCV プリンター」は Linux システムでも自動的に設定されるようになりました。 • Windows の Amazon DCV プロセスがより高い優先度で実行されるようになりました。 修正内容: • GPU を搭載するインスタンスを使用している場合に、Windows 2016 でエージェントを再起動するとクラッシュする問題を修正しました。 • 一部の USB デバイスが Amazon DCV クライアントからリダイレクトされている際にセッションからログアウトすると、Windows でクラッシュする問題を修正しました。 • 認可チェックを実行する際に、Windows ドメインを含むユーザー名が正規化されます。 • Windows クライアントの相対マウスモードを改善しました。 • CapsLock キーの同期に関する問題を修正しました。

DCV 2021.3-11591 — 2021 年 12 月 20 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 11591 • nice-dcv-client (Windows): 7801 • nice-dcv-viewer (macOS): 3829 • nice-dcv-viewer (Linux): 3829 • nice-xdcv: 415 • nice-dcv-gl: 952 • nice-dcv-gltest: 284 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 176	Amazon DCV に次の機能を追加しました。 • Web クライアントのユーザーインターフェイスが更新されました。 • EC2 G5 と G5G インスタンスがサポートされました。 • Windows サーバー 2022 と Windows 11 がサポート対象のオペレーティングシステムになりました。	• Linux 仮想セッションの init スクリプトはユーザーの Bash プロファイルをロードしなくなったため、環境変数がシステムのデフォルト値を上書きする問題が繰り返し発生しなくなりました。 • nice-dcv-ext-Authenticator に Python 3 が必要になりました。

DCV 2021.2-11445 — 2021 年 11 月 18 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 11445 • nice-dcv-client (Windows): 7792 • nice-dcv-viewer (MacOS): 3797 • nice-dcv-viewer (Linux): 3797 • nice-xdcv: 411 • nice-dcv-gl: 946 • nice-dcv-gltest: 279 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 160	修正内容: • クライアントが macOS Monterey で正しく動作しない問題を修正しました。 • Windows におけるサーバーのセキュリティが強化されました。 • 特にウェブクライアントの使用時にマルチモニターレイアウトが正しく適用されないことがあるというバグを修正しました。 • `Delete` キーが一部の Windows アプリケーションで正しく動作しなくなるという問題を修正しました。

ビルド番号	変更とバグ修正
	• Linux のウェブクライアントパッケージを、そのウェブクライアント自体が含まれていた旧バージョンのサーバーパッケージと相互に排他的なものとしてマークしました。

DCV 2021.2-11190 — 2021 年 10 月 11 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 11190 • nice-dcv-client (Windows): 7788 • nice-dcv-viewer (macOS): 3776 • nice-dcv-viewer (Linux): 3776 • nice-xdcv: 411 • nice-dcv-gl: 946 • nice-dcv-gltest: 279 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 160	修正内容: • 証明書の期限が切れているサーバーに接続すると証明書の検証ダイアログを閉じることができなくなるという Windows クライアントの問題を修正しました。 • ネイティブクライアントでスタイラスペンのミドルクリックボタンが期待どおりに動作しないという問題を修正しました。 • レガシー X11 フォントが読み込まれなくなる Xdcv の回帰が修正されました。 • デッドキーを使用するキーボードレイアウトを使用しているときに、macOS クライアントおよび Linux クライアントでキーボードの組み合わせが正しく動作しない問題を修正しました。

DCV 2021.2-11135 — 2021 年 9 月 24 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 11135 • nice-dcv-client (Windows): 7781	修正内容:

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-viewer (macOS): 3740 • nice-dcv-viewer (Linux): 3740 • nice-xdcv: 408 • nice-dcv-gl: 944 • nice-dcv-gltest: 279 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 160	• 2021.2 クライアントを使用して古いサーバーに接続したときに接続問題とパフォーマンス問題を引き起こす可能性がある QUIC パケットサイズネゴシエーションの問題を修正しました。 • NVENC エンコーダ障害を引き起こす可能性がある NVIDIA デバイス選択のバグを修正しました。 • Windows と NVIDIA GPU を搭載したマシンで圧縮アーティファクトや色精度アーティファクトが発生する可能性があるという問題を修正しました。 • Linux サーバーの修飾キーにより一部のキーボードの組み合わせが期待どおりに動作しないことがあるというバグを修正しました。 • M1 CPU を搭載したマシンでの macOS クライアントのパフォーマンス低下を修正しました。 • macOS クライアントで一部のキーボードの組み合わせが期待どおりに動作しないというバグを修正しました。 • Linux 仮想セッションにおけるタッチイベントの処理によりセッションが終了されてしまう可能性があるという問題を修正しました。

DCV 2021.2-11048 — 2021 年 9 月 1 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 11048 • nice-dcv-client (Windows): 7774	Amazon DCV に次の機能を追加しました。	変更: • Amazon DCV ウェブクライアントは、Linux の個別

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-viewer (macOS): 3690 • nice-dcv-viewer (Linux): 3690 • nice-xdcv: 406 • nice-dcv-gl: 944 • nice-dcv-gltest: 279 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 160	• ウェブクライアントのクリップボードの改善。これらの改善により、Google Chrome および Microsoft Edge で Amazon DCV ウェブクライアントを使用して、PNG 形式のイメージのコピーと貼り付けを実行できるようになりました。 • Windows クライアントと macOS クライアントのスクリーンショットブロック機能。この機能では、ユーザーが Amazon DCV セッションコンテンツのスクリーンショットを撮影できないようにすることで、セキュリティレイヤーを追加します。有効にすると、ユーザーがキャプチャしたスクリーンショットがすべて空白の画面になります。 • ストリーミングの質の強化。特に、QUIC プロトコルを使用した場合の「ロスレス構築」のパフォーマンスを向上させることで、ストリーミングの質を強化しました。 • クライアントの動作を指定する `certificate-validation-policy` オプションが追加されました。これは、自己署名証	のパッケージになり、かつ Windows インストーラのオプションコンポーネントになりました。この変更により、ウェブクライアントのデプロイをお客様が決定できます。 • NVENC エンコーダの使用時に H.264 杯プロファイルがサポートされるようになりました。NVENC エンコーダーと NVIDIA GPU を使用すると、同じ画質を維持しながら帯域幅の使用量を減らすことができます。 • Amazon DCV サーバーでは、複数の GPU を搭載したマシンで使用可能なすべての GPU が圧縮に使用されるようになりました。 • Amazon DCV に同梱されている Windows ドライバーはすべて WHQL の認定を受けています。 • OpenSSL がバージョン 1.1.1 に更新されました。 • Xdcv が XServer のバージョン 1.20.13 に更新されました。 修正内容:

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
	明書などの信頼できない X.509 証明書がサーバーによって提示される場合に使用できます。 • ランタイム時にオーディオドライバーで設定されたチャネル数は変更できます。 • `dcvinput` Xorg モジュールに Pressure2K オプションが追加されました。これを使用すれば、スタイラスの圧力感度範囲を 0 ~ 65335 から 0 ~ 2048 に変更して、Mari や Nuke などのアプリケーションとの互換性を確保できます。 • Google Chrome と Microsoft Edge の実験的な WebCodecs API に対するサポートが追加されました。ブラウザでこの API を有効にすると、Amazon DCV ウェブクライアントでこの API が使用されてビデオデコードが高速化され、フレームレートがさらに高くなります。	• macOS クライアントのテンキーに関する問題を修正しました。 • 一部の USB デバイス (ゲームパッドなど) が Windows サーバーに正しくリダイレクトされない問題を修正しました。 • 切断時に修飾キーを適切に解放できないバグを修正しました。 • Ubuntu 20.04 と Intel GPU の使用時に Linux ネイティブクライアントでクラッシュが発生する問題を修正しました。

DCV 2021.1-10851 — 2021 年 7 月 30 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 10851 • nice-dcv-client (Windows): 7744 • nice-dcv-viewer (macOS): 3590 • nice-dcv-viewer (Linux): 3560 • nice-xdcv: 392 • nice-dcv-gl: 937 • nice-dcv-gltest: 275 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 154	変更: • Windows クライアント、Linux クライアント、macOS クライアントの安定性を強化しました。 修正内容: • Windows サーバーの AMD および NVIDIA グラフィックアダプターで画面がちらつくバグを修正しました。 • 複数のセッションを実行している Linux サーバーに接続する際に散発する問題を修正しました。 • Linux サーバーでの非西洋キーボードレイアウトの処理に関連するバグを修正しました。 • Windows クライアントの接続ウィンドウに表示されるビジュアルアーティファクトが修正されました。 • Windows の USB リダイレクトドライバーのいくつかのバグを修正し、デバイスの互換性を改善しました。

DCV 2021.1-10598 — 2021 年 6 月 10 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 10598 • nice-dcv-client (Windows): 7713 • nice-dcv-viewer (macOS): 3473	• サーバーの Windows インストーラーで `session owner` フィールドに現在のユーザーがあらかじめ入力されてしまう問題を修正しました。

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-viewer (Linux): 3473 • nice-xdcv: 392 • nice-dcv-gl: 937 • nice-dcv-gltest: 275 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 154	• macOS クライアントと Linux クライアントの全体的な安定性を改善しました。

DCV 2021.1-10557 — 2021 年 5 月 31 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 10557 • nice-dcv-client (Windows): 7713 • nice-dcv-viewer (macOS): 3450 • nice-dcv-viewer (Linux): 3454 • nice-xdcv: 392 • nice-dcv-gl: 937 • nice-dcv-gltest: 275 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 154	• Amazon DCV で、GPU があるサーバーに接続する時に高精度のオーディオ/ビデオの同期を可能にするクライアントオプションを追加しました。 • Amazon DCV で、Linux コンソールセッションにおけるマイクのサポートを追加しました。	• GPU がない Windows サーバーホストでの CPU 使用率を低下させました。 • macOS クライアントと Linux クライアント内の `.dcv` 接続ファイルの読み取り時に発生する問題を修正しました。 • ハードウェアアクセラレーションデコードに対応していない macOS マシンのソフトウェアデコードにフォールバックを追加しました。 • システムキーチェーンに保存されている CA 証明書を macOS クライアントで読み取るためのサポートを追加しました。

DCV 2021.0-10242 — 2021 年 4 月 12 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 10242 • nice-dcv-client (Windows): 7643 • nice-dcv-viewer (macOS): 3186 • nice-dcv-viewer (Linux): 3294 • nice-xdcv: 380 • nice-dcv-gl: 912 • nice-dcv-gltest: 266 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 134	• Windows Amazon DCV サーバーのウェブカメラリダイレクトのサポートを追加しました。 • Linux Amazon DCV サーバーのプリンターリダイレクトのサポートを追加しました。 • macOS クライアントでの M1 プロセッサのサポートを追加しました。 • macOS クライアントのマルチモニターディスプレイのサポートを追加しました。	• Linux サーバー、および NVIDIA GPU を使用した Amazon EC2 インスタンスで、GPU と CPU リソースの使用率を最適化しました。 • Linux Amazon DCV サーバー用の Amazon EC2 G4ad インスタンスで AMD GPU を使用した GPU アクセラレーションビデオエンコーディングのサポートを追加しました。 • オーディオレイテンシーを低減するためにオーディオ処理を最適化しました。 • QUIC プロトコルがサーバーで有効になっている場合のクライアントのデフォルトを QUIC プロトコルに変更しました。 • DCV コマンドラインツールに新しい get-screenshot コマンドを追加しました。 • `close-session` コマンドの `--logout-user` オプションを使用する強制ログアウトオプションを追加しました。このオプションは、コンソールセッション

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
		を閉じるときに使用できます。

DCV 2020.2-9662 — 2020 年 12 月 4 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 9662 • nice-dcv-client (Windows): 7490 • nice-dcv-viewer (macOS): 2117 • nice-dcv-viewer (Linux): 3007 • nice-xdcv: 359 • nice-dcv-gl: 881 • nice-dcv-gltest: 259 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 125	• ウェブブラウザクライアントで使用されるセキュリティプロトコルを強化しました。 • Windows クライアントで使用される Amazon EC2 G4ad インスタンスのパフォーマンスと堅牢性を向上させました。 • Windows クライアントの接続設定ダイアログでのポートの選択に関する問題を修正しました。

DCV 2020.2-9508 — 2020 年 11 月 11 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 9508 • nice-dcv-client (Windows): 7459 • nice-dcv-viewer (macOS): 2078 • nice-dcv-viewer (Linux): 1737 • nice-xdcv: 359 • nice-dcv-gl: 881 • nice-dcv-gltest: 259	• QUIC (UDP ベース) トランスポートプロトコルのサポートを追加しました。 • SLES 15 と Ubuntu 20.4 のサポートが追加されました。 • Windows Amazon DCV サーバーのスマートカードのサポートを追加しました。	• NVIDIA GPU があるサーバーと EC2 インスタンスでホストされるコンソールセッションで、デフォルトの Amazon DCV フレームレートリミッターを 60 FPS に変更しました。 • NVIDIA GPU がある EC2 インスタンスでホストされている Windows Amazon DCV サーバーで使用される GPU

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-simple-external-authenticator: 125		および CPU リソースを最適化しました。 • `list-endpoints` Amazon DCV CLI コマンドを追加しました。これには現在アクティブなエンドポイントが記載されています。 • `version` Amazon DCV CLI コマンドは `--json` オプションに対応しています。 • Linux サーバーにおいて、 `create-session` Amazon DCV CLI コマンドが `--disable-login-monitor` オプションに対応するようになりました。 • Linux Amazon DCV サーバーのさまざまなディスプレイマネージャーとの互換性を向上させました。 • キーボード入力の処理に関するいくつかの問題を修正しました。 • USB デバイスの許可リストファイルが動的に再ロードされるようになりました。

DCV 2020.1-9012 — 2020 年 9 月 30 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 9012 • nice-dcv-client (Windows): 7342 • nice-dcv-viewer (macOS): 1986 • nice-dcv-viewer (Linux): 1545 • nice-xdcv: 338 • nice-dcv-gl: 840 • nice-dcv-gltest: 246 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 111	• 欠落している macOS クライアントアイコンを追加しました。

DCV 2020.1-9012 — 2020 年 8 月 24 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 9012 • nice-dcv-client (Windows): 7342 • nice-dcv-viewer (macOS): 1910 • nice-dcv-viewer (Linux): 1545 • nice-xdcv: 338 • nice-dcv-gl: 840 • nice-dcv-gltest: 246 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 111	• AWS GovCloud リージョンでの Amazon S3 アクセスを修正しました • ウェブベースのクライアントの改善

DCV 2020.1-8942 — 2020 年 8 月 3 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 8942	• Linux Amazon DCV サーバーは、M6g、C6g、R6g	• GPU がない Amazon EC2 インスタンスにおいて新し

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-client (Windows): 7342 • nice-dcv-viewer (macOS): 1910 • nice-dcv-viewer (Linux): 1545 • nice-xdcv: 338 • nice-dcv-gl: 840 • nice-dcv-gltest: 246 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 111	などの AWS Graviton2-based Arm インスタンスをサポートするようになりました。 M6g, C6g 詳細については、「AWS Graviton プロセッサ」を参照してください。 • Linux Amazon DCV サーバーでの RHEL 8.x と CentOS 8.x のサポートを追加しました。 • Windows Amazon DCV サーバーと Windows Amazon DCV クライアントを使用する場合のプリンターリダイレクトのサポートを追加しました。 • macOS と Linux のネイティブ Amazon DCV クライアントでの圧力感度のスタイラスサポートを追加しました。 • Linux Amazon DCV サーバーと Linux Amazon DCV クライアントのサラウンドサウンド 5.1 サポートを追加しました。 • Linux Amazon DCV ネイティブクライアントのタッチスクリーンサポートを追加しました。 • カスタム名を Amazon DCV セッションに関連付けるこ	い Amazon DCV 仮想ディスプレイドライバーのサポートを追加しました。 • NVENC エンコーダーの使用時にカラースペース変換の結果として視覚アーティファクトが発生する問題を修正しました。 • コンソールセッションが存在する場合は常に `dcv list-sessions` コマンドに含まれるようになりました。 • 新しい Linux ディストリビューションでは、コンソールセッションのエージェントがデスクトップセッションの一部として開始されるようになり、GDM 3 などの新しいディスプレイマネージャーのサポートが強化されました。 • `dcv://` スキームを含む URL をアクティブ化すると、ネイティブクライアントが自動的に開くようになりました。 • macOS ネイティブクライアントとウェブクライアントでのキーボード修飾子の処理方法を改善しました。 • DCV-GL での視覚要素と fbconfig の選択を改善し、

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
	とができるようになりました。 • macOS ネイティブ Amazon DCV クライアントにおけるハードウェアアクセラレーションデコードおよびレンダリングのサポート。	一部のアプリケーションのサポートを改善しました。 • ファイル転送中の CPU 使用率を低下させました。 • ウェブブラウザクライアントでの WebGL レンダリングを改善し、リソースの使用量を削減しました。

DCV 2020.0-8428 — 2020 年 4 月 16 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 8428 • nice-dcv-client (Windows): 7238 • nice-dcv-viewer (macOS): 1716 • nice-dcv-viewer (Linux): 1358 • nice-xdcv: 296 • nice-dcv-gl: 759 • nice-dcv-gltest: 229 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 87	• Linux サーバーでの画面上のスタイラスとタッチ操作に関するサポートを追加しました。 • Windows サーバーの 7.1 サラウンドサウンド再生サポートを Windows ネイティブクライアントに追加しました。 • Linux ネイティブクライアントのハードウェアアクセラレーションとスタイラスのサポートを追加しました。 • サーバー側で表示レイアウトを設定するための新しい API コマンドを追加しました。 • Microsoft Edge ブラウザ (バージョン 79.0.309 以降) のマルチモニターウェブク	• Windows クライアントのツールバーグリップを、全画面表示モードで非表示にできるようになりました。 • Windows ネイティブクライアントでの NTLM プロキシサポートを追加しました。 • NVIDIA アダプタを使用した Windows ヘッドレス物理ホストのサポートが向上しました。 • レガシー NVIDIA NVIFR ライブラリのサポートを削除しました。 • 最新の Windows 10 の Windows グラフィックキャプチャ API 向けのサポートが追加されました。

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
	ライアントのディスプレイサポートを追加しました。	• Amazon EC2 のサポートを追加しました。 EC2 インスタンス上のインスタンスメタデータサービス (IMDS) v2。 • DCV CLIには、クライアントがセッションに接続または切断するタイミングを検出する新しい `on-client-connected /disconnected` コマンドが用意されています。 • 外部認証システムの証明書をバインドするホスト名を指定するためのサポートが追加されました。 • DCV-GL は、このライブラリをサポートするシステムで GL Vendor-Neutral Dispatch ライブラリ (GLvnd) を使用するようになりました。

DCV 2019.1-7644 — 2019 年 10 月 24 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 7644 • nice-dcv-client (Windows): 7114 • nice-dcv-viewer (macOS): 1535 • nice-dcv-viewer (Linux): 1124 • nice-xdcv: 226	• NICE EnginFrame と他のセッションマネージャーが使用する統合 API の問題が修正されました。 • 32 ビット版の Windows ネイティブクライアントの問題が修正されました。

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-gl: 544 • nice-dcv-gltest: 220 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 77	

DCV 2019.1-7423 — 2019 年 9 月 10 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 7423 • nice-dcv-client (Windows): 7087 • nice-dcv-viewer (macOS): 1535 • nice-dcv-viewer (Linux): 1124 • nice-xdcv: 226 • nice-dcv-gl: 544 • nice-dcv-gltest: 220 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 77	• Windows 上の DCV サーバーのセキュリティが強化されました。 • Linux 上の Autodesk Maya のレンダリングに関する問題が修正されました。 • キーボードの操作に関する改善とバグ修正が追加されました。

DCV 2019.0-7318 — 2019 年 8 月 5 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 7318 • nice-dcv-client (Windows): 7059 • nice-dcv-viewer (macOS): 1530 • nice-dcv-viewer (Linux): 968 • nice-xdcv: 224 • nice-dcv-gl: 529 • nice-dcv-gltest: 218	• ウェブクライアントでのマルチモニターをサポート。 • Windows Server 2019 でのスタイラス入力をサポート。 • macOS および Linux のネイティブクライアントでのオーディオ入出力。	• Windows タッチ入力の圧力感度の互換性を強化して追加しました。 • Windows で異種グラフィックアダプタを使用するシステムでの動作が向上しました。 • 非アクティブな接続の検出に必要な時間の短縮 (クライアントでの有線ネットワー

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-simple-external-authenticator: 72	• Linux サーバーでのクリップボード機能の拡張 (ミドルクリックで貼り付け)。	クから Wi-Fi ネットワークへの変更時の対応など)。 • Linux でカーソルアイコンをキャプチャできない場合のログ記録を削減しました。 • 仮想セッション Xdcv コンポーネントで Composite 拡張を無効にするサポート。 • 同時仮想セッション数の制限にオプションを追加しました。 • Bash 5 がインストールされているシステムとのスクリプト互換性を改善しました。 • OpenGL と GLES が検出されて Linux クライアントでのレンダリングに自動的に使用されるようにデフォルトを変更しました。 • GL ウィンドウの表示が変更されたときの DCV-GL 画面のバッファを更新しました。 • Windows 7 の Windows クライアントでのマウスホイールの検出を修正しました。 • Windows クライアントが一部の Windows 7 システムでライブラリのロードに失敗する問題が修正されました。

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
		• ドキュメントを横向きで印刷するときの Windows クライアントでの印刷が改善されました。

DCV 2017.4-6898 — 2019 年 4 月 16 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 6898 • nice-dcv-client (Windows): 6969 • nice-dcv-viewer (macOS): 1376 • nice-dcv-viewer (Linux): 804 • nice-xdcv: 210 • nice-dcv-gl: 490 • nice-dcv-gltest: 216 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 70	• macOS 用の新しいネイティブクライアント。	• Windows ネイティブクライアントは、システムで使用可能な場合、デコードとレンダリングにハードウェアアクセラレーションを使用するようになりました。 • `dcv` コマンドラインツールは、Windows と Linux の両方で同じオプションと出力形式を使用するようになりました。 • `dcv` コマンドラインツールは、ライセンスに関する情報をレポートするようになりました。 • クライアントは、非アクティブにより切断する前にユーザーに警告を表示するようになりました。 • 複数の修飾子を使用するキーボードの組み合わせのサポートが向上しました。 • 通信障害に対する Reprise ライセンスマネージャーと

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
		の対話の堅牢性が向上しました。 • dcvusers コマンドラインツールでは、既定で Linux 上の dcv ユーザーのホームディレクトリにデータを保存するようになりました。 • Linux 上で複数の GPU を搭載した NVENC ハードウェアエンコーダーを使用する場合、nvidia-smi ツールを使用する場合と同じ順序になりました。 • Linux クライアントは、Windows DCV プリンターから出力されたファイルを受信して処理するようになりました。

DCV 2017.3-6698 — 2019 年 2 月 24 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 6698 • nice-dcv-client: 5946 • nice-dcv-viewer (Linux): 683 • nice-xdcv: 207 • nice-dcv-gl: 471 • nice-dcv-gltest: 210 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 66	• Kerberos (GSSAPI) 認証のサポートが追加されました。 • サポートされている Windows 版で、タッチイベントのサポートが追加されました。 • システム認証 (Windows 資格情報プロバイダー) を使用しているときに、Windows	• Y'UV444 エンコーディングにオプトインするオプションが追加されました。 • EL6 RPM には NVENC エンコーダーモジュールが搭載されました。 • Windows システム認証で name@domain 形式が受容されるようになりました。

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
	セッションを自動的にロック解除します。	• Yubikey USB デバイスが許可リストに追加されました。 • 日本語キーボードのサポートが向上しました。 • 入力の認可許可はよりきめ細かくなりました。仮想カーソルを処理する `pointer` の許可が追加されました。相対マウスモードは、マウス (モーションインジェクション用) とポインタ (モーションフィードバック用) によって異なります。Windows 上で SAS を扱う `keyboard-sas` の許可が追加されました (Control+Alt+Del)。`keyboardsas` は `keyboard` の許可に依存します。 • 非同期クリップボード API をサポートするブラウザのウェブクライアントで、空のクリップボードイベントに関する問題が修正されました。 • クライアントが最初のフレームを受信できなくなっていたキャプチャモジュールの競合が修正されました。 • 同時ファイルストレージ転送の処理が向上しました。

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
		• 新しい NVIDIA ドライバーを搭載した Windows 上の NVIFR が修正されました。新しいドライバーの動作が変更されました。ドライバーのバージョンが自動的に検出され、それに応じてメモリ処理が実行されます。 • RLM ライセンストークンの再取得を中止せずに継続します。これにより、長期間経過しても `licensing error` 状態から回復できます。 • Windows クライアントで全画面表示のキーボードショートカットを設定するオプションを追加しました。 • Windows クライアントで複数のモニタ間でウィンドウをドラッグするときの自動調整ロジックを改善しました。 • Windows クライアントで Ulin により切断がトリガーされない場合のプロンプト再接続オプションを修正しました。 • NVIDIA ドライバ 410.xx と DCV-GL の非互換性が修正されました。

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
		• Matlab および Blender アプリケーションでの DCV-GL のパフォーマンス低下が修正されました。

DCV 2017.2-6182 — 2018 年 10 月 8 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 6182 • nice-dcv-client: 5890 • nice-dcv-viewer (Linux): 503 • nice-xdcv: 180 • nice-dcv-gl: 427 • nice-dcv-gltest: 201 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 58	• Linux 仮想セッションでオーディオ再生のサポートが追加されました。 • スマートカードのパフォーマンスが向上しました。 • Linux クライアントでファイル転送のサポートが追加されました。	• キーボードの処理に関する改善とバグ修正。 • ログレベルの設定を変更しても、サーバーを再起動する必要がなくなりました。 • Windows サーバーインストーラは、既にインストールされている場合、Microsoft C ランタイム再頒布可能パッケージのインストールをスキップするようになりました。 • EC2 で実行しているときに、ライセンスの S3 へのアクセスに失敗すると、ユーザーインターフェイスに通知が表示されます。 • Linux `dcv` コマンドラインツールでは、`list-connections` および `describe-session` サブコマンドがサポートされるようになり、JSON 出力を

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
		実行するオプションが追加されました。 • `display` セクションの `cuda-devices` 設定を追加しました。これにより、さまざまな CUDA デバイスに NVENC エンコーディングを配信するようにサーバーが設定されます。 • 複数の同時コマンドを処理する場合の、セッション作成コードの堅牢性が向上しました。 • デフォルトのクリップボードの上限を 20 MB に引き上げました。 • Windows クライアントはレガシー `.dcv` ファイルを検出し、DCV 2016 Endstation を起動するようになりました (インストールされている場合)。 • DCV のシンプルな外部認証システムは、環境で設定されているものではなく、常にシステム Python インタプリタを使用するようになりました。 • DCV-GL のリードバック方式が改善され、パフォーマンスと堅牢性が向上しました。

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
		• DCV-GL は、フロントバッファのリードバック後にウィンドウのサイズが変更されたかどうかをチェックするようになりました。これにより、Coot アプリケーションのレンダリングの問題が修正されます。

DCV 2017.1-5870 — 2018 年 8 月 6 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 5870 • nice-dcv-client: 5813 • nice-dcv-viewer (Linux): 450 • nice-xdcv: 170 • nice-dcv-gl: 366 • nice-dcv-gltest: 198 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 53	Ubuntu 18.04 用のパッケージをリリースしました。コンソールモードで作業する場合、LightDM または他の任意のディスプレイマネージャーを使用するようにシステムを設定する必要があります。GDM は必要な X11 ディスプレイ情報を公開していないためです。仮想セッションはこの制限の影響を受けません。	• セッションの作成時ライセンス設定が読み取られるようになりました。これにより、管理者はサーバーを再起動せずにこの設定を変更できます。 • 一部のシステムでプログラムが予期せず終了する Windows クライアントの安定性の問題が解決されました。 • エラーの可能性がある状態での口グ記録が削減されました。

DCV 2017.1-5777 — 2018 年 6 月 29 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 5777 • nice-dcv-client: 5777 • nice-dcv-viewer (Linux): 438 • nice-xdcv: 166 • nice-dcv-gl: 366 • nice-dcv-gltest: 189 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 51	• Linux ネイティブクライアントが追加されました。 • 3DConnexion マウスおよび USB ストレージデバイスのサポートが追加されました。 • 最後のクライアントが切断されると、Windows セッションが自動的にロックされます。	• Linux 版でのパフォーマンスの向上。 • 新しい NVIDIA ドライバーの NVIFR に関する問題を回避するため、NVIDIA デバイスのデフォルトのハードウェアエンコーダーは NVENC に変更されました。 • Linux でのスマートカードのサポートが向上しました。 • Linux コンソールセッション使用時のアップロードファイルに対するファイルアクセス許可が修正されました。

DCV 2017.0-5600 — 2018 年 6 月 4 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 5600 • nice-dcv-client: 5600 • nice-xdcv: 160 • nice-dcv-gl: 279 • nice-dcv-gltest: 184 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 48	• Linux でのマルチモニターのサポートが追加されました。 • Windows クライアントのパフォーマンスが向上しました。 • Chrome 66 以降で新しいクリップボード API が使用されます。	• EC2 での使用には、DCV サーバーを実行しているインスタンスから S3 にアクセスできる機能が必要です。 • サーバーフレーム処理と Windows クライアントデコードのパフォーマンスが向上しました。

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
	• Windows 用 NVENC エンコーダーが追加されました。	• NumPad とブロックされた修飾子に関連するキーボードの問題が修正されました。 • Linux で外部認証システムを使用している場合に、ファイル記述子のリークを防止します。 • スマートカード接続で発生する可能性があったエラーが修正されました。

DCV 2017.0-5121 — 2018 年 3 月 18 日

ビルド番号	新機能	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 5121 • nice-dcv-client: 5121 • nice-xdcv: 146 • nice-dcv-gl: 270 • nice-dcv-gltest: 184 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 46	• Windows ネイティブクライアントが DPI 対応になりました。 • 相対マウス移動モードのサポートが追加されました。	• Linux の Ansys cfx5solve でのハングを防止しました。 • Windows 10 で発生する可能性があったエージェントがハングする問題が修正されました。 • ウェブクライアントのユーザーインターフェイスを改良しました。 • ドメインが指定されている場合、Windows ユーザー名は正規化されます。 • RHEL6 の外部認証システムが修正されました。

DCV 2017.0-4334 — 2018 年 1 月 24 日

ビルド番号	変更とバグ修正
• nice-dcv-server: 4334 • nice-dcv-client: 4334 • nice-xdcv: 137 • nice-dcv-gl: 254 • nice-dcv-gltest: 184 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 45	• キーボードの処理が向上しました。 • RHEL6 で、セッションを閉じたときに新しいセッションを作成できない DBus 問題を修正しました。 • ネイティブクライアントでの SOCKS5 プロキシのサポートが向上しました。 • 仮想セッションで実行中の Headwave でのクラッシュと、仮想セッションで実行中の Chimera でのクラッシュを引き起こすバグを修正しました。 • 仮想セッションでのフォントサポートの向上。

DCV 2017.0-4100 — 2017 年 12 月 18 日

ビルド番号
• nice-dcv-server: 4100 • nice-dcv-client: 4100 • nice-xdcv: 118 • nice-dcv-gl: 229 • nice-dcv-gltest: 158 • nice-dcv-simple-external-authenticator: 35

ドキュメント履歴

以下の表は、Amazon DCV の今回のリリースのドキュメント内容をまとめたものです。

変更	説明	日付
Amazon DCV バージョン 2024.0	2024.0 の Amazon DCV 修正。詳細については、「???」を参照してください。	2025 年 6 月 10 日
Amazon DCV バージョン 2024.0	2024.0 の Amazon DCV 修正。詳細については、「DCV 2024.0-19030 — 2025 年 6 月 10 日」を参照してください。	2025 年 5 月 16 日
Amazon DCV バージョン 2024.0	2024.0 の Amazon DCV 修正。詳細については、「DCV 2024.0-19030 — 2025 年 3 月 31 日」を参照してください。	2025 年 3 月 31 日
Amazon DCV バージョン 2024.0	2024.0 の Amazon DCV 修正。詳細については、「DCV 2024.0-18131 — 2024 年 10 月 31 日」を参照してください。	2024 年 10 月 31 日
Amazon DCV バージョン 2024.0	Amazon DCV 2024.0 が利用可能になりました。詳細については、「DCV 2024.0-17979 — 2024 年 10 月 1 日」を参照してください。	2024 年 10 月 1 日
Amazon DCV バージョン 2023.1	Amazon DCV の 2023.1 で修正が行われました。詳細については、「DCV 2023.1-17701 — 2024 年 9 月 10 日」を参照してください。	2024 年 9 月 10 日
Amazon DCV バージョン 2023.1	Amazon DCV の 2023.1 で修正が行われました。詳細については、「DCV 2023.1-17701	2024 年 8 月 20 日

変更	説明	日付
	— 2024 年 8 月 20 日」を参照してください。	
Amazon DCV バージョン 2023.1	Amazon DCV の Windows、macOS、Linux クライアント 2023.1 で修正が行われました。詳細については、「DCV 2023.1-16388 — 2024 年 7 月 3 日」を参照してください。	2024 年 7 月 3 日
Amazon DCV バージョン 2023.1	Amazon DCV の Windows クライアント 2023.1 で修正が行われました。詳細については、「DCV 2023.1-16388 — 2024 年 3 月 5 日」を参照してください。	2024 年 3 月 5 日
Amazon DCV バージョン 2023.1	Amazon DCV の 2023.1 で修正が行われました。詳細については、「DCV 2023.1-16388 – 2023 年 12 月 19 日」を参照してください。	2023 年 12 月 19 日
Amazon DCV バージョン 2023.1	Amazon DCV 2023.1 が利用可能になりました。詳細については、「DCV 2023.1-16220 — 2023 年 11 月 9 日」を参照してください。	2023 年 11 月 9 日
Amazon DCV バージョン 2023.0	Amazon DCV は、サポートが終了したオペレーティングシステムをサポートしなくなりました。	2023 年 6 月 30 日

変更	説明	日付
Amazon DCV バージョン 2023.0	Amazon DCV の 2023.0 で修正が行われました。詳細については、「DCV 2023.0-15487 — 2023 年 6 月 29 日」を参照してください。	2023 年 6 月 29 日
Amazon DCV バージョン 2023.0	Amazon DCV の 2023.0 で修正が行われました。詳細については、「DCV 2023.0-15065 — 2023 œ年 5 月 3 日」を参照してください。	2023 年 5 月 3 日
Amazon DCV バージョン 2023.0	Amazon DCV の 2023.0 で更新とで修正が行われました。詳細については、「DCV 2023.0-15022 — 2023 年 4 月 21 日」を参照してください。	2023 年 4 月 21 日
Amazon DCV バージョン 2023.0	Amazon DCV 2023.0 が利用可能になりました。詳細については、「DCV 2023.0-14852 — 2023 年 3 月 28 日」を参照してください。	2023 年 3 月 28 日
Amazon DCV バージョン 2022.2	Amazon DCV 2022.2 が利用可能になりました。詳細については、「DCV 2022.2-13907 — 2022 年 11 月 11 日」を参照してください。	2022 年 11 月 11 日
Amazon DCV バージョン 2022.1	Amazon DCV 2022.1 が利用可能になりました。詳細については、「DCV 2022.1-13067 — 2022 年 6 月 29 日」を参照してください。	2022 年 1 月 29 日

変更	説明	日付
Amazon DCV バージョン 2022.0	Amazon DCV 2022.0 が利用可能になりました。詳細については、「DCV 2022.0-11954 — 2022 年 2 月 23 日」を参照してください。	2022 年 2 月 23 日
Amazon DCV バージョン 2021.3	Amazon DCV 2021.3 が利用可能になりました。詳細については、「DCV 2021.3-11591 — 2021 年 12 月 20 日」を参照してください。	2021 年 12 月 20 日
Amazon DCV バージョン 2021.2	Amazon DCV 2021.2 が利用可能になりました。詳細については、「DCV 2021.2-11048 — 2021 年 9 月 1 日」を参照してください。	2021 年 9 月 1 日
Amazon DCV バージョン 2021.1	Amazon DCV 2021.1 が利用可能になりました。詳細については、「DCV 2021.1-10557 — 2021 年 5 月 31 日」を参照してください。	2021 年 5 月 31 日
Amazon DCV バージョン 2021.0	Amazon DCV 2021.0 が利用可能になりました。詳細については、「DCV 2021.0-10242 — 2021 年 4 月 12 日」を参照してください。	2021 年 4 月 12 日

変更	説明	日付
Amazon DCV ウェブクライアント SDK	Amazon DCV ウェブクライアント SDK が利用可能になりました。Amazon DCV ウェブクライアント SDK とは、独自の Amazon DCV ウェブブラウザクライアントアプリケーションの開発に使用できる JavaScript ライブラリです。エンドユーザーはこのアプリケーションを使用して、実行中の Amazon DCV セッションへの接続と操作を行うことができます。詳細については、「Amazon DCV ウェブクライアント SDK デベロッパーガイド」を参照してください。	2021 年 3 月 24 日
Amazon DCV バージョン 2020.2	Amazon DCV 2020.2 が利用可能になりました。詳細については、「DCV 2020.2-9508 — 2020 年 11 月 11 日」を参照してください。	2020 年 11 月 11 日
Amazon DCV バージョン 2020.1	Amazon DCV 2020.1 が利用可能になりました。詳細については、「DCV 2020.1-8942 — 2020 年 8 月 3 日」を参照してください。	2020 年 8 月 3 日

変更	説明	日付
Amazon DCV バージョン 2020.0	Amazon DCV 2020.0 には、サラウンドサウンド 7.1、タッチ操作とスタイラス、新しい Microsoft Edge ブラウザを使用したマルチモニターのサポートが含まれています。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「Amazon DCV サーバーのインストール」を参照してください。	2020 年 4 月 16 日
HTTP レスポンスヘッダー	Amazon DCV サーバーは、追加の HTTP レスポンスヘッダーを送信するように設定できます。	2019 年 8 月 26 日
macOS クライアント	Amazon DCV で macOS クライアントを使用できるようになりました。詳細については、「Amazon DCV ユーザーガイド」の「macOS クライアント」を参照してください。	2019 年 4 月 18 日
スマートカードのキャッシュ	Amazon DCV サーバーでは、クライアントから受け取ったスマートカードデータをキャッシュして、パフォーマンスを向上させられるようになりました。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「スマートカードのキャッシュの設定」を参照してください。	2018 年 10 月 8 日

変更	説明	日付
Linux クライアント	Amazon DCV には、RHEL 7、CentOS 7、SLES 12、および Ubuntu 16.04/18.04 向けの Linux クライアントがあります。詳細については、「Amazon DCV ユーザーガイド」の「Linux クライアント」を参照してください。	2018 年 8 月 29 日
パラメータリファレンスを更新	パラメータのリファレンスが更新されました。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「Amazon DCV サーバーパラメータリファレンス」を参照してください。	2018 年 8 月 7 日
USB リモート化	Amazon DCV では、クライアントで特殊な USB デバイス (例: 3D ポインティングデバイスまたはグラフィックタブレット) を使用できます。詳細については、「Amazon DCV 管理者ガイド」の「USB リモート化の有効化」を参照してください。	2018 年 8 月 7 日
Amazon DCV の初期リリース	このコンテンツの初版です。	2018 年 6 月 05 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。